

令和2年度 事業報告書・収支決算書

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

会員事業所のさらなる強化
新たなまちづくりの実現の加速化

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

目 次

総括的概要	1
-------	---

令和2年度 施策体系	3
------------	---

I 定款および規約等

① 定 款	11
② 規 約	11

II 組 織

① 会 員	12
② 特定商工業者	13
③ 役 員	13
④ 議員定数	15
⑤ 正副部長	19
⑥ 正副委員長	20
⑦ 顧問・参与	21

III 議員選挙および役員議員の選任

① 議員の選挙	22
② 役員の選任	22
③ 役員議員の補充選任	23

IV 事 務 局

① 組 織	24
② 職 員	24

V 庶 務

① 文 書	25
② 授 章	25
③ 名義承諾	26
④ 慶弔・その他	27

VI 会 議

① 議員総会	28
② 常議員会	28
③ 正副会頭会議	29
④ 監 査 会	30
⑤ 議員懇話会	30
⑥ 部 会	30
⑦ 委 員 会	37

VII 事 業

① 各種事業	
I 活力ある福島の創造	
I A ふくしま将来ビジョンの推進	44
I B 政策提言・要望活動の推進	45
I C 中心市街地の活性化	47
I D 広域連携の推進	51
I E 観光振興と交流人口拡大の推進	53
I F 地域の祭り・伝統文化の興隆	59
I G 消費拡大の推進	60
II 会員事業所の発展	
II A 小規模事業者の伴走型支援の推進	63
II B 相談支援体制の充実・強化	63
II C 経営革新の推進	63
II E 事業継承・事業再生の支援	63
II F 創業の推進	63
II D ビジネス拡大の推進	64
II G 人材育成事業の推進	67
II H 雇用対策事業の推進	75
II I 各種調査・情報提供	77
II J 業種別振興事業の推進	80
II K 福利厚生の充実	81

Ⅲ 魅力ある商工会議所	
Ⅲ A 商工会議所の運営強化……………	84
Ⅲ B 運営基盤の強化……………	90
Ⅲ C 事務局機能の強化……………	90
Ⅲ D 情報収集力と発信力の強化……………	91
② 意見活動（陳情・要望活動等）……………	94
③ 調査研究……………	94
④ 広 報……………	94
⑤ 証明等（貿易関係証明）……………	94
⑥ 技能技術の普及および検定……………	94
⑦ 経営改善普及事業……………	95
⑧ 受託事業……………	109

VII 登 録

① 法定台帳……………	110
-------------	-----

IX 事務所等 ……110

X 団体への加入および連携

① 日本商工会議所……………	111
② 東北六県商工会議所連合会……………	111
③ 福島県商工会議所連合会……………	112

XI その他の会議等への参加 ……113

令和2年度収支決算書

1 収支決算総括表……………	117
2 一般会計収支決算書……………	118
3 特別会計収支決算書	
(1) 中小企業相談所収支決算書……………	120
(2) 会員事業所共済制度等収支決算書……………	122
(3) 特定退職金共済制度収支決算書……………	123
(4) 職員退職給与積立金収支決算書……………	124
(5) 会館営繕準備積立金収支決算書……………	124
(6) 財政調整積立金収支決算書……………	125
(7) ふるさと元気支援基金収支決算書……………	125
(8) まちづくり推進基金収支決算書……………	126
(9) 記念行事準備積立金収支決算書……………	126
4 貸借対照表……………	127
5 財産目録……………	128
6 監査報告書……………	130

事業報告書



総括的概要

新型コロナウイルス感染症が国内で最初に確認されてから一年余りが経過したが、収束はなお見通せていない。

コロナ禍は人々の価値観や行動様式を大きく変えた。「新しい生活様式」の実践が求められるとともに、長期化する経済活動の停滞はすべての業種に影響を及ぼしている。とりわけ観光・飲食業は深刻な状況が続いている。

当所は令和2年度の基本理念に「足腰の強い『健都ふくしま』を目指して」を引き続き掲げ、「会員事業所のさらなる強化」と「新たなまちづくりの強化」の年間テーマの下、コロナ禍を乗り越えるために会員事業所と地域に寄り添った活動を積極的に展開した。

令和3年3月25日に渡邊博美会頭を本部長とする「新型コロナウイルスに伴う経営支援対策本部」を設置して以降、この緊急事態に対応するための各種取組みを相次いで展開した。ホームページ等を通じて各種支援内容等の迅速な周知を図ったほか、コロナ対応への経営相談体制を強化して事業所の不安に丁寧に関わり添った。専門家等と連携した相談会の開催等により、経営相談件数は前年比2割以上増加した。また、国・県・市に対して緊急要望を実施し、大胆な経済対策の実施などを訴えた。

地域一丸となってコロナ禍を乗り越えるためには、「新しい生活様式」の実践とともに感染対策の徹底による安心の醸成が欠かせない。当所は感染拡大予防策に取り組む会員事業所に「安心宣言店」のポスター・ステッカーを進呈したほか、福島市・福島市商店街連合会と共同でポスターを作成して啓発に努めた。

特に影響が深刻な飲食業を支援するため、独自の「ふくしま応援（エール）お持ち帰りごはん支援事業」を展開し、テイクアウト需要などの喚起に取り組む事業所を支援したほか、「ランチで食うポン」事業も春・秋の2回実施し、賞品の充実を通じて消費拡大とともに需要を創出した。

令和2年度も3つの施策体系に基づいて事業を展開した。1つ目の「活力のある福島創造」については、古関裕而夫妻をモデルとした連続テレビ小説「エール」の放送を契機とした古関裕而氏を未来へつなぐ事業を相次いで展開した。当所が中心となって運営した「古関裕而まちなか青春館」は期間中、市内外から2万3千人の来館者を記録し、街なかの回遊性向上とともに「古関裕而のまち・ふくしま」の発信に大きく寄与した。

第3期福島市中心市街地活性化基本計画が令和3年3月30日に内閣総理大臣から認定され、福島駅東口再開発事業が動き出す中、当所は活力ある中心市街地の実現に向けて、幅広い世代がまちづくりに参画できるよう関係機関と連携を図った。

2つ目の「会員事業所の発展」については、平成30年3月に経済産業大臣から認定を受けた「経営発達支援計画」に基づいて事業者に関わり添った伴走型支援を推進した。事業計画の策定支援などを通じて、企業の安定・成長・継続・創出につなげる経営支援を展開した。また、WEBセミナーの配信を新たに始めたほか、オンライン活用に関するセミナー等も開催し、ICTの利活用を促した。

自然災害が相次ぎ、事業継続計画（BCP）策定の支援に取り組む中、令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震は大きな被害をもたらした。当所は直後に相談窓口を開設したほか、「中小企業等グループ補助金」を活用し復旧・復興を目指すために当所が中心となった復興グループを形成して被災企業の支援に取り組んだ。

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙 役員・議員 の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I 活力ある 福島の創造

VII 事業 II 会員事業所 の発展

VII 事業 III 魅力ある 商工会議所

VII 事業 経営改善 普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入 および連携

XI その他の 会議等への 参加

3つ目の「魅力ある商工会議所」を体現するためには、商工会議所自らの組織を強固な体制に構築することが必要である。会員事業所に真に必要とされ、経営支援や各種サービスの利用を促すために「商工会議所活用辞典」ダイジェスト版を全会員に送付したほか、会員増強にも努めた。また、人間ドックのサービスも新たに開始し、健康経営の推進に取り組んだ。

財 政

◇収入について

会費については、議員会費は予算通り43,940千円を確保したものの、一般会費は前年度決算対比782千円減の45,600千円で合計89,540千円となり、会費収入総額は93,006千円となった。

事業収入については、新型コロナウイルスの影響により検定事業などの収入が減る一方、持続化給付金のサポート会場使用料として4,610千円の収入があり、事業への参加費収入を含めて事業収入総額は前年度比5,174千円増の24,485千円となった。

受託費・補助金については、新型コロナウイルス対策支援事業として実施した福島県飲食店支援事業の82,500千円増などにより、前年度比89,281千円増の112,985千円となった。

収益事業については、生命共済・個人保険は手数料の減少で前年度比3,436千円減の111,668千円となり、共済還元バスツアーの中止により参加費収入が467千円減となる一方、パソコン教室事業が前年度比1,694千円増の29,615千円、業務災害補償プランなど損害保険手数料収入が前年度比339千円増の5,592千円となり、総額として1,870千円減の162,098千円となった。

補助金については、コロナの影響により一部事業が実施できなかったことにより、県・市からの補助金総額は前年度比2,440千円減の118,908千円となった。

◇支出について

事業費については、一般会計では新型コロナウイルスの影響による福島わらじまつりや東北絆まつり、各種イベント、上半期に予定されていた検定試験の中止により商工振興事業費が前年度比9,900千円減の73,970千円となる一方、受託事業費が福島県飲食店応援前払利用券事業等の支出増により前年度比90,919千円増の99,575千円となり、支出総額は173,546千円となった。

管理費については、職員1名の減による俸給の減、検定試験やイベント中止による超過勤務手当の減、旅費・会議費等の減により前年度比11,642千円の減となったが、令和3年2月に発生した福島県沖地震の被害による修繕費として本年度5,226千円の支出により、支出総額は前年度比6,416千円減の287,497千円となった。

積立金については、記念事業積立へ1,000千円、会館営繕積立へ1,500千円、財政調整積立へ1,500千円を計画通り積み立てることができた。

◇繰越金について

次年度の繰越金となる一般会計収支剰余金は50,285千円となり、今後の安定的な事業運営および環境変化や不測の事態に対応するための必要な事業を実施できる健全な財政内容となった。

令和2年度 施策体系

施策Ⅰ 活力ある福島の創造 (地域経済の活性化)

Ⅰ-A ふくしま将来ビジョンの推進

- 1 アクションプランの見直しならびに進捗管理
 - (1) 部会・委員会等連携による具体的事業の実施
 - (2) 福島市をはじめとする関係機関への提言並びに要望活動の実施

Ⅰ-B 政策提言・要望活動の推進

- 1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上
 - (1) 部会・委員会による地域課題の調査・研究
 - (2) 日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
 - (3) 各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究
- 2 政策提言・要望活動の実施
 - (1) 福島駅周辺を核とする中心市街地活性化に関する要望
 - (2) 福島市の都市形成およびまちづくりの推進に関する要望
 - (3) 中核市としての独自の施策の実施および連携中枢都市圏構想の推進に関する要望
 - (4) 復興のための幹線道路の整備促進及び建設促進に関する要望
 - (5) 観光振興および交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
 - (6) 景気対策および中小企業対策等に関する要望
 - (7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組みの強化に関する要望
 - (8) 原子力災害に関する要望

Ⅰ-C 中心市街地の活性化

- 1 中心市街地活性化の推進
 - (1) 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第2期基本計画の推進
 - (2) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化
 - ① 福島駅東口地区再開発事業への支援・協力
 - ② 再開発事業と連携した新たな交流・集客拠点整備の推進および環境整備の検討
 - ③ 福島駅周辺（駅前通り等）における賑わい創出イベント等の実施
 - ④ まちづくり推進基金を活用した中心市街地活性化のための調査・研究およびイベントの推進
 - ⑤ 福島駅新東西自由通路の検討
 - ⑥ 街なか広場の利活用の推進
 - (3) 県立医大「保健科学部」（仮称）のまちなか受入れ事業の実施
 - ① 福島市商店街連合会との連携による学生サービス事業の実施

- (4) 若者のまちづくりへの参画の推進

- ① 若い世代に魅力あるまちの創造と、学生が滞留するための施設等の検討
- ② 市内の学生および若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくりの検討

- (5) ㈱福島まちづくりセンターとの連携

2 世代を超えて集えるにぎわい創出の推進

- (1) 福島駅前元気プロジェクト（春・夏・秋・冬）等のにぎわい創出イベントの展開
- (2) 商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力
- (3) 福島駅前通りのにぎわい創出の仕組みづくりの検討
- (4) 関係団体との情報・意見交換

3 都心居住の推進

- (1) 集合住宅、ニーズに対応した居住サービスの提供に関する検討
- (2) 県立医大「保健科学部（仮称）」新設に伴う住居ニーズへの対応
- (3) 空き家対策の推進

4 情報の発信

- (1) ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化
- (2) まちなかイベントの相互PRの推進

Ⅰ-D 広域連携の推進

1 県境を越えた広域連携の推進

- (1) 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（福島・相馬・米沢・山形）
 - ① 相馬・米沢方面からの誘致策の検討
 - ② 東北中央自動車道沿線道の駅等を活用した本市観光PR・物産展の実施
 - ③ 仙台国際空港を活用した広域観光周遊ルートの検討
 - ④ 東北中央自動車道活用に向け、相馬・米沢の企業・山形大学工学部および商工会議所等との交流推進
 - ⑤ 連携中枢都市圏構想を見据えた福島市周辺の経済団体による連携組織の設立と連携事業の推進
 - ⑥ 福・相・米「観光ドライブMAP」改正版の発行
- (2) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究
- (3) 連携中枢都市圏構想による中小企業振興の推進
- (4) 東北中央自動車道大笹生IC周辺整備（道の駅、工業団地等）の促進

- 2 福島西道路の南伸並びに東北中央自動車道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進

総括的概要

施策体系

Ⅰ 定款・規約等

Ⅱ 組織

Ⅲ 議員選挙
役員・議員
の選任

Ⅳ 事務局

Ⅴ 庶務

Ⅵ 会議

Ⅶ 事業Ⅰ
活力ある
福島の創造

Ⅶ 事業Ⅱ
会員事業所
の発展

Ⅶ 事業Ⅲ
魅力ある
商工会議所

Ⅶ 事業
経営改善
普及事業他

Ⅷ 登録

Ⅸ 事務所等

Ⅹ 団体加入
および連携

Ⅺ その他の
会議等への
参加

I-E 観光振興および交流人口拡大対策の推進

- 1 昭和の大作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ事業の推進
 - (1)古関裕而氏を活かしたまちづくりの推進
 - ①「古関裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業の推進
 - ②「古関裕而ゆかりの地マップ」改正版の発行
 - (2)古関裕而氏にちなんだ「応援（エール）グルメ」「応援（エール）寿司」の実施
 - (3)福島市が行う古関裕而関連事業への支援・協力
 - (4)「古関裕而氏の野球殿堂入りを実現する会」への支援協力
 - (5)「古関裕而関連事業」（青年部）への支援協力
- 2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進
 - (1)まつり（東北絆まつり2020山形・第51回福島わらじまつり）を活用した地域活性化の推進
 - (2)わらじまつりPR隊による広報活動推進
 - (3)既存観光資源の活用と広域観光の推進（信夫山、花見山、花もの里、温泉、福島競馬場等）
 - (4)県外・海外での観光PRへの支援・協力
 - (5)ふくしま地域ポータルサイト「もりんく」の運営支援
- 3 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施
 - (1)「ふくしま花のまちフェスティバル2020」の実施
- 4 観光振興のための連携の推進
 - (1)仙台国際空港を活用した南東北3県にまたがる広域的な観光商品の検討
 - (2)2021年東北デスティネーションキャンペーンへの協力
 - (3)周辺市町村と連携した広域観光の推進
 - ①「相馬野馬追」「米沢上杉まつり」などを活用した相馬・米沢との連携による広域観光の推進
 - ②「福島ロボットテストフィールド」等を活用した観光振興
 - (4)観光関係団体（福島市観光コンベンション協会等）との連携強化
- 5 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力
 - (1)福島ユナイテッドFCへの支援（サポーターズクラブ加入促進等）
 - (2)福島市出身の大相撲力士大波三兄弟への支援
- 6 国際交流およびインバウンド推進
 - (1)東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド対応の推進
 - ①外国人との接客に関するおもてなしセミナーの実施
 - ②インバウンド受入れ態勢の充実
 - ③インバウンド受入れ拡大に向けた情報発信の強化
 - (2)スイス連邦、ベトナムのホストタウンとしての交流への支援
 - (3)ふくしま台湾友好協会の交流の促進

I-F 地域の祭り・伝統文化の興隆

- 1 第51回福島わらじまつりの開催
[8月7日（金）・8日（土）]
- 2 「東北絆まつり2020山形」への福島わらじまつりの参加
[5月30日（土）・31日（日）]
- 3 第42回ふくしま花火大会の実施協力
[9月26日（土）]
- 4 第13回ふくしま山車祭り～県北の山車集結～の実施協力
[6月6日（土）]
- 5 「信夫三山眺まいり」に対する支援・協力

I-G 消費拡大の推進

- 1 飲食店ガイド・パンフレット等活用による消費拡大の推進
 - (1)優待食事券事業「2020ランチで食うボン（春）・（秋）」の実施
 - (2)『ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行」』の作成の検討

施策 Ⅱ

会員事業所の発展 (企業の安定・成長)

Ⅱ-A 小規模事業者の伴走型支援の推進

- 1 小規模支援法に基づく経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化
- 2 ふるさと元気支援事業の推進（新規創業・新分野進出・新たな販売促進への補助支援）
- 3 小規模事業者持続化補助金等による伴走型個社支援の推進
- 4 福島県小規模いきいき支援事業に対する支援協力
- 5 連携による中小企業振興の推進
 - (1) 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
 - (2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力

Ⅱ-B 相談支援体制の充実・強化

- 1 さまざまな経済環境に対応した経営相談の充実
 - (1) 新型コロナウイルスに対する企業支援の強化
 - (2) 台風19号グループ補助金等を通じた復興支援
- 2 金融に関すること
 - (1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利用促進
 - (2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進
 - (3) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進
 - (4) 金融相談会の開催
- 3 税務申告業務の充実
 - (1) 経営指導員による消費税申告書作成の取り組み強化
 - (2) 記帳の電子化・クラウド化に関する支援（ブルーリターンA等）
 - (3) 消費税申告に関する支援
- 4 消費税に関すること
 - (1) 消費税対策窓口相談事業の実施
 - ① 個別経営なんでも相談会の開催
 - ② 消費税に関するセミナーの開催
- 5 労務に関すること
- 6 原子力損害賠償に関すること
- 7 専門家による指導体制の充実
 - (1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
 - (2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用
 - (3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
 - (4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施
 - (5) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施
- 8 事業継続計画（BCP）に関する支援
 - (1) 自然災害や新たな感染症などの緊急事態に備えたBCPの策定支援
 - (2) 事業継続力強化支援計画の策定・認定（福島市との共同作成）
 - (3) 経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）の普及促進
 - (4) ビジネス総合保険制度をはじめ事業リスクに対応した保険制度の普及促進

Ⅱ-C 経営革新の推進

- 1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化
 - (1) 経営革新計画策定および認定に関する支援
 - (2) 経営革新に関する個別相談会の開催

Ⅱ-D ビジネス拡大の推進

- 1 小規模事業者の販路拡大支援（補助金活用による経営安定化の推進）
- 2 医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援
- 3 医産連携推進事業の充実
 - (1) ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進
 - (2) 福島県立医科大学と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援
- 4 産学官連携の推進
 - (1) 東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進
 - (2) 福島大学食農学類をはじめとした市内大学と連携した6次化の検討
 - (3) 研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化
 - (4) 福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究
 - (5) 福島イノベーションコースト構想に関する地域企業との連携
- 5 ビジネスチャンスの提供
 - (1) 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催
 - (2) ICTの利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録促進等）
 - (3) DM配送サービス（企業情報宅配便）による取引拡大支援
 - (4) 商取引の照会・斡旋
- 6 優良会員事業所表彰制度の充実

Ⅱ-E 事業承継・事業再生の支援

- 1 後継者対策、事業承継に関する支援の充実
 - (1) 事業承継のマッチングに関する支援
 - (2) 事業承継に関する個別相談の実施
 - (3) 福島県事業引継ぎ支援センターと連携した無料相談会の実施
- 2 事業再生に関すること
 - (1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
 - (2) 事業転換に関する支援

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅱ-F 創業の推進

- 1 創業スクールの実施
- 2 創業に関する個別相談の充実
 - (1) ビジネスプラン作成の支援
 - (2) 開業資金の調達に関する支援

Ⅱ-G 人材育成事業の推進

- 1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施
 - (1) 経営課題別セミナーの開催
 - (2) 組織階層別セミナーの開催（新入社員、中堅社員、営業社員等）
 - (3) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催（県北技塾）
 - (4) 「生産性向上支援訓練」の開催
 - ① パソコン教室の実施
 - (5) 小学生職場体験事業の実施
 - (6) 福島市産官学連携プラットフォーム連携推進会議との連携
- 2 各種検定試験による商工技能の向上
 - (1) 各種検定試験の実施
 - ① 簿記検定（企業会計知識の習得）
 - ② 販売士検定及び販売士資格更新講習会（消費者の「買いたい」をつくる力の習得）
 - ③ 珠算検定（記憶力および情報処理力の習得）
 - ④ PC検定（パソコンを駆使した効果的・効率的な業務遂行力の習得）
 - ⑤ 福祉住環境コーディネーター検定（医療×福祉×建築の総合力の習得）
 - ⑥ ビジネス実務法務検定試験（ビジネス上の基本法律知識の習得）
 - ⑦ カラーコーディネーター検定（色彩効果の活用力の習得）
 - ⑧ 環境社会検定（eco検定）（ビジネスと環境の相関説明力の習得）
 - ⑨ ビジネスマネージャー検定（マネジメントの基礎知識の習得）
 - (2) 検定試験受験に関する企業等へのPR強化

Ⅱ-H 雇用対策事業の推進

- 1 雇用対策に関すること
 - (1) 高等学校との連携による取組み（意見交換会・企業見学会等の開催）
 - (2) 市内の大学との連携
 - (3) 福島市雇用促進サポート事業の実施
 - (4) インターンシップの推進
 - (5) 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携および普及啓発

2 働き方改革・若者・女性活躍に関すること

- (1) 働き方改革に関する国の各種施策についての情報提供
- (2) ワーク・ライフ・バランスの普及啓発および推進
- (3) 若者・女性の人材育成についての先進的な取組事例の研究
- (4) 福島市人材確保支援事業の実施
- (5) 福島市自立支援仕事体験事業の実施
- (6) 女性就業促進に関する行政への要望

3 健康経営®・職場環境に関すること

- (1) 健康経営に関する研究および情報提供
- (2) 健康経営セミナーの開催
- (3) 健康寿命延伸に関する調査・研究および推進

Ⅱ-I 各種調査・情報提供

- 1 登録・申請・検査業務の実施
 - (1) 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
 - (2) 容器包装リサイクル業務の実施
 - (3) 原産地証明書の発行
 - (4) 加工食品の放射性物質測定
 - (5) 放射線測定器の貸出
- 2 地域経済に関する各種調査の実施
 - (1) LOBO（早期景況観測）調査
 - (2) 年末年始商戦アンケート調査
 - (3) 中小企業景況調査

Ⅱ-J 業種別振興事業の推進

- 1 食品商業に関すること
 - (1) 食品商業の経営力強化に関すること
 - (2) 食品商業の商環境の活性化に関すること
- 2 生活関連商業に関すること
 - (1) 個店の魅力向上支援
 - (2) 販売物流の効率化支援と連携推進
 - (3) おもてなしサービスの向上支援
- 3 工業に関すること
 - (1) SDGsの理念に基づいての活動の推進
 - (2) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化
 - (3) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進
 - (4) 人材育成事業の実施（「県北技塾」、「生産性向上支援事業」の実施）
 - (5) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進

4	建設業に関すること
(1)	建設業の基盤強化に向けた取り組み
(2)	福島市の都市形成に関する検討
(3)	建設業界に関する情報提供
5	金融・経営支援に関すること
(1)	中小企業支援のための連携強化
(2)	福島復興・創生に資する研究開発拠点等の調査研究
(3)	経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催
6	観光・飲食業に関すること
(1)	古閑裕而氏を活かしたまちづくり推進事業への支援・協力
(2)	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントとの連携強化
(3)	東北中央自動車道の活用による広域観光の推進
(4)	地域飲食店の繁盛支援
(5)	既存観光資源を活用した観光振興の推進
(6)	関係機関等との連携の強化
(7)	2021年東北デスティネーションキャンペーンへの協力
7	情報・通信業に関すること
(1)	福島市のブランド力向上につながる情報発信への支援・協力
(2)	情報通信サービスに関するセミナー等の開催
(3)	部会員スピーチの開催
(4)	ICT利活用の調査・研究、視察会の実施
8	不動産業に関すること
(1)	快適で魅力あるまちづくりと都心居住の推進
(2)	福島市空家等対策事業に関する研究・協力
(3)	福島市の土地利用の促進に関する研究
(4)	会員事業所への情報の提供
9	健康・サービス業に関すること
(1)	部会員のレベルアップに向けた事業の推進
(2)	生産性向上に向けた調査研究
(3)	部会員間の親睦事業等の実施

Ⅱ-K 福利厚生の充実

1	会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実
(1)	生命共済制度・個人保険の普及・拡大
(2)	特定退職金制度の普及・拡大
(3)	BCPと連動した提携損害保険の推進
(4)	小規模企業共済制度の普及・拡大
(5)	共済加入者還元事業の充実
(6)	会員交流ビアパーティの開催
(7)	スイーツバイキングの開催

2	会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進
(1)	生活習慣病健診の実施
(2)	人間ドック健診の実施
3	会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施
4	会員事業所従業員の婚活事業の実施

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

施策 Ⅲ

魅力ある商工会議所 (商工会議所の活性化)

Ⅲ-A 商工会議所の運営強化

- 1 運営強化のための会議等の充実
 - (1) 常議員会・議員懇話会の充実
 - (2) 部会長・委員長会議の開催
 - (3) 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催
 - (4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催
 - (5) 他地区商工会議所の視察および懇談会の開催
 - (6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催
 - (7) 福島市新年市民交歓会の開催
- 2 商工会議所組織の活性化に関すること
 - (1) 部会の活性化
- 3 会員サービスの充実
 - (1) 会員満足度調査結果に基づく新たな会員サービス事業の検討
 - (2) 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催（再掲）
 - (3) 会員交流ビアパーティの開催（再掲）
 - (4) スイーツバイキングの開催（再掲）
 - (5) オリジナルカレンダーの作成・配布
- 4 女性会・青年部の運営支援と連携強化
 - (1) 福島商工会議所女性会の運営
 - ① 創立40周年記念事業の実施
 - (2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営
 - ① 県女性会連合会創立40周年記念事業の実施
 - ② 全国商工会議所女性会連合会2021福島全国大会の受入れ準備
 - (3) 福島商工会議所青年部の運営
 - (4) 各種事業への支援と連携強化
- 5 福島県商工会議所連合会の運営
 - (1) 各種会議の開催（会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）
 - (2) 要望・懇談の実施
 - (3) 風評被害・風化対策事業の実施
 - (4) 県内商工会議所職員研修の実施
- 6 外郭団体との連携
 - (1) 福島市商店街連合会
 - (2) 福島市商店街連合会青年部
 - (3) 福島青色申告会連合会
 - (4) 福島市青色申告会
 - (5) 福島県珠算連盟
 - (6) 福島珠算連盟

- (7) 福島わらじまつり実行委員会
福島夏まつり委員会
- (8) 福島エネルギー懇談会
- (9) 東北経済連合会福島地域懇談会
- (10) 福島県警察官友の会連合会
- (11) 福島地区警察官友の会
- (12) 福島県自衛隊協力会連合会
- (13) 福島市自衛隊協力会
- (14) 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会
- (15) 福島リサイクル推進協議会
- (16) ふくしま台湾友好協会（海外交流の推進）
- (17) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会
- (18) 福島市にサッカースタジアムを作る会

Ⅲ-B 商工会議所の情報発信力の強化

- 1 情報戦略の構築
 - (1) 会員事業所への情報発信の強化
 - ① SNSを活用したセミナー等の開催案内など情報発信力の強化
 - (2) 未加入事業所と市民への情報発信の研究・強化
 - ① ももりんビジョンによる情報発信
 - ② 街かど情報ステーション・はっとボックスによる情報発信
 - (3) メディアへの情報発信の強化
 - ① マスコミとの意見交換会の開催
 - ② 各種メディアによる情報発信
- 2 「商工会議所活用辞典」ダイジェスト版の発行
- 3 所報ふくしまの発行と内容のさらなる充実
- 4 ホームページおよびICT環境の整備促進
- 5 資料提供の拡充・強化

Ⅲ-C 運営基盤の強化

- 1 組織基盤の強化
 - (1) 組織率40%堅持のための議員・職員による会員増強運動の推進
 - (2) 生命共済制度の維持拡大とBCPと連携した提携損害保険の推進
- 2 会員事業所の巡回訪問
- 3 未加入事業所に対する会員勧奨

Ⅲ－D 事務局機能の強化
1 商工会議所を取り巻く環境の変化に対応した組織の見直し (1)「会員サービス課」への課名変更
2 職員の経営支援能力等の向上 (1) 商工会議所経営指導員全国研修会の開催 (福島市 7月2日・3日)
(2) 経営指導員、経営指導補助員研修会など職層に応じた各種研修への参加
3 働き方改革の推進
4 各種業務の見直しおよび改善の徹底
5 法令遵守体制の強化・改善

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

※下線部分は変更箇所を示す

1 定 款

定款の改正

■改正決議 令和3年3月29日 第2回通常議員総会

■改正要旨

「第44条（常議員会）」「第46条（準用規定）」についての改正

■改正条文

（常議員会）

第44条

3 会頭は、必要あると認めるとき又は常議員が総常議員の5分の1以上の同意を得て請求したときは、会議の目的たる事項、日時及び場所につき通知を発して常議員会を招集しなければならない。

4 常議員会における常議員及び常議員以外の役員（理事及び監事を除く。）の表決権は各々1個とする。

（準用規定）

第46条

第40条（議長）、第41条（第3項を除く）（議事）及び第43条（議事録）の規定は、常議員会について準用する。この場合、第41条中「表決及び選挙」とあるのは「表決」と読み替えるものとする。

附 則

（実施の時期）

1 第44条（常議員会） 第46条（準用規定）の改正規定は、令和3年4月1日から実施する。

2 規 約

規則等の改正

（1）職員給与規則の一部改正

■改正決議 令和2年12月9日 第4回常議員会

■改正要旨 小規模事業経営改善支援事業費の補助対象職員への人件費補助の変更に伴う職員給与規則の改正

・期末手当の見直し（第20条）

■施行期日 令和2年12月1日

（2）育児・介護休業規則の一部改正

■改正決議 令和3年3月16日 第5回常議員会

■改正要旨 改正育児介護休業法の施行に伴い、労働者が希望する場合、子の看護休暇・介護休暇を時間取得させることが事業主に義務づけられることを受けての改正

・子の看護休暇（第10条） 介護休暇（第11条）

■施行期日 令和3年1月1日

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

Ⅱ 組 織

1 会 員

1. 会 員 数

() 内は前年度末数

①年度末会員数

②区分別会員数

③地区別会員数

④会費持口数別（選挙権者数）会員数

3,777
(3,804)
新規 89 退会 116

個人 1,388 (1,429) 新規23／退会64
法人 2,318 (2,306) 新規63／退会51
団体 71 (69) 新規3／退会1

地区内会員数 3,506
地区外会員数 271

100口以上／	50票	54会員
50～99口／	50票	79会員
30～49口／	30～49票	11会員
10～29口／	10～29票	72会員
5～9口／	5～9票	138会員
2～4口／	2～4票	1,898会員
1口／	1票	1,525会員

2. 部 会

部 会 名	所 属 業 種	部会員数
食品商業部会	食品関連卸・小売、農業 等	257
生活関連商業部会	食品関連以外の商品を取扱う卸・小売、貨物・倉庫等運輸関係 等	673
工業部会	製造全般、自動車整備、広告・看板製造 等	429
建設業部会	建設業、建設材料卸業、各種計画・設計・監理 等	781
金融・経営支援部会	金融、証券、保険関係、弁護士・経営コンサルタント・中小企業診断士・公認会計士・税理士・社会保険労務士・行政書士 等	198
観光・飲食部会	旅客鉄道・バス・タクシー等輸送関係、飲食、旅館・ホテル、旅行、観光農園 等	456
情報・通信部会	新聞・放送、ICT関連、広告代理店、ソフトウェア関連開発 等	121
不動産業部会	不動産取引業、不動産賃貸・管理（ビルメンテナンス・駐車場管理含む）、土地家屋調査士・不動産鑑定士・司法書士 等	200
健康・社会サービス部会	医療・福祉・介護、理美容、生活衛生、リサイクル・環境関連、各種学校・教室、冠婚葬祭、警備、各種サービス 等	662
合 計		3,777

3. 委 員 会

※議員、女性会、青年部で構成

委 員 会 名	活 動 目 的	委 員 数
総務委員会	商工会議所の組織運営に関すること	20
復興創生委員会	復興対策および将来ビジョンに関すること	34
中小企業振興委員会	企業支援および販路拡大に関すること	30
観光交流委員会	観光振興および交流人口拡大に関すること	23
中心市街地活性化委員会	商業振興および中心市街地活性化に関すること	23
雇用育成委員会	雇用対策および人材育成に関すること	20
合 計		150

2 特定商工業者



3 役 員

区 分	定 数	実 数
会 頭	1 名	1 名
副 会 頭	4 名	4 名
専 務 理 事	1 名	1 名
理 事	2 名以内	2 名
常 議 員	43名	43名
監 事	3 名	3 名
計	52～54名	54名

※常議員、監事は50音順

地 位	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
会 頭	渡 邊 博 美	福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長	食料品卸・小売業
副 会 頭	菅 野 日出喜	菅野建設(株) 代表取締役	建設業
副 会 頭	後 藤 忠 久	(株)後藤歯科商店 代表取締役	歯科機材販売業
副 会 頭	坪 井 大 雄	福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長	旅客運送業
副 会 頭	大 槻 博 太	大槻電設工業(株) 代表取締役	電気工事業
専務理事	石 井 浩	福島商工会議所	
常 議 員	博 多 義 雄	朝日システム(株) 代表取締役	情報処理サービス業
常 議 員	伊 藤 信 弘	(株)いちい 代表取締役社長	各種商品小売業
常 議 員	岩 見 政 弘	(株)岩見 代表取締役会長	業務用食品卸売業
常 議 員	内 池 浩	内池醸造(株) 代表取締役会長	調味料製造業
常 議 員	加 藤 利 夫	加藤鉄工(株) 代表取締役社長	金属製品製造業
常 議 員	川 瀬 成 人	(株)川瀬酒販 代表取締役	酒類小売業
常 議 員	清 野 弘	北芝電機(株) 取締役社長	電気器具製造業
常 議 員	吾 妻 学	キョウワプロテック(株) 代表取締役社長	総合ビル管理業
常 議 員	鈴 木 廣 明	(株)クラシマ 代表取締役社長	石油卸売業
常 議 員	菅 野 孝太郎	こころネット(株) 代表取締役副社長	冠婚葬祭・石材業
常 議 員	渡 邊 和 裕	(株)山水荘 代表取締役	旅館業
常 議 員	千 葉 政 行	(株)サン・ベンディング福島 代表取締役	清涼飲料水販売業

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事務局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の 発 展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事 業
経 営 改 善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参 加

地 位	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
常 議 員	三 枝 通 晃	サンヨー缶詰(株) 代表取締役社長	食料品製造業
常 議 員	大和田 知 昭	(株)大丸工務店 代表取締役	建設業
常 議 員	三 瓶 善 明	(株)ダイユーエイト 専務取締役	日用品雑貨小売業
常 議 員	新 田 良 一	(株)テレビユー福島 代表取締役社長	放送業
常 議 員	安 部 宏	東栄物産(株) 代表取締役	不動産業
常 議 員	佐久間 政 文	東信建設(株) 代表取締役	建設業
常 議 員	須 藤 英 穂	(株)東邦銀行 常務執行役員	金融業
常 議 員	二階堂 宏 樹	東北電力(株)福島支店 執行役員福島支店長	電気供給業
常 議 員	佐久間 信 幸	(株)日進堂印刷所 代表取締役社長	印刷業
常 議 員	桃 井 三 夫	(株)日新土建 代表取締役	建設業
常 議 員	梶 田 明 正	日東紡績(株)福島工場 執行役グラスファイバー事業部門・生産技術本部長兼福島工場長	繊維製造業
常 議 員	山 貫 昭 子	東日本電信電話(株)福島支店 支店長	電気通信業
常 議 員	加 藤 容 啓	(株)福島銀行 取締役社長	金融業
常 議 員	畠 利 行	福島県信用保証協会 会長	金融業
常 議 員	茅 原 稔	福島交通(株) 執行役員福島支社長	旅客運送業
常 議 員	小 河 日出男	福島市商店街連合会 会長	小売商業団体
常 議 員	樋 口 郁 雄	福島信用金庫 理事長	金融業
常 議 員	福 谷 宏 介	福島製鋼(株) 代表取締役社長	鉄鋼業
常 議 員	百 田 昭 洋	(株)福島製作所 代表取締役	船舶用機器製造業
常 議 員	横 山 淳	福島テレビ(株) 代表取締役社長	放送業
常 議 員	蔵 敷 大 浩	福島トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	自動車小売業
常 議 員	金 子 與志人	福島日産自動車(株) 代表取締役社長	自動車小売業
常 議 員	石 本 朗	(株)福島丸公 代表取締役会長	水産物卸売業
常 議 員	馬 場 憲 明	(株)福島民報社 常務取締役	新聞発行業
常 議 員	中 川 俊 哉	福島民友新聞(株) 代表取締役社長	新聞発行業
常 議 員	右 近 八 郎	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長	携帯電話等小売業
常 議 員	鈴 木 宏 幸	(株)杜設計 代表取締役	建築設計業
常 議 員	山 川 彬	(株)山川印刷所 専務取締役	印刷業
常 議 員	畠 隆 章	(有)吉川屋 代表取締役会長	旅館業
常 議 員	半 野 秀 一	(株)ラジオ福島 取締役会長	ラジオ放送業
常 議 員	山 岸 則 紀	ワイザーエル(株) 取締役会長	梱包資材製造業
監 事	加 藤 守	協三工業(株) 代表取締役	輸送用機械器具製造業
監 事	大 橋 廣 治	日東物産(株) 取締役会長	内装工事業
監 事	大 沼 健 次	ネッツトヨタ福島(株) 取締役会長	自動車小売業
常務理事	本 田 政 博	福島商工会議所	
理事 事務局長	日下部 之 彦	福島商工会議所	

4 議員定数

区 分	内 容	人 数
選 挙 議 員（１号議員）	会員・特定商工業者の選挙による選任	86名
部会選出議員（２号議員）	業種別に設置された部会による選任	27名
推 薦 議 員（３号議員）	選定委員会による選任	17名
計		130名

1. 選挙議員（86名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
議 員	麻 生 大	アクサ生命保険(株)福島営業所 所長	保険業
常議員	博 多 義 雄	朝日システム(株) 代表取締役	情報処理サービス業
議 員	菅 野 寿 夫	アサヒ通信(株) 代表取締役	電気機械器具製造業
〃	阿 部 裕 治	(株)阿部紙工 代表取締役社長	印刷業
〃	相 良 元 章	(株)アポロガス 代表取締役社長	燃料小売業
〃	上 西 和 子	入三機材(株) 代表取締役	建設業
常議員	岩 見 政 弘	(株)岩見 代表取締役会長	業務用食品卸売業
議 員	横 澤 靖	(株)インフォメーション・ネットワーク福島 代表取締役社長	情報処理業
〃	岡 部 政 美	(株)エスケーコーポレーション 代表取締役会長	不動産管理業
〃	粟 島 光 久	NECプラットフォームズ(株)福島事業所 福島事業所責任者	通信機器製造業
〃	矢 野 武 臣	NOK(株) 常務執行役員オイルシール事業部長	金属製品製造業
〃	追 分 拓 哉	(株)追分 代表取締役	酒類小売業
〃	五十嵐 俊 道	(株)オノヤスポーツ 代表取締役社長	スポーツ用品小売業
〃	小 林 勇 一	(株)家具のこばやし 代表取締役	家具販売業
常議員	清 野 弘	北芝電機(株) 取締役社長	電気器具製造業
監 事	加 藤 守	協三工業(株) 代表取締役	輸送用機械器具製造業
常議員	鈴 木 廣 明	(株)クラシマ 代表取締役社長	石油卸売業
議 員	八 巻 正 衛	倉島商事(株) 顧問	燃料小売業
〃	反 後 堯 雄	(株)クリーンテック 相談役名誉会長	産業廃棄物処理業
〃	小 林 仁 一	コバックス(株) 代表取締役	管工事業
〃	小 林 健 夫	小林土木(株) 会長	建設業
〃	古 俣 猛	(株)古俣工務店 代表取締役	建設業
〃	武 川 修 一	(株)ザ・セレクトン福島 取締役総支配人	ホテル業
常議員	千 葉 政 行	(株)サン・ベンディング福島 代表取締役	清涼飲料水販売業
〃	三 枝 通 晃	サンヨー缶詰(株) 代表取締役社長	食料品製造業
議 員	日比野 恒 夫	(有)シーリン 代表取締役	飲食業
〃	松 川 浩 司	(株)七十七銀行福島支店 支店長	金融業
〃	渋谷 順 子	渋谷レックス(株) 取締役会長	菓子・食品卸売業
〃	花 谷 智 隆	(株)商工組合中央金庫福島支店 支店長	金融業
〃	岡 崎 貴	(株)常陽銀行福島支店 支店長	金融業
〃	古 川 幸 治	(株)第一印刷 代表取締役社長	印刷業
〃	大 内 弘 之	第一温調工業(株) 代表取締役	管工事業
〃	大 村 雅 恵	大和自動車交通(株) 代表取締役社長	旅客運送業
〃	高 橋 良 行	(株)高橋設備工業所 代表取締役	管工事業
〃	多 勢 弘 之	(株)タカムラ 代表取締役社長	建築資材卸売業

総括的概要

施策体系

I 定 款・
規 約 等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活 力 有 る
福 島 の 創 造

VII 事業 II
会 員 事 業 所
の 発 展

VII 事業 III
魅 力 有 る
商 工 会 議 所

VII 事 業
経 営 改 善
普 及 事 業 他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会 議 等 へ の
参 加

役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
議 員	林 克 重	タカラ印刷(株) 代表取締役会長	印刷業
〃	多 田 恵 造	多田建設(株) 代表取締役社長	建設業
〃	加 藤 貴 之	(福)多宝会 理事長	高齢者介護施設事業
〃	尾 越 建 一	(株)帝北ロジスティックス 代表取締役	貨物運送業
〃	佐 藤 ミヨ子	(有)鐵扇屋 取締役会長	寝装具小売業
〃	三 浦 康 伸	東開クレテック(株) 代表取締役	建設資材卸売業
〃	高 野 次 郎	東開工業(株) 代表取締役	建設業金属製品製造業
〃	守 正 樹	東京電力ホールディングス(株) 福島復興本社副代表	電気供給業
〃	守 山 勝 雄	トーホー産業(株) 代表取締役会長	包装資材卸売業
〃	小 口 直 孝	東北サーモ(株) 代表取締役	ポリエチレンフィルム製造業
〃	五十畑 昌 之	東北自興(株) 代表取締役	頒布製品製造業
〃	青 野 浩 文	東北電力ネットワーク(株)福島支社 執行役員福島支社長	電気供給業
〃	西 川 博 美	西川サッシ販売(株) 代表取締役会長	サッシ販売施工業
常議員	佐久間 信 幸	(株)日進堂印刷所 代表取締役社長	印刷業
〃	桃 井 三 夫	(株)日新土建 代表取締役	建設業
監 事	大 橋 廣 治	日東物産(株) 取締役会長	内装工事業
議 員	藪 政 勝	日本中央競馬会福島競馬場 場長	競馬開催業
〃	中 川 宏 生	(株)ニューメディア福島センター 常務取締役福島センター長	有線放送・情報通信業
監 事	大 沼 健 次	ネッツトヨタ福島(株) 取締役会長	自動車小売業
議 員	佐々木 高 敏	東日本旅客鉄道(株)福島駅 福島駅長	旅客運送業
〃	樋 口 幸 一	(株)樋口商店 代表取締役社長	燃料小売業
〃	桜 田 葉 子	(学)福島学院 理事長・学長	学校業
〃	西 形 健 吉	福島ガス(株) 代表取締役会長	ガス供給業
〃	藤 田 博 文	福島県酒類卸(株) 代表取締役会長	食料品卸売業
常議員	畠 利 行	福島県信用保証協会 会長	金融業
議 員	河原田 浩 喜	(株)福島県中央計算センター 代表取締役社長	情報処理業
常議員	茅 原 稔	福島交通(株) 執行役員福島支社長	旅客運送業
議 員	鈴 木 一 海	福島コミュニティ放送(株) 代表取締役社長	ラジオ放送業
〃	渡 邊 勉	福島市観光開発(株) 代表取締役社長	市有財産管理運営
〃	涌 井 敏 秀	福島水産物商業(協) 専務理事	水産物小売業
〃	齋 藤 修	福島ツーリストサービス(株) 会長	旅行代理業
〃	吉 川 昭	福島ネオ工業(株) 代表取締役	管工事業
〃	佐戸川 政 実	福島鋳金工業(株) 代表取締役社長	鋳金製品製造業
〃	佐 藤 吉 宗	(株)福島放送福島支社 福島支社長	放送業
〃	草 野 健	(株)福島まちづくりセンター 常務取締役	産業業務支援
常議員	馬 場 憲 明	(株)福島民報社 常務取締役	新聞発行業
〃	中 川 俊 哉	福島民友新聞(株) 代表取締役社長	新聞発行業
議 員	澁 谷 修 一	(有)福島熔材工業所 代表取締役社長	精密機械加工業
〃	八木澤 勝 夫	(株)フミン 代表取締役	農業・環境資材製造業
〃	先 崎 良 博	文化設備工業(株) 代表取締役	管工事業
常議員	右 近 八 郎	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長	携帯電話等小売業
議 員	菅 野 晋	丸進機業(株) 代表取締役社長	絹織物製造業
〃	齋 藤 嘉 紀	丸藤ガラス(株) 代表取締役社長	ガラス製品卸売業
〃	伊 藤 雄 治	(株)みずほ銀行福島支店 支店長	金融業
〃	遠 藤 武 義	みちのく陸運(株) 代表取締役社長	貨物運送業
〃	三 宅 一 秀	(株)三宅新聞店 代表取締役	新聞販売業

役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
常議員	山 川 彬	(株)山川印刷所 専務取締役	印刷業
議 員	佐 藤 允 昭	山正酸素(株) 代表取締役会長	ガス製造販売業
〃	内 田 靖	(株)彌満和製作所福島工場 執行役員工場長	機械部品製造業
〃	中 畑 俊 二	(株)ユアテック福島支社 常務執行役員福島支社長	電気・管工事業
〃	村 山 広 一	陽光社印刷(株) 代表取締役	印刷業

議員職務執行者の変更（選挙議員）

- 令和2年4月1日 (株)彌満和プレジジョン 執行役員工場長 内田 靖（前任：執行役員本社工場長 山形 俊一）
- 令和2年4月1日 (株)福島放送福島支社 支社長 佐藤 吉宗（前任：執行役員福島支社長 上遠野清人）
- 令和2年4月1日 (株)みずほ銀行福島支店 支店長 伊藤 雄治（前任：支店長 友田 久也）
- 令和2年6月1日 (株)ザ・セレクトン福島 取締役総支配人 武川 修一（前任：執行役員総支配人 原澤 二郎）
- 令和2年6月18日 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 代表取締役社長 横澤 靖（前任：代表取締役社長 富田 光）
- 令和2年6月22日 (株)福島民報社 常務取締役 馬場 憲明（前任：専務取締役・編集主幹 芳見 弘一）
- 令和2年6月22日 福島民友新聞(株) 代表取締役社長 中川 俊哉（前任：代表取締役社長 五阿弥宏安）
- 令和2年6月24日 (株)ユアテック福島支社 常務執行役員福島支社長 中畑 俊二（前任：常務執行役員支社長 國府 俊吾）
- 令和2年6月24日 (株)常陽銀行福島支店 支店長 岡崎 貴（前任：支店長 高橋 博明）
- 令和2年6月24日 (株)福島県中央計算センター 代表取締役社長 河原田浩喜（前任：代表取締役社長 星 春男）
- 令和2年6月25日 (株)秋田銀行福島支店 支店長 櫻内 宣仁（前任：支店長 相原 禎徳）
- 令和2年9月1日 (株)七十七銀行福島支店 支店長 松川 浩司（前任：支店長 佐藤 正敏）
- 令和2年9月15日 (株)商工組合中央金庫福島支店 支店長 花谷 智隆（前任：支店長 町田 郁夫）
- 令和2年10月1日 NECプラットフォームズ(株)福島事業所 福島事業所責任者 栗島 光久（前任：福島事業所責任者 酒井 隆夫）
- 令和3年3月1日 日本中央競馬会福島競馬場 場長 藪 政勝（前任：場長 後藤 浩之）

新任議員

- 令和2年11月18日 東北電力ネットワーク(株)福島支社 執行役員福島支社長 青野 浩文
- 令和2年11月18日 (福)多宝会 理事長 加藤 貴之

2. 部会選出議員（27名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
議 員	櫻 内 宣 仁	(株)秋田銀行福島支店 支店長	金融業
常議員	伊 藤 信 弘	(株)いちい 代表取締役社長	各種商品小売業
議 員	手 塚 健 一	(株)ウェディングエルティ 代表取締役社長	結婚式場業
副会頭	大 槻 博 太	大槻電設工業(株) 代表取締役	電気工事業
議 員	土 田 淳	(一財)大原記念財団 副理事長	病院業
常議員	加 藤 利 夫	加藤鉄工(株) 代表取締役社長	金属製品製造業
〃	川 瀬 成 人	(株)川瀬酒販 代表取締役	酒類小売業
〃	吾 妻 学	キョウワプロテック(株) 代表取締役社長	総合ビル管理業
副会頭	後 藤 忠 久	(株)後藤歯科商店 代表取締役	歯科機材販売業
議 員	八 巻 恵 一	佐藤工業(株) 代表取締役社長	建設業
〃	大 村 信 裕	仙台ターミナルビル(株)エスパル福島 店長	各種商品小売業
〃	桑 原 浩 二	(株)大東銀行福島支店 県北ブロック長兼福島支店長兼福島南支店長	金融業

役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
常議員	大和田 知 昭	(株)大丸工務店 代表取締役	建設業
〃	安 部 宏	東栄物産(株) 代表取締役	不動産業
〃	佐久間 政 文	東信建設(株) 代表取締役	建設業
副会頭	坪 井 大 雄	福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長	旅客運送業
常議員	小 河 日出男	福島市商店街連合会 会長	小売商業団体
〃	福 谷 宏 介	福島製鋼(株) 代表取締役社長	鉄鋼業
〃	百 田 昭 洋	(株)福島製作所 代表取締役	船舶用機器製造業
議 員	小 林 典 子	(株)福島中央テレビ福島支社 福島支社長	放送業
常議員	石 本 朗	(株)福島丸公 代表取締役会長	水産物卸売業
議 員	蒲 倉 達 也	福島リコピー(株) 代表取締役	事務機器卸売業
〃	齋 藤 武 二	(株)峰亀 取締役会長	飲食業
常議員	鈴 木 宏 幸	(株)杜設計 代表取締役	建築設計業
〃	畠 隆 章	(有)吉川屋 代表取締役会長	旅館業
〃	半 野 秀 一	(株)ラジオ福島 取締役会長	ラジオ放送業
〃	山 岸 則 紀	ワイザーエル(株) 取締役会長	梱包資材製造業

議員職務執行者の変更（部会選出議員）

- 令和3年3月1日 仙台ターミナルビル(株)エスパル福島 店長 大村 信裕（前任：執行役員店長 千田 力）

部会議員の変更

- 令和2年7月27日 (有)吉川屋 代表取締役会長 畠 隆章（選挙議員より変更）

3. 推薦議員（17名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
常議員	内 池 浩	内池醸造(株) 代表取締役会長	調味料製造業
副会頭	菅 野 日出喜	菅野建設(株) 代表取締役	建設業
常議員	菅 野 孝太郎	こころネット(株) 代表取締役副社長	冠婚葬祭・石材業
議 員	紺 野 道 昭	(株)こんの 代表取締役	再生資源卸売業
常議員	渡 邊 和 裕	(株)山水荘 代表取締役	旅館業
〃	三 瓶 善 明	(株)ダイユーエイト 専務取締役	日用品雑貨小売業
〃	新 田 良 一	(株)テレビユー福島 代表取締役社長	放送業
〃	須 藤 英 穂	(株)東邦銀行 常務執行役員	金融業
〃	二階堂 宏 樹	東北電力(株)福島支店 執行役員福島支店長	電気供給業
〃	梶 田 明 正	日東紡績(株)福島工場 執行役グラスファイバー事業部門・生産技術本部長兼福島工場長	繊維製造業
〃	山 貫 昭 子	東日本電信電話(株)福島支店 支店長	電気通信業
〃	加 藤 容 啓	(株)福島銀行 取締役社長	金融業
〃	樋 口 郁 雄	福島信用金庫 理事長	金融業
〃	横 山 淳	福島テレビ(株) 代表取締役社長	放送業
〃	蔵 敷 大 浩	福島トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	自動車小売業
〃	金 子 與志人	福島日産自動車(株) 代表取締役社長	自動車小売業
会 頭	渡 邊 博 美	福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長	食料品卸・小売業

議員職務執行者の変更（推薦議員）

- 令和2年4月1日 東北電力㈱福島支店 執行役員福島支店長 二階堂宏樹（前任：執行役員福島支店長 江波 恒夫）

推薦議員の変更

- 令和2年11月18日 福島日産自動車㈱ 代表取締役社長 金子與志人（選挙議員より変更）

5 正副部会長 （敬称略）

部会名と部会役職名		氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
食品商業部会	部会長	川 瀬 成 人	㈱川瀬酒販 代表取締役	酒類小売業
	副部会長	岩 見 政 弘	㈱岩見 代表取締役会長	業務用食品卸売業
		渋谷 順 子	渋谷レックス㈱ 取締役会長	菓子・食品卸売業
		池 田 進 二	福島中央青果卸売㈱ 代表取締役社長	青果物卸売業
		吾 妻 イ ネ	㈲吾妻屋 代表取締役社長	食肉卸売業
		遠 藤 淳 弘	福島水産㈱ 代表取締役社長	鮮魚卸売業
生活関連商業部会	部会長	右 近 八 郎	㈱マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長	各種商品小売業
	副部会長	伊 藤 信 弘	㈱いちい 代表取締役社長	各種商品小売業
		鈴木 廣 明	㈱クラシマ 代表取締役社長	石油卸売業
		三 瓶 善 明	㈱ダイユーエイト 専務取締役	日用品雑貨小売業
		大 沼 健 次	ネッツトヨタ福島㈱ 取締役会長	自動車小売業
		小 河 日出男	福島市商店街連合会 会長	小売商業団体
工業部会	部会長	加 藤 利 夫	加藤鉄工㈱ 代表取締役社長	金属製品製造業
	副部会長	内 池 浩	内池醸造㈱ 代表取締役会長	調味料製造業
		加 藤 守	協三工業㈱ 代表取締役	輸送用機械器具製造業
		三 枝 通 晃	サンヨー缶詰㈱ 代表取締役社長	食料品製造業
		佐久間 信 幸	㈱日進堂印刷所 代表取締役社長	印刷業
		福 谷 宏 介	福島製鋼㈱ 代表取締役社長	鉄鋼業
		百 田 昭 洋	㈱福島製作所 代表取締役	船舶用機器製造業
		山 川 彬	㈱山川印刷所 専務取締役	印刷業
		山 岸 則 紀	ワイザーエル㈱ 取締役会長	梱包資材製造業
建設業部会	部会長	桃 井 三 夫	㈱日新土建 代表取締役	建設業
	副部会長	大和田 知 昭	㈱大丸工務店 代表取締役	建設業
		鈴木 宏 幸	㈱杜設計 代表取締役	建築設計業
		大 橋 廣 治	日東物産㈱ 取締役会長	内装工事業
		小 林 仁 一	コバックス㈱ 代表取締役	管工事業
		小 林 健 夫	小林土木㈱ 会長	建設業
		吉 川 昭	福島ネオ工業㈱ 代表取締役	管工事業
金融・経営支援部会	部会長	樋 口 郁 雄	福島信用金庫 理事長	金融業
	副部会長	須 藤 英 穂	㈱東邦銀行 常務執行役員	金融業
		加 藤 容 啓	㈱福島銀行 取締役社長	金融業
		阿 部 寿 子	東北税理士会福島支部 支部長	税理士団体

総括的概要
施 策 体 系
I 定 款・規 約 等
II 組 織
III 議員選挙 役員・議員 の 選 任
IV 事 務 局
V 庶 務
VI 会 議
VII 事業 I 活 力 有 る 福島の創造
VII 事業 II 会 員 事 業 所 の 発 展
VII 事業 III 魅 力 有 る 商 工 会 議 所
VII 事 業 経 営 改 善 普 及 事 業 他
VIII 登 録
IX 事務所等
X 団体加入 および連携
XI その他の 会 議 等 へ の 参 加

部会名と部会役職名		氏 名	企業の名称および企業上の地位	業 種
観光・飲食部会	部会長	畠 隆 章	(有)吉川屋 代表取締役会長	旅館業
	副部会長	日比野 恒 夫	(有)シーリン 代表取締役	飲食業
		佐々木 高 敏	東日本旅客鉄道(株)福島駅 福島駅長	旅客運送業
		菅 野 裕 輔	福島飲食業組合 組合長	飲食業団体
		茅 原 稔	福島交通(株) 執行役員福島支社長	旅客運送業
		渡 邊 勉	福島市観光開発(株) 代表取締役社長	市有財産管理運営
		高 橋 光 子	福島社交飲食業組合 組合長	社交飲食業団体
情報・通信部会	部会長	山 貫 昭 子	東日本電信電話(株)福島支店 支店長	電気通信業
	副部会長	博 多 義 雄	朝日システム(株) 代表取締役	情報処理サービス業
		横 澤 靖	(株)インフォメーション・ネットワーク福島 代表取締役社長	情報処理業
		新 田 良 一	(株)テレビユー福島 代表取締役社長	放送業
		横 山 淳	福島テレビ(株) 代表取締役社長	放送業
		馬 場 憲 明	(株)福島民報社 常務取締役	新聞発行業
		中 川 俊 哉	福島民友新聞(株) 代表取締役社長	新聞発行業
		半 野 秀 一	(株)ラジオ福島 取締役会長	ラジオ放送業
不動産部会	部会長	安 部 宏	東栄物産(株) 代表取締役	不動産業
	副部会長	岡 部 政 美	(株)エスケーコーポレーション 代表取締役会長	不動産管理業
		加 納 武 志	(有)菅野地所 代表取締役	不動産業
		金 子 克 之	(株)北陽不動産鑑定事務所 代表取締役	不動産鑑定業
		斎 藤 伸 洋	(株)芭蕉堂 代表取締役	不動産業
健康・社会 サービス部会	部会長	吾 妻 学	キョウワプロテック(株) 代表取締役社長	警備業
	副部会長	手 塚 健 一	(株)ウェディングエルティ 代表取締役社長	結婚式場業
		土 田 淳	(一財)大原記念財団 副理事長	病院業
		反 後 堯 雄	(株)クリーンテック 相談役名誉会長	産業廃棄物処理業

6 正副委員長 (敬称略)

委員会名	役職名	氏 名	企業の名称および企業上の地位
総 務 委 員 会	委 員 長	博 多 義 雄	朝日システム(株) 代表取締役
	副委員長	右 近 八 郎	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長
		西 川 博 美	西川サッシ販売(株) 代表取締役会長
		手 塚 健 一	(株)ウェディングエルティ 代表取締役社長
復興創生委員会	委 員 長	伊 藤 信 弘	(株)いちい 代表取締役社長
	副委員長	小 林 仁 一	コバックス(株) 代表取締役
		古 川 幸 治	(株)第一印刷 代表取締役社長
中小企業振興委員会	委 員 長	大和田 知 昭	(株)大丸工務店 代表取締役
	副委員長	佐 藤 允 昭	山正酸素(株) 代表取締役会長
		樋 口 幸 一	(株)樋口商店 代表取締役社長
観光交流委員会	委 員 長	佐々木 高 敏	東日本旅客鉄道(株)福島駅 福島駅長
	副委員長	畠 隆 章	(有)吉川屋 代表取締役会長
		齋 藤 修	福島ツーリストサービス(株) 会長

委員会名	役職名	氏名	企業の名称および企業上の地位
中心市街地活性化委員会	委員長	小河 日出男	福島市商店街連合会 会長
	副委員長	草野 健	(株)福島まちづくりセンター 常務取締役
雇用育成委員会	委員長	須藤 英穂	(株)東邦銀行 常務執行役員
	副委員長	大橋 廣治	日東物産(株) 取締役会長
		古俣 猛	(株)古俣工務店 代表取締役

7 顧問・参与

(敬称略)

顧 問	金子 恵 美	衆議院議員
	亀岡 偉 民	衆議院議員
	増子 輝 彦	参議院議員
	森 雅 子	参議院議員
	佐藤 正 久	参議院議員
	若松 謙 維	参議院議員
	内堀 雅 雄	福島県知事
	太田 光 秋	福島県議会議長
	木幡 浩	福島市長
	梅津 政 則	福島市議会議長
	和田 薫	福島県警察本部長
	三浦 浩 喜	国立大学法人 福島大学学長
	山川 潤 一	東北財務局福島財務事務所長
	岩瀬 信 也	福島労働局長
	植田 リ サ	日本銀行福島支店長
	芳見 弘 一	(株)福島民報社 代表取締役社長
	佐藤 稔	(一社) 福島県銀行協会代表理事会長
	浅倉 俊 一	元会頭
	瀬谷 俊 雄	前会頭

参 与	橘 清 司	福島県企画調整部長
	宮村 安 治	福島県商工労働部長
	齋藤 佳 史	福島警察署長
	江川 智 明	福島公共職業安定所長
	市村 尊 広	福島市商工観光部長
	田原 静 次	(株)日本政策金融公庫福島支店 支店長兼中小企業事業統轄
	隅田 裕	(株)日本政策金融公庫福島支店 国民生活事業統轄

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅲ

議員選挙および役員議員の選任

1 議員の選挙

1. 推薦議員（3号議員）

な し

2. 部会選出議員（2号議員）

な し

3. 選挙議員（1号議員）

な し

2 役員を選任

1. 会頭・副会頭・専務理事・常議員・監事

な し

2. 常務理事

な し

3. 顧問・参与

な し

4. 理 事

な し

3 役員議員の補充選任

1. 常議員補充選任

選任年月日と選任方法	被 選 任 常 議 員	
令和2年5月29日 通常議員総会において満場一致で承認	議 員	東北電力(株)福島支店 執行役員福島支店長 二階堂宏樹 氏
令和2年11月18日 臨時議員総会において満場一致で承認	議 員	(株)クラシマ 代表取締役社長 鈴木 廣明 氏
	議 員	こころネット(株) 代表取締役副社長 菅野孝太郎 氏
	議 員	(株)福島民報社 常務取締役 馬場 憲明 氏
	議 員	福島民友新聞(株) 代表取締役社長 中川 俊哉 氏

2. 議員補充選任

選任年月日と選任方法	被 選 任 議 員	
令和2年11月18日 臨時議員総会において満場一致で承認	議 員	東北電力ネットワーク(株)福島支店 執行役員福島支店長 青野 浩文 氏
	議 員	社会福祉法人 多宝会 理事長 加藤 貴之 氏

総括的概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事務局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の 発 展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事 業
経 営 改 善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参 加

Ⅳ 事務局

1 組 織

部課名および所掌事務				職員数	
専務理事				1名	
常務理事				1名	
理事 事務局長				1名	
総合企画部	部長			1名	17名
	総務課	議員、人事、経理、庶務 等		6名	
	会員サービス課	会員管理募集、共済事業、雇用対策、女性会 等		6名	
	総合企画課	中心市街地活性化、所報、原子力災害対策、情報化、福島県商工会議所連合会 等		4名	
事業推進部	部長			1名	15名
	地域振興課	交流人口拡大、地域開発、まちづくり、商業振興、青年部 等		6名	
	経営支援課	中小企業の経営相談・指導 等		8名	
合 計				35名	

2 職 員

1. 職員数

区分	一般職員	専門経営指導員	経営指導員	補助員	嘱託職員	臨時・派遣職員	計
男性	7名	3名	9名	2名	1名	0名	22名
女性	2名	0名	0名	2名	0名	6名	10名
計	9名	3名	9名	4名	1名	6名	32名

2. 主な職員

- ・総合企画部長 河 野 宏 行
- ・事業推進部長 椿 哲

V 庶 務

1 文 書

受信件数 1,434件 / 発信件数 706件

2 授 章（福島商工会議所 推薦分）

1. 叙 勲 …………… 該当者なし
2. 褒 章 …………… 該当者なし
3. 福島県知事表彰 …………… 該当者なし
4. 日本商工会議所会頭表彰

(1) 表彰規則第2条第2項に該当する役員・議員（永年勤続）

受彰年月日	受 彰 者	勤続年数
令和2年9月17日	会 頭 渡 邊 博 美 氏（福島ヤクルト販売㈱ 代表取締役会長）	20年
	常議員 三 枝 通 晃 氏（サンヨー缶詰㈱ 代表取締役社長）	20年
令和3年3月18日	常議員 岩 見 政 弘 氏（㈱岩見 代表取締役会長）	30年
	常議員 内 池 浩 氏（内池醸造㈱ 代表取締役会長）	30年

(2) 表彰規則第3条に該当する職員（永年勤続）

受彰年月日	受 彰 者	勤続年数
令和2年9月19日	総合企画部参事兼会員サービス課 課長 引 地 裕 樹	30年
	事業推進部地域振興課 課長補佐 小 場 将 文	20年
	事業推進部経営支援課 課長補佐 田 村 陽 介	20年
	事業推進部経営支援課 係長 村 山 功 一	20年
	総合企画部総合企画課 係長 伊 東 朋 宏	20年

(3) 経営改善普及事業発足60周年記念表彰

受彰年月日	受 彰 者
令和3年3月18日	事業推進部経営支援課 課長補佐 勝 瀬 晴 宣

5. 東北六県商工会議所連合会会長表彰 ※表彰規定第2条1項に該当する役員・議員（永年勤続）

受彰年月日	受 彰 者	勤続年数
令和2年7月13日	会 頭 渡 邊 博 美 氏（福島ヤクルト販売㈱ 代表取締役会長）	20年
	副会頭 菅 野 日出喜 氏（菅野建設㈱ 代表取締役）	20年
	常議員 川 瀬 成 人 氏（㈱川瀬酒販 代表取締役）	20年
	常議員 右 近 八 郎 氏（㈱マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長）	10年
	議 員 洪 谷 順 子 氏（洪谷レックス㈱ 取締役会長）	10年

総括的概要

施 策 体 系

I 定 款・
規 約 等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の 選 任

IV 事 務 局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活 力 ある
福島の創造

VII 事業 II
会 員 事 業 所
の 発 展

VII 事業 III
魅 力 ある
商工会議所

VII 事 業
経 営 改 善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参 加

6. 福島県商工会議所連合会

(1) 福島県経済功労者表彰

受彰年月日	受 彰 者
令和2年7月13日	議 員 反 後 堯 雄 氏 (株)クリーンテック 相談役名誉会長)

(2) 職員表彰

受彰年月日	受 彰 者
令和2年7月13日	事業推進部経営支援課係長 村 山 功 一

3 名義承諾（後援・共催等）

令和2年	
7月1日	震災復興パネル展
8月4日～8月28日	古関裕而スケッチ集「風景の調べ」複写絵展
8月7日	福島わらじまつり思い出写真コンテスト
8月20日	大原けんこう講座
8月23日	第4回ヴォイスふくしま納涼祭
9月2日	福島市男女共同参画トップセミナー2020
9月3日～9月4日	第9回環境放射能除染研究発表会WEB開催
9月22日	第9回とっておきの音楽祭INふくしま2020
10月11日	中央通り秋祭り
10月13日	第48回福島市交通安全市民大会
10月15日	2020年度電話応対コンクール福島県大会
10月22日	隈研吾講演会
11月1日～11月4日	菊花展示会
11月3日	第18回あづまの郷ウォーク大会
11月14日	第16期ふくしま花案内人養成講座
11月23日	福島市男女共生セミナー2020
12月4日	生産性向上支援訓練
12月4日～ 令和3年1月31日	光のしずくイルミネーション2020
12月19日	令和2年度福島市就職ガイダンス
令和3年	
3月10日～3月16日	京の老舗めぐり
3月28日	令和2年度珠算優良生徒表彰式
3月31日～8月31日	第16回花見山フォトコンテスト

4 慶弔・その他

令和2年		
5月8日	当所顧問弁護士	片岡正彦氏 逝去
6月3日	元常議員 (株)いちい	伊藤信治氏 逝去
7月9日	元顧問	石原健太郎氏 逝去
8月17日	元議員 (株)アポロガス	篠木雄司氏のご尊父 逝去
8月17日	常議員 (株)山水荘	渡邊和裕氏のご母堂 逝去
8月24日	いわき商工会議所副会頭	庄司秀樹氏のご母堂 逝去
8月25日	福島法人会事務局次長	澁谷心一郎氏 逝去
9月8日	議員 (株)インフォメーション・ネットワーク福島	横澤 靖氏のご尊父 逝去
9月25日	常議員 (株)福島民報社	芳見弘一氏のご母堂 逝去
11月18日	会津若松商工会議所専務理事	寺内秀也氏のご尊父 逝去
11月29日	元当所顧問税理士	紺野晴郎氏 逝去
12月21日	常議員 (株)ザ・ホテル大亀	渡辺 豊氏のご母堂 逝去
12月25日	常議員 (株)ラジオ福島	半野秀一氏のご母堂 逝去
12月28日	元福島市商店街連合会長	小島 衛氏 逝去
令和3年		
3月10日	常議員 (株)川瀬酒販	川瀬成人氏のご母堂 逝去
3月14日	いわき商工会議所副会頭	長谷川浩一氏のご尊父 逝去

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

VI 会 議

1 議員総会

開催日等	開催内容	
第1回(通常) 2年5月29日 124名 (うち委任状 行使者45名)	報 告	1. 議員職務執行者の変更等について 2. 参与の変更について
	議 案	1. 令和元年度事業報告について 2. 令和元年度一般会計・特別会計収支決算承認について 3. 常議員の補充選任(案)について
	そ の 他	1. 新型コロナウイルス感染症に対する福島商工会議所としての対応について 2. その他
第2回(通常) 3年3月29日 123名 (うち委任状 行使者35名)	報 告	1. 日本商工会議所表彰 職員表彰 30年勤続 常議員 岩 見 政 弘 30年勤続 常議員 内 池 浩 経営改善普及事業発足60周年記念表彰 勝 瀬 晴 宣 2. 議員職務執行者の変更等について 3. 顧問・参与の変更について
	議 案	1. 福島商工会議所定款の一部改正(案)について 2. 令和3年度事業計画(案)の承認について 3. 令和3年度一般会計・特別会計収支予算(案)の承認について
	そ の 他	令和3年度福島商工会議所人事異動について
第1回(臨時) 2年11月18日 119名 (うち委任状 行使者33名)	報 告	1. 日本商工会議所表彰 職員表彰 20年勤続 会 頭 渡 邊 博 美 20年勤続 常議員 三 枝 通 晃 2. 議員職務執行者の変更等について 3. 顧問の変更について 4. 推薦議員の補充選任について
	議 案	1. 議員の補充選任(案)について 2. 常議員の補充選任(案)の承認について 3. 福島市への要望の実施(案)について
	要 望	福島市への要望
	講 話	福島市長よりの講話 テーマ 「市政のあらまし～ふくしまから世界にエールを」 講 師 福島市長 木幡 浩 氏

2 常議員会

開催日等	開催内容	
第1回 2年5月29日 30名	議 案	1. 令和2年度第1回通常議員総会の開催について
第2回 2年9月24日 22名	報 告	1. 東北六県商工会議所連合会表彰 20年勤続 会 頭 渡 邊 博 美 20年勤続 副会頭 菅 野 日出喜 20年勤続 常議員 川 瀬 成 人 10年勤続 常議員 右 近 八 郎
	議 案	1. 福島商工会議所生命共済制度の一部内容変更について 2. 新入会員の承認について

開催日等	開催内容	
第3回 2年11月18日 28名	議	案 1. 令和2年度第1回臨時議員総会の開催内容について 2. 推薦議員の補充選任について 3. 議員の補充選任（案）について 4. 常議員の補充選任（案）について
第4回 2年12月9日 29名	議	案 1. 福島商工会議所職員給与規則の一部改正について 2. 新入会員の承認について
第5回 3年3月16日 30名	議	案 1. 令和3年度福島商工会議所事業計画の概要（案）について 2. 令和2年度収支予算の補正（案）について 3. 育児・介護休業規則の一部改正（案）について 4. 新議員の委員会の委嘱（案）について 5. 福島県指導監査結果並びに改善措置報告の実施について
第6回 3年3月29日 31名	議	案 1. 第2回通常総会への提出議案について 2. 福島商工会議所定款の一部改正（案）について 3. 令和3年度事業計画（案）について 4. 令和3年度一般会計・特別会計収支予算（案）について 5. 新入会員の承認について

3 正副会頭会議

回数	開催年月日	主 な 議 題
第1回	2年4月22日	1. 第1回常議員会・第1回通常議員総会の開催（案）について 2. 令和元年度収支決算の概要について 他
第2回	2年5月19日	1. 新型コロナウイルスに伴う会員事業所への経営支援・対応策について 2. 令和元年度事業報告・収支決算について 他
第3回	2年6月24日	1. 新型コロナウイルス感染症に伴う被害状況対応について 2. 「コロナに負けでらんに！」安心安全店ポスター・ステッカー無料配布事業の実施について 他
第4回	2年7月31日	1. 新型コロナウイルス感染症に伴う被害状況・対応について 2. 共済制度の加入年齢および名称の検討について 他
第5回	2年8月26日	1. 2021年度オリジナルカレンダーの作成内容について 他
第6回	2年9月23日	1. 新型コロナウイルス感染症に伴う被害状況・対応について 2. 第3回常議員会・第1回臨時議員総会の開催（案）について 他
第7回	2年10月28日	1. 新型コロナウイルス感染症に伴う被害状況・対応について 2. 福島市への要望の実施について 他
第8回	2年11月25日	1. 第4回常議員会 議員懇話会・忘年会の開催について 2. 福島商工会議所職員給与規則の一部改正（案）について 他
第9回	2年12月23日	1. 新議員の所属委員会の委嘱について 他
第10回	3年1月27日	1. 新型コロナウイルス感染症に伴う調査結果・対応について 2. 議員懇話会、令和2年度第4回常議員会・第5回常議員会・第2回通常議員総会の開催について 他
第11回	3年2月26日	1. 2月13日に発生した福島県沖地震の影響について 2. 福島商工会議所定款の一部改正（案）について 他
第13回	3年3月3日	1. 令和2年度収支予算の補正（案）について 2. 令和3年度事業計画の概要（案）について 他
第14回	3年3月19日	1. 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査集計結果 2. 令和3年度福島商工会議所事業計画（案）並びに収支予算（案）について 他

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

4 監 査 会

開催日等	監 査 事 項
2年5月18日 監事 3名	令和元年度業務決算関係書類

5 議員懇話会

開催日等	開 催 内 容
2年12月9日 87名	【講 演】 1. 「連続テレビ小説「エール」とふくしま」 講 師 NHK 福島放送局 局長 半沢 治久 氏 2. 「復興大臣就任記念講演会」 講 師 復興大臣 福島原発事故再生総括担当 平沢 勝栄 氏  
3年3月5日 78名	【部会長・委員長報告】 各部会・委員会の令和2年度事業概要並びに令和3年度事業計画について

6 部 会

1. 食品商業部会

開催日等	開 催 内 容
2年9月11日 18名	見 学 会 「古閑裕而まちなか青春館」 説 明 福島市史編纂室 守谷 早苗 氏 説 明 会 「福島市の新型コロナウイルス感染症の状況と対策」 説 明 福島市保健所健康推進課成人保健係 岡本なつみ 氏
2年9月23日	正 副 会 頭・ 部 会 長 会 議 (1) 説明 新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの取り組みについて (2) 意見交換 新型コロナウイルス感染症がもたらした地域経済への影響に対し、今後なすべき取り組みについて ※川瀬部会長出席
3年2月12日 10名	会 議 [議事] (1) 令和2年度事業報告について (2) 令和3年度事業計画（案）について 勉 強 会 「アフターコロナにおけるサービス業経営のススメ」 講 師 (株)ローカルカンパニー 代表取締役 伊藤 隆光 氏 (中小企業診断士・経営コンサルタント)

2. 生活関連商業部会

(1) 会議の開催

開催日等	開催内容	
2年9月25日 14名	見学会	古関裕而関連施設見学会 (1) 古関裕而記念館 (2) 古関裕而まちなか青春館 (3) 喜多三商店 (4) NHK エール展
	会議	正副部会長・常任委員会 (1) 今後の部会活動について
3年2月19日 28名	会議	(1) 令和2年度事業報告 (2) 令和3年度事業計画案について
	講演会	オンラインセミナー テーマ：「テレワーク導入の基本について」 講師：大谷更生総合研究所合同会社 代表理事 大谷 更生 氏

(2) 事業等の実施

【新型コロナウイルス感染症対策支援事業】

「コロナに負けでらんに! 安心宣言店」ポスター・ステッカー無料配布事業

感染拡大予防対策を行いながら営業を行っている会員事業所に対する周知活動支援として、「コロナに負けでらんに! 安心宣言店」のポスター・ステッカーの進呈を行った。

申込期間 令和2年6月29日～

仕様 ポスター A3／片面2色
ステッカー 120mm×120mm／片面2色



「新しい生活様式」ポスター配布

新しい生活様式の実践を呼び掛けるため、当所と福島市商店街連合会、福島市の3者共同でポスターを作成し、所報を通じて無料配布したほか、当所ホームページからダウンロードできるようにした。



総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 記録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

3. 工業部会

開催日等	開催内容	
2年7月27日 13名	正副部会長会議	(1) 工業部会事業内容および今後のスケジュールについて (2) 新型コロナウイルスの影響についての意見交換
2年11月6日 26名	視察会	まちなか青春館（福島市大町）、古関裕而記念館（福島市入江町） ・古関裕而氏を題材とした連続テレビ小説『エール』の放送期間中、注目を浴びた「まちなか青春館」、「古関裕而記念館」の視察研修会を実施した。
	部会	新型コロナウイルス感染症に関する各企業の取組（対策）および現状について
2年11月27日 9名	懇談会	ミャンマーとの脱炭素化推進パートナーシップキックオフ会合 (1) これまでの取り組み状況について (2) 今年度の実施計画について
3年2月5日 29名	部会	(1) 令和2年度事業報告について (2) 令和3年度事業計画（案）について
	講演	テーマ 「コロナ禍における最近の製造業の動向」 説明者 福島県職業能力開発協会 (株)日刊工業新聞社福島支局 支局長 高平 裕哉 氏
－	SDGsの取組	・SDGsに関する普及啓発および重要性を理解いただくため、SDGsバッジを作成し頒布した。 ・福島工業団地立地企業連絡協議会小規模エリア福島工業団地のSDGs推進宣言 出席（2年8月21日）

4. 建設業部会

開催日等	開催内容	
2年9月2日 12名	正副部会長会議	(1) 建設業部会事業内容および今後の開催計画について (2) 新型コロナウイルスの影響についての意見交換
2年12月1日 2年12月2日 23名	講演会	生産性向上支援 テーマ チャンスをつかむインターネットビジネス 講師 イースパイア(株) 代表取締役 横田 秀珠 氏
3年2月25日 33名	部会	(1) 令和2年度事業報告について (2) 令和3年度事業計画（案）について (3) その他 ・新型コロナウイルス感染症に対する福島商工会議所としての対応について ・2月13日福島県沖地震の被害状況について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う医療資材の提供

福島市において新型コロナウイルス対応で使用する医療資材が不足したことから、マスクなどの資材提供を当所工業部会、建設業部会員等と呼び掛けたところ、11事業所から備蓄されていた資材として防護服や防塵マスクなどが提供され、福島市に寄贈した。

寄贈日 令和2年5月19日

寄贈点数 12,507点



5. 金融・経営支援部会

開催日等	開催内容	
2年9月23日 22名	正副会頭・ 部会長会議	1. 新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの福島商工会議所の取組みについて 2. 意見交換 ※須藤 副部会長出席
2年10月30日 43名	部会	1. 新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの福島商工会議所の取組みについて 2. 今後の部会活動について
	講演会	講演 「コロナ禍における今後の県内経済の見通し」 講師 日本銀行福島支店 支店長 植田 リサ氏
2年12月21日 －名	部会	福島市コロナ緊急警報を受け開催中止
3年2月10日 36名	部会	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和3年度事業計画（案）について
	講演会	講演 「福島市中心市街地の動向について」 講師 福島市都市政策部 次長 森 雅彦氏

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

6. 観光・飲食部会

(1) 会議の開催

開催日等	開催内容	
2年7月27日 23名	見学	古関裕而まちなか青春館 連続テレビ小説エール展
	部会	1. 部会長の選任について 2. 副部会長の選任について 3. 部会選出議員の選任について 4. 常任委員の委嘱について 5. 新型コロナウイルスに対する観光・飲食部会としての取り組みについて
3年2月18日 29名	講演会	【観光交流委員会との合同講演会】 「令和3年度東北デスティネーションキャンペーンについて」 講師 東日本旅客鉄道㈱福島駅 福島駅長 佐々木高敏氏
	部会	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和3年度事業計画（案）について

(2) 事業等の実施

【古関裕而応援（エール）グルメ事業の実施】

《第1弾》

○実施期間 令和2年3月30日（月）～6月30日（火）

○参加店 10店舗

《第2弾》

○実施期間 令和2年7月1日（水）～9月30日（水）

○参加店 8店舗

《延長》

○実施期間 令和2年10月1日（木）～11月30日（月）



○参加店 8店舗

【古閑裕而応援（エール） 寿し事業の実施】

※福島県すし商生活衛生同業組合福島支部との共催

○実施期間 令和2年3月30日(月)～9月30日(水)

○参加店 11店舗

《延長》

○実施期間 令和2年10月1日(木)～11月30日(月)

○参加店 11店舗

【ふくしま応援（エール） お持ち帰り支援事業の実施】

《お持ち帰りごはんチラシ作成補助事業》

補助額 作成費の5分の4以内 上限額6万円

採択事業所 10事業所

《お持ち帰りごはんチラシ作成代行事業》

仕様 A4／片面4色刷 300枚以内

申込実績 29事業所

【コロナに負けでらんに！安心宣言店ポスター・ステッカーの作成・配布】

作成部数 各4,500部

配布方法 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室が公表している業種別ガイドラインにより感染拡大予防対策を行っている事業所へ配布

【GoToEatキャンペーンふくしまプレミアム食事券事業】

発行総額 60億円

発行総冊数 48万冊

当所販売冊数 5千冊 ※令和3年3月31日現在、販売冊数4,194冊

販売期間 令和2年11月2日～令和3年5月31日

利用期間 令和2年11月2日～令和3年6月30日

券面構成 1,000円券×10枚+500円券×5枚=12,500円／1冊

利用店舗 福島県内2,891店舗／福島市内541店舗 ※3月17日現在

【エールのロケ地を紹介するオリジナルカレンダーの作成、販売】

テーマ 「未来に伝えたいふるさとの宝物」

～ロケ地を訪ねて福島にエールを！～

作成部数 6,800部

配布数 会員事業所、関係機関への配布4,050部

販売数 2,500部（郵送受付、窓口受付合計）

その他 東北六県商工会議所の他、近隣の商工会議所等にも福島をPRする
目的で送付



7. 情報・通信部会

(1) 会議の開催

開催日等	開催内容	
2年8月31日 25名	見学	古関裕而まちなか青春館
	部会	1. 副部会長の補充選任について 2. 意見交換
3年2月10日 21名 オンライン	部会	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和3年度事業計画（案）について
	部会員スピーチ	(株)テレビユー福島 代表取締役社長 新田 良一 氏 (株)福島放送福島支社 福島支社長 佐藤 吉宗 氏

(2) 事業の実施

- 総務省テレワークサポートネットワークへの登録

総務省では、中小企業等のテレワークに関する相談や各種サポート体制を充実させるため、日本商工会議所とNTTが連携し、同ネットワーク体制を構築した。当所も同ネットワークに登録し、テレワークなどに関する相談があった場合は専門家につなげるようにした。

- テレワークサポート講演会

日時 令和3年2月12日

会場 福島商工会議所

対象 当所 雇用育成委員会

内容 「Withコロナ」時代を生き抜くための“テレワーク”と求められるビジネスの変革

講師 東日本電信電話(株)福島支店 第一ビジネスイノベーション部 担当課長 平川 義彦 氏

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

8. 不動産部会

開催日等	開催内容	
2年6月19日 参加者15社	説明会	「中合テナントマッチング相談会」 福島市が主催する同会へブースを設け、市内での営業継続を希望する中合テナントに対する移転先候補物件の紹介、相談業務を実施
2年9月4日 14名	部会・視察	部会：(1) 今年度の事業計画について (2) その他 視察：「古関裕而まちなか青春館」（福島市大町）
2年11月19日 4名	意見交換会	「福島県立医科大学新医療系学部設置準備室との意見交換会」 令和3年4月に福島駅前通りに開校する福島県立医科大学保健科学部 入学予定者への賃貸物件の情報提供に向けたスケジュールや業務フロー 等について協議
3年2月4日 ～ 参加者15社	事業	「福島県立医科大学合格者への住宅情報の提供」 福島県立医科大学保健科学部合格者専用サイトに496件の物件案内書を 掲示し、安心・安全な住宅情報を提供
3年2月12日 14名	部会	(1) 令和2年度事業報告について (2) 令和3年度事業計画（案）について (3) 県立医科大学保健科学部への賃貸物件情報提供の進捗状況の報告な らびに今後の進め方について

9. 健康・社会サービス部会

開催日等	開催内容	
2年9月30日 41名 当部会15名	部会	1. 今後の部会活動について 2. その他
	セミナー	第1部 テーマ：「新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の課題」 講師：公立大学法人福島県立医科大学 感染制御学講座・附属病院感染制御部 準教授・副部長 仲村 究 氏 第2部 テーマ：「健康経営優良法人認定制度」申請についてのポイント解説 講師：アクサ生命保険株式会社 HPM推進部長 日下 英樹 氏
	説明	テーマ：「福島市の新型コロナウイルス感染症への取り組み説明」 説明：福島市保健所 健康推進課 成人保健係 副主任保健師 岡本なつみ 氏
2年11月18日 15名	部会	1. 今後の部会活動について 2. その他
	見学	○古関裕而関連施設の見学 (1) メロディーバス乗車 (2) 福島市古関裕而記念館・喫茶バンブー (3) 古関裕而まちなか青春館 (4) 喜多三商店 (5) エールポスト・NHKエール展
3年2月16日 15名	部会	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和3年度事業計画（案）について 3. その他
	部会員スピーチ	「新型コロナウイルス感染症に対する大原総合病院の取り組みについて」 （一財）大原記念財団 副理事長 土田 淳 氏

7 委員会

1. 総務委員会

(1) 会議の開催

開催日等	開催内容	
2年6月19日 5名	正副委員長会議	(1) 今後の委員会活動について (2) その他
2年7月22日 15名	正副会頭・ 委員長会議	・新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの取り組みについての説明 ・新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響と今後なすべき取り組みに対する意見交換
2年8月24日 15名	委員会	(1) これまでの総務委員会の事業状況並びに今後の取り組みについて (2) その他
2年9月23日 17名	正副会頭・ 部会長会議	・新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの取り組みについての説明 ・新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響と今後なすべき取り組みに対する意見交換
2年11月5日 5名	正副委員長会議	(1) 福島市に対する「新型コロナウイルス禍の福島市商工業の支援に対する緊急要望」の実施について (2) 今後の商工会議所の取り組みについて (3) その他
3年2月18日 14名	委員会	(1) 令和2年度総務委員会事業報告について (2) 令和3年度総務委員会事業計画について
3年3月5日 78名	議員懇話会	(1) 各部会・委員会の令和2年度事業概要並びに令和3年度事業計画

(2) 福島市に対する緊急要望の実施

- ① 実施内容 正副会頭・委員長、部会長会議における意見や、経営相談対応時並びに影響調査結果等による会員の声を取りまとめ、福島市に対して要望を実施した。
- ② 実施日 令和2年11月18日(水)

(3) 商工会議所への事業提案の実施

- ① 実施内容 部会長会議、委員長会議、総務委員会での意見を取りまとめ、商工会議所として取り組むべき課題として提案を行った。

(4) 会員満足度向上に向けた事業の実施

- ① コロナ関連対策事業の周知の強化
- ② 人間ドック事業の実施
- ③ 生命共済制度「エール共済」のリニューアル

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

2. 復興創生委員会

(1) 会議の開催

開催日等	開催	内 容
2年8月6日 4名	正副委員長会議	説明 「福島市における地方創生の取り組みについて」 福島市政策調整部政策調整課 課長 後藤 孝信 氏 〃 課長補佐 目黒 貴裕 氏 (1) 令和2年度事業計画の取り組み内容について
2年11月9日 22名	委 員 会	報告 (1)新型コロナウイルス感染症に対する当所の対応について 説明 「中心市街地活性化の現状について」 福島市都市政策部都市計画課 課長 高野 卓 氏 (1) 福島市への要望活動の実施について (2) ふくしま将来ビジョン実現に向けたアクションプランの見直しにつ いて
3年2月17日 (書面審議)	委 員 会	(1) 令和2年度事業報告について (2) 令和3年度事業計画(案)について

(2) 福島市への要望の実施

令和2年11月18日の当所臨時議員総会において、木幡浩市長に下記内容についての要望書を手渡した。
「新型コロナウイルス禍の福島市商工業の支援に対する緊急要望」

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた一層の取り組みに向けて
- ② 経営環境の変化に対応する強靱な中小企業づくりに向けて
- ③ 福島駅を中心とする中心市街地の活性化に向けて
- ④ 県都の発展に資する地域開発の推進に向けて
- ⑤ 観光振興に向けて

(3) 「ふくしま将来ビジョン実現に向けたアクションプランの見直しについて」

- ① 目 的 各委員会・部会および青年部・女性会等が行ったアクションプランの実施状況の確認を
基に、プラン作成時から3年余経過したことによる時代背景の変化等に伴う見直しを検
討する
- ② 実施内容 県立医科大学保健科学部の開校、コンベンション機能を含む福島駅前市街地再開発整備
事業など、中心市街地の活性化の動きが見られることに鑑み、課題1の福島駅周辺を核
とする中心市街地の活性化について見直しを行った。
課題2～福島市の都市形成および居住環境整備、課題3～中小企業支援策の充実、課題
4～観光振興および交流人口拡大策の推進については、今後検討していくものとする。

(4) 「新まちなか広場づくり市民ワークショップ」への参画

街なか広場は令和元年10月6日、パセオ通りに全面的に接する街区東側に位置が変わって暫定オーブ
ンし、これまで同様に中心市街地の活性化が図られるイベント等に貸し出しが行われている。

この暫定オープン以降、新しい広場の本整備に向けて、市民の方々から多くの意見をいただくため、
市民ワークショップを福島市で開催した。

参加者は、商工関係団体や広場利用団体、福島市の未来を構成する福島大学、福島学院大学、桜の聖
母短期大学の学生や高校生等であり、参加者がグループごとに分かれ、新しいまちなか広場がどのよう
な広場になるとよいかについて意見を出し合った。

- ・開催日：令和2年6月27日、8月22日、10月17日
(令和元年10月から令和2年3月にかけても5回開催)

(5) 「リノベーションまちづくりセミナー」の開催

開催日 令和3年1月20日

主催 福島市中心市街地活性化協議会

講師 株式会社ブルースタジオ 大島 芳彦氏

参加者 42名

内容 リノベーション（既存の建物等の用途や機能を変更し、その価値を上昇させること）の手法を用いて、空き家・空き店舗などの遊休不動産を再生することで、町のにぎわいづくり、地域の課題の解決、コミュニティの再生等でエリアの価値を向上させてきた取り組みの話を伺った。



3. 中小企業振興委員会

開催日等	開催	内容
2年7月28日 9名	第1回 正副委員長会議	(報告) 1. 新型コロナウイルス感染症に対する福島商工会議所としての支援対応策について 2. 小規模事業者等支援事業（各種補助事業の状況）について 3. 経営発達支援事業について (協議) 1. 年間スケジュールについて 2. 新たな優良会員事業所表彰制度について 3. 福島商工会議所ふるさと元気支援補助金について
2年9月9日	日商主催 オンライン セミナー	「新型コロナ時代に立ち向かう地域・中小企業」 (基調講演) テーマ ウィズコロナとデジタルによる次世代経営 講師 未来投資会議構造改革徹底推進会合副議長 経営共創基盤（IGPI）代表取締役 CEO 富山 和彦氏 他
2年10月8日 23名	第1回委員会	(報告) 1. 新型コロナウイルス感染症に対する福島商工会議所としての支援対応策について 2. 小規模事業者等支援事業（各種補助事業の状況）について 3. 経営発達支援事業について (協議) 1. 年間スケジュールについて 2. 新たな優良会員事業所表彰制度について 3. 福島商工会議所ふるさと元気支援補助金について (意見交換) テーマ 「新型コロナウイルスの影響に係る現状と今後の課題について」
2年12月10日 36名	会員企業人事 担当者 と 高等学校就職 担当教諭との 意見交換会	(説明) テーマ 「最近の雇用情勢について」 講師 福島公共職業安定所 統括職業指導官 佐藤 明美氏 (意見交換会) (1) 高等学校就職担当教諭からの現状ならびに要望発表 (2) 会員企業人事担当者からの現状ならびに要望発表 (3) 意見交換
3年2月3日 9名	第2回 正副委員長会議	(議題) 1. 令和2年度事業報告について 2. 令和3年度事業計画（案）について 3. 新たな優良会員事業所表彰制度について (意見交換)

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 記録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

開催日等	開催内容	
3年2月19日 22名	第2回委員会	(議題) - 令和2年度事業報告について - 令和3年度事業計画(案)について - 新たな優良会員事業所表彰制度について (説明) 令和元年度優良会員事業所表彰制度受賞企業スピーチ ☐環境改善賞 テーマ「アポログループのSDGs」 説明者 (株)アポロガス 代表取締役 相良 元章 氏 ☐委員長特別賞 テーマ「「つみきの家 福島・佐倉下」の取り組み報告」 説明者 (同) TSUMIKI 代表社員 藤原光一郎 氏 (意見交換)

4. 観光交流委員会

(1) 会 議

開催日等	開催内容	
2年7月28日 4名	正副委員長会議	○協議事項 - 今年度の委員会活動について - その他
2年8月20日 5名	懇談会	○豊橋商工会議所 佐藤 元英 副会頭(ヤマサちくわ(株)代表取締役社長)との懇談
2年9月8日 14名	委員会	【施設見学会】 ○見学先 - 福島市古関裕而記念館 - 東北中央自動車道 - 伊達桑折 IC～桑折 JCT(8月2日開通区間) - 福島大笹生 IC(道の駅整備予定地) - 古関裕而まちなか青春館 【委員会】 ○協議事項 - 今年度の委員会活動について - その他
3年2月9日 4名	正副委員長会議	○協議事項 - 令和2年度事業報告について - 令和3年度事業計画(案)について - その他
3年2月18日 12名	委員会	○議題 - 令和2年度事業報告について - 令和3年度事業計画(案)について - その他 【観光・飲食部会との合同講演会】 テーマ「令和3年度東北デスティネーションキャンペーンについて」 講師 東日本旅客鉄道(株)福島駅 駅長 佐々木高敏 氏

(2) 事業

年月日	内 容	
2年3月13日 ～3年3月31日	【昭和の大作作曲家「古関裕而氏」を未来へつなぐ事業】 1 「古関裕而氏を広めよう！」事業（別掲） 2 「古関裕而の名曲を聴こう！」事業（別掲） 3 「朝の連続テレビ小説「エール」を盛り上げよう！」事業（別掲） 4 朝の連続テレビ小説「エール」のロケ支援 5 「古関裕而のまち・ふくしま」シンフォニー（福島市実施事業）への協力 6 福島市へ要望 ・「連続テレビ小説「エール」放映を契機とした、今後の古関裕而氏を活かしたまちづくりの推進について」 7 連続テレビ小説「エール」出演者へ福島のりんご送付 8 古関裕而氏の野球殿堂入り実現へ向けた活動の推進	総括的概要
2年3月30日 ～5月31日	【ふくしま花のまちフェスティバル2020】 ○場 所 JR 福島駅東口駅前広場他	施策体系
2年3月30日 ～5月31日	【2020春のランチで食うポン】 ○参加店数 59店 ○お食事数 18,750枚（前年度79,692枚） ○スタンプラリー 1,114通（前年度3,741通）	I 定款・規約等 II 組 織
2年6月1日 ～30日	【2020春のランチで食うポン（延長）】 ○参加店数 48店 ○お食事数 10,687枚 ○スタンプラリー 771通	III 議員選挙 役員・議員 の 選 任 IV 事務局
2年10月1日 ～11月30日	【2020秋のランチで食うポン】 ○参加店数 46店 ○お食事数 47,313枚（前年度57,809枚） ○スタンプラリー 3,262通（前年度3,050通）	V 庶 務
2年4月1日	【観光ドライブ MAP 作成】 ○作成部数 20,000部 ○設 置 先 福島・相馬・米沢の各市の観光案内所、道の駅（米沢、土湯、国見、りょうぜん、相馬）、各温泉地観光協会、東北自動車道（国見・安達太良SA、福島松川PA、吾妻PA）等	VI 会 議 VII 事業 I 活力ある 福島の創造 VII 事業 II 会員事業所 の 発 展 VII 事業 III 魅力ある 商工会議所 VII 事業 経営改善 普及事業他

5. 中心市街地活性化委員会

開催日等	開 催 内 容	
2年7月17日 10名	正副委員長会議 ○協議事項 (1) 今年度の委員会活動について (2) まちなかの賑わいイベントの状況について (3) その他 ○視 察 えきまえ満天バル	VIII 登 録 IX 事務所等
2年9月15日 18名	委 員 会 ○視 察 (1) 古関裕而まちなか青春館 (2) 連続テレビ小説「エール」展およびエールポスト ○説 明 テーマ 「中合福島店閉店後の中心市街地の動きについて」 説明者 当所常務理事 本田 政博 ○協議事項 (1) 今年度の委員会活動について (2) その他	X 団体加入 および連携 XI その他の 会議等への 参 加

開催日等	開催内容	
3年1月26日 10名	正副委員長会議	○議題 (1) 令和2年度事業報告について (2) 令和3年度事業計画（案）について (3) その他
3年2月9日 19名	委員会	○議題 (1) 令和2年度事業報告について (2) 令和3年度事業計画（案）について (3) その他 ○講演会 ① テーマ 「福島市の中心市街地活性化の取り組みについて」 説明者 福島市都市政策部 都市計画課 課長 高野 卓 氏 ② テーマ 「福島県立医科大学保健科学部について」 説明者 福島県立医科大学 新医療系学部設置準備室長 矢吹 省司 氏

6. 雇用育成委員会

開催日等	開催内容	
2年8月3日 4名	正副委員長会議	1. 今年度の委員会事業の進め方について 2. 新型コロナウイルスの影響についての意見交換
2年9月29日 10名	委員会	1. 今年度の委員会事業について 2. 新型コロナウイルスの影響についての意見交換 3. 講演 テーマ 「With コロナ時代の働き方改革について」 講師 ミライズ(株) 取締役／コンサルティング事業部長 高橋理里子 氏
2年12月10日 32名	高等学校就職担当教諭向け 企業説明会 および会員企業 人事担当者 と高等学校就職 担当教諭との 意見交換会	1. 説明会 NOK(株)、福島ヤクルト販売(株) 2. 説明 「最近の雇用情勢について」 講師 福島公共職業安定所 統括職業指導官 佐藤 明美 氏 3. 意見交換会 (1) 高等学校就職担当教諭からの現状ならびに要望発表 (2) 会員企業人事担当者からの現状ならびに要望発表 (3) 意見交換 
3年2月1日 4名	正副委員長会議	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和3年度事業計画（案）について

開催日等	開催内容	
3年2月12日 12名	委員会	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和3年度事業計画（案）について 3. 講演 1部【オンライン】 テーマ 「テレワーク導入による働き方改革と業務効率化について」 講師 NPO 法人石川県情報化支援協会理事長 横屋 俊一 氏 2部【直接】 テーマ 「「With コロナ」時代を生き抜くための“テレワーク”と“求められるビジネスの変革”」 講師 東日本電信電話㈱福島支店 第一ビジネスイノベーション部 担当課長 平川 義彦 氏

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅶ 事 業

1 各種事業

I

活力ある福島の創造 (地域経済の活性化)

I A

ふくしま将来 ビジョンの推進

1 「ふくしま将来ビジョンアクションプラン」の遂行

1 「ふくしま将来ビジョンアクションプラン」の遂行

平成28年に策定した「ふくしま将来ビジョン」の実現に向けた具体的なアクションプランを遂行した。

1. 実施方法

① 目 的

各委員会・部会および青年部・女性会等が行ったアクションプランの実施状況の確認を基に、プラン作成時から3年余が経過したことによる時代背景の変化等に伴う見直しを検討した。

② 実施内容

福島県立医科大学保健科学部の開設、コンベンション機能を含む福島駅前市街地再開発整備事業など中心市街地の活性化の動きが見られることに鑑み、課題1の福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化について、見直しを行った。

課題2～福島市の都市形成および居住環境整備、課題3～中小企業支援策の充実、課題4～観光振興および交流人口拡大策の推進については、今後検討していくものとした。

I B

政策提言・要望活動の推進

1 商工会議所ネットワークの活用による提言力の強化

1. 日商・東北六県連・福島県連との連携
 - (1) 日本商工会議所との連携
 - (2) 東北六県商工会議所連合会との連携
 - (3) 福島県商工会議所連合会との連携

2 政策提言・要望活動の実施

1. 復興・再生に関する要望
2. 新型コロナウイルス感染症対策に関する要望

1 商工会議所ネットワークの活用による提言力の強化

1. 日商・東北六県連・福島県連との連携

(1) 日本商工会議所との連携

日本商工会議所と福島県の復興や原子力損害賠償の現状に関する情報提供や意見交換を実施し、内容について日本商工会議所が実施する国等に対する要望活動に反映されるなど、日本商工会議所の事業活動との連携を行った。

(2) 東北六県商工会議所連合会との連携

- ① 副会長会議所として各種要望を共同で実施した。

(3) 福島県商工会議所連合会との連携

会長会議所として、各地経済振興のための情報収集に努めて提供した。また、様々な課題について連携し解決にあたった。

◇連携して進めた内容◇

- ① 商工業者のための放射性セシウム検査支援事業

2 政策提言・要望活動の実施

1. 復興・再生に関する要望

(1) 令和3年度福島県予算編成に対する要望

市内の諸団体と連携し、県内産業の復興支援や中小企業・小規模事業者の支援策の強化等について要望活動を実施した。

- ・要 望 先 福島県議会
(自由民主党、県民連合、公明党)
- ・要 望 者 福島県商工会議所連合会
福島県商工会連合会
福島県中小企業団体中央会
福島県信用保証協会
- ・要 望 日 令和2年9月4日

• 要望内容

- ① 原子力災害及び自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化について
- ② 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化について
- ③ 中小企業・小規模事業者の復興・事業継続を推進するための中小企業支援機関に対する予算措置の拡充について

(2) 福島県知事に対する要望

福島県商工会議所連合会と連携し、県内商工会議所としても各地域の課題等について、内堀県知事に対して要望を行った。

- 要望先 内堀雅雄 福島県知事
- 要望者 福島県商工会議所連合会・県内商工会議所
- 要望日 令和3年1月20日
- 要望内容

福島県商工会議所連合会

- ① 新型コロナウイルス感染対策の支援拡充と継続並びに令和元年台風19号等の被害からの復旧・復興に向けた支援
 - ② 原子力災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化
 - ③ 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化
 - ④ 中小企業支援機関に対する予算措置の拡充
- 福島商工会議所

- ① 霊山ICから福島市内を通り国道115号に至る新たなルートの整備促進について
- ② 福島駅東口地区市街地再開発事業への支援について



2. 新型コロナウイルス感染症対策に関する要望

感染拡大に伴う緊急支援策のお願いについて

- 要望先 木幡 浩 福島市長
 - 要望者 福島商工会議所
 - 要望日 令和2年4月21日
 - 要望内容
- ① 飲食店に対する家賃補助
 - ② 飲食店が行うテイクアウト・デリバリー等の導入費用の補助
 - ③ 感染者が店舗に立ち寄った際の消毒費用の補助
 - ④ 雇用調整助成金申請書類の作成費用の補助



福島市商工業の支援に対する緊急要望

- 要望先 木幡 浩 福島市長
 - 要望者 福島商工会議所
 - 要望日 令和2年11月18日
 - 要望内容
- ① 新型コロナウイルス感染症防止に向けた一層の取組みに向けて
 - ② 経営環境の変化に対応する強靱な中小企業づくりに向けて
 - ③ 福島駅を中心とする中心市街地の活性化に向けて
 - ④ 県都の発展に資する地域開発の推進に向けて
 - ⑤ 観光振興に向けて



I C

中心市街地の活性化

1 中心市街地活性化の推進

1. 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第2期基本計画の推進
2. 福島駅前通り活性化に向けた取り組み支援
3. 無料貸し傘サービス事業の実施
4. (株)福島まちづくりセンターとの連携
5. 福島駅エリア東西一体化推進協議会の設立

2 にぎわい創出の推進

1. 福島駅前元氣プロジェクトによるにぎわい創出イベントの実施
2. 商店街元氣イベントの実施
 - (1) ふくしまふれあい商店街朝市の開催
 - (2) 街なかバーベキューの開催
 - (3) まちなかイルミネーション事業への協力

3 街なか情報の発信

1. ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」の発信

1 中心市街地活性化の推進

1. 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第2期基本計画の推進

第2期福島市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成27年4月～令和3年3月）の定期フォローアップに関し、福島市に対する意見の提出を行うとともに、各種事業について、社会的、経済的および文化的活動拠点となるにふさわしい魅力ある市街地の形成の実現を図るため、地域住民および関係機関・団体の合意形成を図った。

(1) 協議会・運営会議の開催

開催年月日	内 容
令和2年 5月25日 (書面審議)	○第32回運営会議 議 事 (1) 令和元年度事業報告および収支決算について (2) 令和2年度事業計画(案)および収支予算(案)について
令和2年 6月12日 (書面審議)	○第23回協議会 報 告 (1) 第2期福島市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップ報告について 議 事 (1) 令和元年度事業報告について (2) 令和2年度事業計画(案)について
令和2年 8月5日	○第33回運営会議 議 事 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の策定について
令和2年 9月17日	○第34回運営会議 議 事 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画（素案）について
令和2年 9月24日	○第24回協議会 議 事 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画（素案）について
令和2年 11月17日	○第35回運営会議 議 事 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画（素案）のパブリックコメント結果について (2) 福島市中心市街地活性化協議会による意見書について (3) 計画認定までのスケジュールについて

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

開催年月日	内 容
令和2年 11月27日	○第25回協議会 報 告 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画（素案）のパブリックコメント結果について 議 事 (1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画（案）について (2) 福島市中心市街地活性化協議会による意見書について

2. 福島駅前通り活性化に向けた取り組み支援

福島駅前通りのリニューアル完成を受けて周辺商店街の方を主メンバーに「福島駅前通り活性化委員会」を組織した。

当協議会では、福島駅前通りをはじめとした賑わいの創出や今後の再開発事業に伴う工事期間中のまちのあり方等について同委員会へ情報を提供するなど取り組みを支援した。

3. 無料貸し傘サービス事業の実施

福島駅前通りリニューアルによるアーケード撤去に伴う歩行者の利便性の確保と、大原総合病院移転開院による福島駅から大原総合病院の区間（シンボルストリート）の回遊性の向上を図るため、無料貸し傘サービス事業「ももりん貸し傘サービス事業」を平成30年1月から実施している。

- ・設 置 場：6ヶ所〔1. 福島駅東口観光案内所
2. AXCビル（1階ししどやおや）
3. ウィズもとまち 4. チェンバ
おおまち 5. 大原総合病院 6.
こむこむ〕
- ・設置本数：300本

4. (株)福島まちづくりセンターとの連携

- (1) 取締役会への出席
- (2) 株主総会への出席
- (3) 中心市街地の空き地・空き店舗対策事業への協力

5. 福島駅エリア東西一体化推進協議会の設立

福島市のよりよい都市形成と福島駅周辺の交通体系の円滑化を図るため、福島駅の立体交差化や東西通路の再整備などの施策による周辺関係整備の早期実現に向けて、市街地分断の解消等による東西交通一体化の利便性を図って地域経済の発展並びに中心市街地の活性化を目指し、また、吾妻山火山防災マップによれば、大規模な噴火時に発生した泥流は、2時間後には市内に到着すると予測されていることを踏まえ、福島駅周辺関係整備は火山噴火の緊急対応としても有効であると考えている。

さらに、山形県を中心に山形新幹線のフル規格化や秋田までの奥羽新幹線構想もあることから、国土強靱化策の下、その起点となる福島駅の利便性の向上が今後ますます求められることが予想されることから、福島駅エリアの東西一体化を推進することを目的として、令和3年3月26日に協議会を設立した。

事業計画は下記の通り

1. 国などの関係機関に対する要望・陳情活動
2. 啓発宣伝活動
3. 事業の推進に必要な調査・研究活動
4. その他目的達成に必要な事項

2 にぎわい創出の推進

1. 福島駅前元気プロジェクトによるにぎわい創出イベントの実施

開催年月日	内 容
	「Fukushimaハルフェスinえきまえ2020」 ※新型コロナウイルスの影響により中止
令和2年 8月9日 ～ 8月31日	「Fukushimaナツフェスinえきまえ2020」実施 (1) イベント事業 ・開催日時 8月9日(日) 10:00～16:00 ・会 場 東口駅前広場、福島駅前通り、中合ツイン広場 ・内 容 中合ありがとう企画(中合への感謝企画として、かつての屋上遊園地を再現)オープニングセレモニー 果物・野菜の直売、手づくり雑貨類の販売、飲食ブース、各種ステージイベント スタンプラリーの実施 等  ・来場者数 13,000名
令和2年 10月18日 ～ 11月15日	「Fukushimaアキフェスinえきまえ2020」 (1) イベント事業 ・開催日時 10月18日(日) 10:00～16:00 ・会 場 東口駅前広場、福島駅前通り、中合ツイン広場 ・内 容 古関裕而ミュージックダンスステージ(古関氏作曲の楽曲を使用し、市民参加型のダンスイベントを開催、全18チーム参加)オープニングセレモニー 果物・野菜の直売、手づくり雑貨類の販売、各種ステージイベント、2020東京オリパラPRブース(野球ゲームコーナー)、NHK福島放送局による「エール」PRブースの設置 スタンプラリーの実施 等

開催年月日	内 容
	・その他 中合二番館跡ビル壁面に協賛企業PR看板を設置 福島商工会議所青年部主催の「ふくしまユーロジャックフェス2020」が街なか広場で同日開催。「エール」に出演した佐久本宝氏が同イベントPRも兼ねてアキフェスにも参加。  ・来場者数 15,000名
令和2年 12月1日 ～ 令和3年 1月11日	「Fukushimaフユフェスinえきまえ2020」開催 (1)豪華プレゼントクイズ事業 ・実施期間 12月1日(火)～1月11日(月・祝) ・応募総数 856件 (2)イベント事業 ・開催日時 12月4日(金) 16:00～20:00 ・会 場 東口駅前広場 ・内 容 駅前イルミネーション点灯式(リニューアルしたイルミネーションを点灯・光のしずくイルミネーションも同時に点灯) 先着順でメッセージキャンドル点灯、ホットワインの振舞いを実施 ゴスペルグループ等によるクリスマスソングのライブを実施 ・来場者数 3,300名 ・その他 中合二番館跡ビル壁面に協賛企業PR看板を設置

※このほか、事務局会議を8回開催

※新型コロナウイルス感染症への対応

- ・スタッフのイベント前体温測定、マスク着用
- ・各控室、バックヤード、テント内のこまめな消毒
- ・各ブースレイアウトの変更、数の調整
(人込みの緩和、ソーシャルディスタンスの確保)
- ・厚生省労働局新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をイベントチラシ・ポスターに記載。登録を呼びかけた。
- ・備品に関しては都度消毒

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

2. 商店街元気イベントの実施

(1) ふくしまふれあい商店街朝市の開催

まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を目的に街なか広場で計7回、出張朝市で計4回実施した。出張朝市は平成25年度より買い物弱者対応策として福島市との共同開催となっている。なお、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により中止となった回もあったが、感染防止対策を十分にとり開催した。

朝市開場前恒例のラジオ体操とイベントの目玉として生卵1パック10円販売を実施した。

回	開催日時	場所	出店数	来場者数
1	4/19(日) 7:30~8:30	街なか広場	7店	約40人
2	5/10(日) 10:00~11:00	出張	—	※中止
3	5/17(日) 7:30~8:30	街なか広場	—	※中止
4	6/14(日) 10:00~11:00	出張	—	※中止
5	6/21(日) 7:30~8:30	街なか広場	5店	約20人
6	7/12(日) 9:00~10:00	出張	4店	約45人
7	7/19(日) 7:30~8:30	街なか広場	5店	約60人
8	8/9(日) 9:00~10:00	出張	6店	約40人
9	8/16(日) 7:30~8:30	街なか広場	5店	約40人
10	9/13(日) 9:00~10:00	出張	4店	約40人
11	9/20(日) 7:30~8:30	街なか広場	5店	約50人
12	10/18(日) 7:30~8:30	街なか広場	5店	約60人
13	11/3(祝) 7:30~8:30	街なか広場	5店	約70人
14	11/8(日) 10:00~11:00	出張	4店	約40人

(2) 福島うまいもの市～食べてエール～の開催

福島市内の美味しいものが勢ぞろい！福島市が誇るソウルフード「円盤餃子の振る舞い」等を11月3日(祝)の商店街の日に開催した。

- 「福島城下うまいもの市」のあぶくま鍋や「ステージイベント」も同時開催した。



(3) まちなかイルミネーション事業への協力

光のしずく事業（福島市イルミネーション）実行委員会への支援・協力を行い、冬のまちなかにあかりを灯した。

- 点灯（令和2年12月4日）

令和2年度は、駅前元気プロジェクトによる「フユフェス・東口駅前広場イルミネーション点灯式」と同タイミングで点灯。

※点灯期間

令和2年12月4日(金)～令和3年1月31日(日)
新型コロナウイルスの影響により一部短縮有り

3 街なか情報の発信

1. ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」の発信

市内中心部で開催されるイベントを主体に各種イベント情報を収集し、まちなかの賑わい創出や中心市街地の活性化に寄与することを目的として、インターネット（公式ホームページ・スマートフォンサイト）において一括した情報発信を行った。

I D

広域連携の推進

1 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会による地域連携の促進

2 福島西道路の南伸および北伸促進

1 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会による地域連携の促進

3市の相互地域開発並びに経済発展を図ることを目的に3会議所合同の懇談会を開催した。

(1) 会議の開催

- ・専務理事会議
令和2年7月14日(火) (福島市)
- ・地域連携事業ワーキンググループ
令和2年4月9日(木) (福島市)
令和3年1月15日(金) (福島市)

(2) 福島・相馬・米沢地域開発懇談会

昭和57年より福島・相馬・米沢3商工会議所が年1回持ち回りで開催している同懇談会は、令和3年4月24日の東北中央自動車道(相馬～福島～米沢間)全線開通を祝し、沿線地域も含めて今後の連携をさらに深めることを目的に祝う会として、令和3年度(7月上旬予定)に開催する。

(3) 要望活動の実施

「東北中央自動車道 相馬－福島－米沢間の建設促進について」

① 令和2年9月9日(水)

要望先：国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所

要望者：福島商工会議所 会頭 渡邊 博美
専務理事 石井 浩

② 令和2年9月11日(金)

要望先：国土交通省東北地方整備局

要望者：福島商工会議所 会頭 渡邊 博美
相馬商工会議所 会頭 草野 清貴
米沢商工会議所 会頭 増村 力



I D

広域連携の推進

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

※例年実施している国土交通省・財務省・地元選出国會議員への要望活動については、新型コロナウイルス感染症拡大のため実施せず、郵送での要望書提出とした。

(4) 福島・相馬・米沢広域観光PRの実施

3市のさらなる連携強化と交流人口の促進を目的に3商工会議所の会報誌で相互にPRを行った。

2 福島西道路の南伸および北伸促進

一般国道13号福島西道路は、Ⅰ期事業区間7.7kmが全線4車線で供用されており、市民の通勤や買い物などの日常生活を支えるとともに、福島市の基幹産業である農業および工業の基盤となる、極めて重要な道路である。

また、福島西道路Ⅱ期事業（南伸）は、平成24年に新規事業に採択されて以降、用地進捗率は8割に達し、平成29年から始まった改良工事も順調に進み、ついには令和8年度までとの開通見通しが示されたところである。

Ⅱ期事業は慢性的な渋滞の緩和、交通事故の減少、災害時のリダンダンシーの確保、県内唯一の高度救急救命センターである福島県立医科大学付属病院への搬送所要時間の短縮による救命率向上など、安全・安心な市民生活の実現に大きく寄与するものである。さらに、一般国道13号が関東・東北の大動脈たる一般国道4号と直結することで生じる物流効率の向上は、Ⅰ期事業が地域にもたらす恩恵を深化させ、福島都市圏のさらなる発展を強く引き寄せるものである。

これらを踏まえ、当所会頭が福島西部環状道路建設促進期成同盟会会長となり、事業が継続的かつ着実に進むよう官民挙げての要望を、国や国会議員等へ働きかけた。

I E

観光振興と 交流人口拡大の推進

1 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

1. 「ふくしま花のまちフェスティバル2020」の実施
2. 花ももの木プランター・切り花設置事業の実施

2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

1. 観光集客拠点と連携した観光情報の発信
2. WEB版 ふくしまフォトライブラリーの充実と情報発信

3 昭和の作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ各種事業の実施

1. 「古関裕而氏を広めよう！」事業
2. 「古関裕而の名曲を聴こう！」事業
3. 「朝の連続テレビ小説「エール」を盛り上げよう！」事業

4 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

1. 福島ユナイテッドFCへの支援・協力
2. 第23回あづま荒川クロスカントリー大会への運営支援〈中止〉
3. 第22回ふくしま吾妻荒川・花見山ソーデーマーチへの支援〈中止〉
4. 2020ふくしま花ウォークへの支援〈中止〉
5. 第18回あづまの郷ウォーク大会への支援〈実施〉

5 国際交流の推進

1. ふくしま台湾友好協会による交流事業の実施
2. 台湾経済団体との交流促進事業の実施(風評被害・風化対策事業)

1 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

1. 「ふくしま花のまちフェスティバル2020」の実施

当市随一の観光拠点である花見山と福島駅前広場に設置する花のモニュメントおよび花時計設置事業や春のランチで食うポン事業を通して、観光客のおもてなしをすることを目的に実施した。

・実施時期

令和2年3月30日(月)～6月30日(火)

※但し、花時計は年間事業として実施

・場 所

メイン会場を「駅前広場」とし、古関裕而ストリート(駅前通り・レンガ通り)をはじめ、周辺の商店街を対象とした。



2. 花ももの木プランター・切り花設置事業の実施

プランターに植栽した「花ももの木」と「切り花」を4月の花見山観光シーズンに合わせて開催した「ふくしま花のまちフェスティバル2020」期間中、古関裕而ストリート(駅前通り・レンガ通り)、県庁通り、および福島駅東口・西口広場に設置した。

・設置期間

令和2年3月30日(月)～4月30日(木)



I E

観光振興と
交流人口拡大の
推進

総括的概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

1. 観光集客拠点と連携した観光情報の発信

(1) 「金わらじ」「紅白わらじ」の展示

平成29年度に創立100周年を記念し製作した「金わらじ」(3m)をコラッセふくしま1階アトリウムに、「紅白わらじ」(3m)を市本庁舎1階へ昨年に引き続き常設展示した。

(2) 「健脚わらじ」の展示

「福島わらじまつり」PRのため、JR福島駅新幹線乗換口に、まつりで使用した長さ5mの健脚わらじを展示した。

2. WEB版 ふくしまフォトライブラリーの充実と情報発信

アマチュアカメラマンによる福島市の優れた風景写真を撮影していただき、その作品をWeb上に展示する事業を実施した。当事業の実施により、「いつでも・だれでも・どこからでも」福島の四季折々の風景写真を閲覧・利用できるシステムを整備し、写真により福島市の自然の素晴らしさを全国に伝えた。

(1) 作品の希望者への貸借

年度	作 品 貸 出		サイトアクセス 件数
	申込団体数	増 減	
R 2	4	3	1,006
R 1	1	▲ 6	1,029
H30	7	0	1,012



3 昭和の大作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ各種事業の実施

1. 「古関裕而氏を広めよう！」事業

(1) 「古関裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業

① 「古関裕而まちなか青春館」事業

- 開催期間 令和2年6月20日(土)～11月30日(月)
- 設置場所 NTT福島大町ビル1階
- 内 容 古関裕而氏に関する貴重な資料や当時の福島の町並み、時代背景などを伝える資料、作曲された校歌など140点を展示し、常駐ボランティアが解説した。
- 来館者数 22,820人



※連続テレビ小説「エール」のドラマセットや衣装、小道具などを展示した『エール展』が6月19日(金)から11月29日(日)まで、主人公のモデルとなった古関裕而生誕の地である福島市大町の「チェンバおおまち」で開催した。

② 「まちなかギャラリー」事業

- 実施期間 5月中旬～令和3年3月31日(水)
- 設置場所 県庁通り・レンガ通り・並木通り・文化通り・駅前通り

- ・内 容 古関裕而氏に関する写真を計63店舗の店頭に掲出した。

③ 「まちなかギャラリーめぐりスタンプラリー」事業

- ・実施期間 令和2年9月14日(月)～11月30日(月)
- ・内 容 古関裕而氏に関する写真を掲示した4商店街(36店舗)をめぐるスタンプラリーを実施し、338件の応募があった。



④ 「エールポスト」事業

- ・設置日 令和2年9月14日(月)
- ・設置場所 チェンバおおまち北側ポスト
- ・内 容 生家近くのポストに愛称を付け、令和3年8月末まで投函の郵便物には特別消印が押印される。

(2) 福島駅(周辺)花でのおもてなし事業

- ・実施期間 令和2年3月26日(木)～4月30日(木)
- ・設置場所 福島駅前通り・レンガ通り・県庁通り
- ・内 容 花ももの木プランター(約80鉢)・花ももの切り花(40鉢)設置に合わせ、古関裕而のまちふくしまをPRする小型看板をプランターに設置した。

(3) 福島駅東口ももりんビジョンでの「古関裕而」のふるさと歓迎PR

- ・実施期間 令和2年3月27日(金)～9月30日(水)

(4) 古関裕而氏を紹介するパンフレット「昭和の名曲 時代を越えて」の増刷・配布

- ・配布期間 令和2年3月30日(月)～11月30日(月)
- ・作成部数 4,000部

(5) 古関裕而のゆかりの地をめぐるマップのリニューアル・配布

- ・配布期間 令和2年3月30日(月)～11月30日(月)
- ・作成部数 25,000部



(6) 古関裕而氏をテーマにしたオリジナルカレンダー作成

福島商工会議所オリジナルカレンダー2021は連続テレビ小説「エール」のロケ地を巡り、福島県内の風景や建造物を紹介する7枚で構成し、会員事業所へ配布および一般販売を行った。

- ・テ ー マ 「未来に伝えたいふるさとの宝物～ロケ地を訪ねて福島にエールを～」
- ・配布期間 令和2年11月～12月
- ・作成部数 当初4,300部+追加2,500部

2. 「古関裕而の名曲を聴こう！」事業

(1) 「古関裕而ミュージックダンスステージ」

- ・開催日 令和2年10月18日(日)
- ・場 所 福島駅前通り
- ・内 容 古関裕而氏作曲「栄冠は君に輝く」等使用したダンスイベントを開催した。

(2) 「ふくしまユージックフェス2020」(青年部事業)への支援・協力

- ・開催日 令和2年10月18日(日)
- ・場 所 街なか広場

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

(3) 古関裕而氏を紹介するラジオ番組の放送

- 放送日時 令和3年1月25日(月) 19時～20時
- 放送局 ラジオ福島
- 内容 古関裕而氏の名曲に加え、渡邊会頭や青年部、また「エール」風俗考証担当の日本大学商学部准教授の刑部芳則氏へのインタビューを放送した。さらに、特別企画として「古関裕而と野球」と題し、元巨人の中畑清氏と元阪神の川藤幸三氏へのインタビューを放送した。

3. 「朝の連続テレビ小説「エール」を盛り上げよう！」事業

(1) 東西自由通路の広報スペースでの「エール」広報PR

- 設置期間 令和2年3月13日(金)～11月28日(土)



(2) 「エール」公式ポスターの設置

- 設置期間 令和2年3月下旬～11月28日(土)

(3) 「古関裕而応援(エール)グルメ」事業の実施

《第一弾》

- 実施期間 令和2年3月30日(月)～6月30日(火)
- 参加店 10店舗

《第二弾》

- 実施期間 令和2年7月1日(水)～9月30日(水)
- 参加店 8店舗

《延長》

- 実施期間 令和2年10月1日(木)～11月30日(月)
- 参加店 8店舗

(4) 「古関裕而応援(エール)寿し」事業の実施

- 実施期間 令和2年3月30日(月)～9月30日(水)

- 参加店 11店舗

《延長》

- 実施期間 令和2年10月1日(木)～11月30日(月)

- 参加店 11店舗

(5) パブリックビューイング(青年部事業)

① 「エール」放送開始

- 開催日 令和2年3月30日(月)
- 場所 駅東口もりんビジョン

② 「エール」放送再開

- 開催日 令和2年9月14日(月)
- 場所 駅西口ビジョン

(6) 「エール」のぼり旗設置

- 設置期間 令和2年4月15日(水)～11月30日(月)

- 設置場所 県庁通りおよび駅前通り(南北線)、吾妻通り他

- 本数 約100本



(7) ふくしま応援(エール)お持ち帰りごはん支援事業の実施

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛要請等により多大な影響を受けている飲食店を支援する取り組みと、販売促進のチラシの作成支援を当所独自事業として会員事業所を対象に実施した。

① お持ち帰りごはんチラシ作成補助事業

- ※販売促進のためのチラシ作成費用に対し福島商工会議所が単独で補助事業を実施した。

- 補助内容 作成費の5分の4以内、上限額6万円

- 支援実績 10事業所
- ② お持ち帰りごはんチラシ作成代行事業
 - ※販売促進のためのチラシを福島商工会議所が無料にて代行して作成した。
 - 内 容 A4／片面4色刷、300枚以内
 - 申 込 29事業所

(8) 福島県飲食店応援前払利用券「がんばる地元の飲食店応援券」事業の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内飲食店の利用が大幅に落ち込んでいる状況を踏まえ、福島県がプレミアム付き前払利用券を発行し当所から参加店へ配布。利用者が応援したい飲食店の前払利用券を購入することにより、当該飲食店における当面の運転資金確保につなげることを目的として実施した。

- プレミアム 法人10% 個人20%
- 参 加 店 131事業者184店舗（市内の飲食店、仕出し・弁当店、ホテル・旅館等）
- 配布枚数 355,800枚
 - 個人店用 1,200円券 186,200枚
 - 法人店用 1,100円券 169,600枚
- 販売期日 令和3年6月30日(水) まで

4 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

1. 福島ユナイテッドFCへの支援・協力

- (1) オフィシャルクラブパートナー契約による支援
 - 福島ユナイテッドFCとオフィシャルクラブパートナー契約をし、福島ユナイテッドFCの主催ゲームにおいてフィールド看板を掲出した。
- (2) サポーターズクラブへの加入促進
 - 加入促進チラシの全会員事業所への配布
- (3) クラブ活動に関する広報支援
 - 所報「ふくしま」並びにホームページでの試合情報等の広報
- (4) J2、J1昇格に向けた環境整備への支援
 - 「福島市にサッカースタジアムをつくる会」活動
 - ① スタジアム構想ワーキンググループの開催
 - 第1回ワーキンググループ
 - 日 時 令和3年1月22日(金)
 - 参加者 15名
 - 第2回ワーキンググループ
 - 日 時 令和3年3月24日(水)
 - 参加者 16名

2. 第23回あづま荒川クロスカントリー大会への運営支援

3. 第22回ふくしま吾妻荒川・花見山ツデーマーチへの支援

4. 2020ふくしま花ウォークへの支援

上記3事業は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止された。

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

5. 第18回あづまの郷ウォーク大会への支援

• 支援内容

- ① 運営委員会への出席
- ② 会員事業所への広報の協力
- ③ 大会への協賛の実施
- ④ イベント実施日 令和2年11月3日(火・祝)
- ⑤ 参加人数 988名

5 国際交流の推進

1. ふくしま台湾友好協会による交流事業の実施

(1) 役員との懇談会の開催

- ・開催日 令和2年8月26日(水)
- ・会場 ザ・セレクトン福島
- ・出席者 13名

(2) 情報提供

- ・台湾観光（日本語版）の送付

台湾の最新情報と日本との交流事業を伝える情報誌『台湾観光（日本語版）』を台湾観光協会東京事務所の協力を得て希望会員に送付した。
※令和2年より情報誌は3ヶ月に1回の発行となっている。

(3) 台湾109年双十国慶節レセプション

新型コロナウイルス感染防止のため中止

2. 台湾経済団体との交流促進事業の実施（風評被害・風化対策事業）

震災時最大規模の支援をいただいた親日国である台湾との交流をより深めるため、併せて風評被害の払拭および風化の防止のために台湾経済団体へ福島市のくだもの（桃・りんご）を贈呈した。

引き続き、本県の経済・観光振興に向けた知見を深めるとともに、経済・観光視察等も併せて実施していきたいと書面にて意見交換を実施した。

I F

地域の祭り・ 伝統文化の興隆

- 1 福島わらじまつりの実施
- 2 ふくしま花火大会の実施協力
- 3 ふくしま山車祭りの実施協力

1 福島わらじまつりの実施

- (1) 第51回福島わらじまつり（中止）
- (2) 福島わらじまつり疫病退散祈願神事

- ・開催日 令和2年8月8日（土）
- ・会場 福島駅前通り
- ・行事内容

福島駅前通りに大わらじをクレーンで掲出し、羽黒神社富田宮司による疫病退散祈願神事を執り行った。

併せて、駅前通りに大型ビジョンカーを配置し、前年の第50回福島わらじまつりの様子や実行委員会からのメッセージを放映した。



2 ふくしま花火大会の実 施協力

第42回ふくしま花火大会（中止）

3 ふくしま山車祭りの実 施協力

第13回ふくしま山車祭り（中止）

I F

地域の祭り・
伝統文化の興隆

総括的概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

I G

消費拡大の推進

1 飲食店パンフレット等活用による消費拡大の推進

1. 優待食事券事業「2020ランチで食うポン」の作成・配布

2 ふくしま市民生活エールクーポンを活用した消費拡大の推進

3 福島県飲食店応援前払利用券「がらんぼる地元の飲食店応援券」事業の実施

1 飲食店パンフレット等活用による消費拡大の推進

1. 優待食事券事業「2020ランチで食うポン」の作成・配布

震災からの復興と飲食業界における停滞ムードの払拭ならびに飲食店の売上増進を目的として、参加店で使用できる優待食事券事業を実施した。

参加飲食店を記載したクーポン付きパンフレットを作成し、通常1,000円超のメニューを食うポンチケット持参のお客様に1,000円（税込）で提供していただく取り組みである。福島商工会議所のホームページや特設のスマートフォンサイトを立ち上げ、食うポンチケット画面を見せるだけでも使用できる仕組みとした。

(1) 実施内容

① 春のランチで食うポン

・期 間

令和2年3月30日～6月30日

※連続テレビ小説「エール」の放送開始日に合わせて事業を開始するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により、期間中の利用客が激減したため1ヶ月事業を延長し実施した。



- 実績 クーポン券 29,437枚
(期間延長も含む)
- 発行部数 パンフレット…6万部
添付クーポン券…12万枚
(2枚/1部×6万部)
- 参加店舗 59店舗(延長 48店舗)
福島商工会議所管内：56店舗
飯坂町商工会管内：1店舗
松川町商工会管内：2店舗

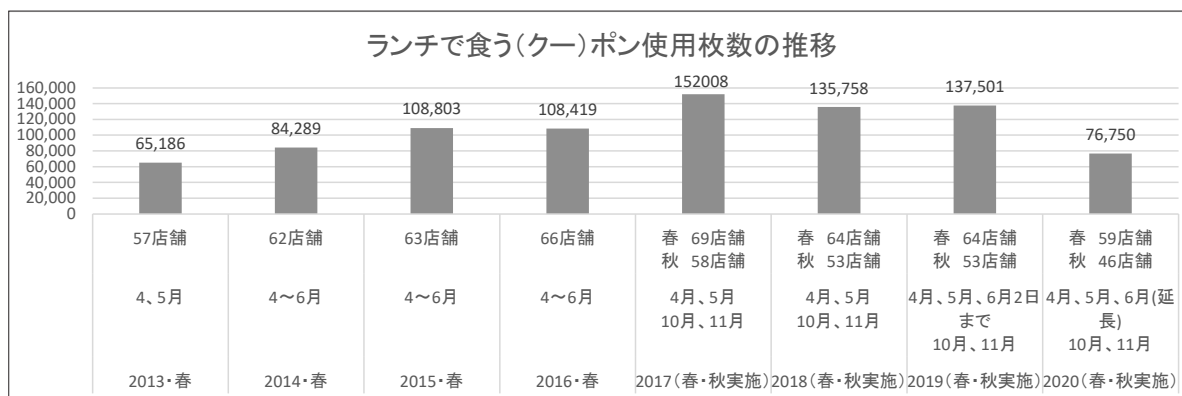
② 秋のランチで食うポン

- 期間
令和2年10月1日(木)～11月30日(月)
- 実績 クーポン券 47,313枚
- 発行部数 パンフレット…6万部
添付クーポン券…18万枚
(3枚/1部×6万部)

- 参加店舗 46店舗
福島商工会議所管内：44店舗
松川町商工会管内：2店舗



(2) クーポン券使用枚数の推移



総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

2 ふくしま市民生活エール クーポンを活用した中小 規模店舗支援事業の実施

福島市が発行した「ふくしま市民生活エールクーポン」の取扱店として加盟している市内中小規模店の店舗のうち、エールクーポンの利用を促進するための取組みを行っている地域の店舗を紹介し、中小規模店舗におけるさらなる活用を図ることを目的として実施した。

- ・事業名 「ふくしま市民生活エールクーポン応援店」PR事業
- ・登録店舗 106店舗
福島商工会議所管内：79店舗
飯坂町商工会管内：16店舗
松川町商工会管内：7店舗
飯野町商工会管内：4店舗
- ・内容 上記店舗の店名やお得な特典情報を掲載したチラシを作成し、福島民報・福島民友新聞（福島市内版）へ折込した。
- ・チラシ折込日
第1弾 令和2年9月18日（金）
第2弾 令和2年10月9日（金）



3 福島県飲食店応援前払 利用券「がんばる^{おらほ}地元の^{エール} 飲食店応援券」事業の 実施

新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内飲食店の利用が大幅に落ち込んでいる状況を踏まえ、福島県がプレミアム付き前払利用券を発行し当所から参加店へ配布。利用者が応援したい飲食店の前払利用券を購入することにより、当該飲食店における当面の運転資金確保につなげることを目的として実施した。

- ・プレミアム 法人10% 個人20%
- ・参加店 131事業者184店舗(市内の飲食店、仕出し・弁当店、ホテル・旅館等)
- ・配布枚数 355,800枚
個人店用 1,200円券 186,200枚
法人店用 1,100円券 169,600枚
- ・販売期日 令和3年6月30日(水)まで



Ⅱ 会員事業所の発展 (企業の安定・成長)

Ⅱ A 小規模事業者の伴走型支援の推進

1. 小規模支援法に基づく経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化
「ランチdeクーポン」参加店レベルアップ事業、ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業
2. 小規模事業者持続化補助金等による伴走型個社支援の推進
3. 福島県小規模いきいき支援事業に対する支援協力
4. 連携による中小企業振興の推進

Ⅱ B 相談支援体制の充実・強化

1. さまざまな経済環境に対応した経営相談の充実
 - (1) 新型コロナウイルスに対する企業支援の強化
各種情報提供、特別相談窓口、個別相談会、持続化給付金申請サポート事業への協力等
 - (2) 令和元年台風第19号による災害対策関連事業
グループ補助金等を通じた復興支援、BCP策定支援
2. 金融に関すること
 - (1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利用促進
 - (2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進
 - (3) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進
 - (4) 金融相談会の開催
3. 税務申告業務の充実
 - (1) 経営指導員による消費税申告書作成の取組み強化
 - (2) 記帳の電子化・クラウド化に関する支援
 - (3) 消費税申告に関する支援
4. 消費税に関すること
5. 労務に関すること
6. 原子力損害賠償に関すること
7. 専門家による指導体制の充実
 - (1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
 - (2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用
 - (3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
 - (4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施
8. 事業継続計画（BCP）に関する支援

Ⅱ C 経営革新の推進

1. 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化
 - (1) 経営革新計画策定および認定に関する支援
 - (2) 経営革新に関する個別相談会の開催

Ⅱ E 事業承継・事業再生の支援

1. 後継者対策、事業承継に関する支援の充実
 - (1) 事業承継と後継者育成支援事業の実施
 - (2) 事業承継に関する個別相談の実施
 - (3) 福島県事業引継ぎ支援センターと連携した無料相談会の実施
2. 事業再生に関すること
 - (1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
 - (2) 事業転換に関する支援

Ⅱ F 創業の推進

1. 福島創業スクールの実施
2. 創業に関する個別相談の充実
 - (1) ビジネスプラン作成の支援
 - (2) 開業資金の調達に関する支援

上記内容については、「[7 経営改善普及事業](#)」（P 95～P 108）で報告

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅱ D ビジネス拡大の 推進

1 ふくしま^{エール}応援お持ち帰りごはん^{エール}チラシ作成補助事業

2 医産連携推進事業の充実

3 優良会員事業所表彰制度による 会員企業の顕彰

1 ふくしま^{エール}応援お持ち帰りごはん^{エール}チラシ作成補助事業

1. 目 的

新型コロナウイルスによる影響を受けている飲食店を応援するため、新たに弁当の持ち帰りや宅配サービス等に取り組む会員事業所がチラシを作成する際の費用について補助を行った。

2. 募集対象者

福島商工会議所の会員事業所（飲食店）

3. 募集期間

令和2年4月23日（木）～7月3日（金）

4. 補助率

補助率：5分の4以内（但し、補助上限額は6万円）

5. 採択件数

10件（採択金額合計506,208円）

▲本事業の利用を呼び掛けるチラシ

2 医産連携推進事業の充実

1. ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進並びに福島県立医科大学と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援

市内の製造業者等が医療福祉分野との連携により技術開発を図り、新たな産業創出を推進していくことを目的とした福島市医産連携推進事業（名称：福島市医産連携研究会）については、平成25年度より福島市の委託事業として取り組んできたが、平成29年度をもって委託事業が終了となった。

今後も継続した取り組みが必要であることから、平成30年度以降は会の名称を「ふくしま医療関連ビジネス研究会」に変更し、福島商工会議所事業として事業運営を行っている。令和2年度の活動については、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けたが、関係機関のご支援をいただきながら、下記の事業を実施した。

1. 組 織

- ・会員数 17社
- ・役 員
 - 会 長 渋谷 修一（有福島熔材工業所）
 - 副会長 林 克重（タカラ印刷㈱）
 - 幹 事 細井 建紀（㈱アイバック）
 - 〃 渡辺 隆（東北精密工業㈱）
 - 〃 菅野 寿夫（アサヒ電子㈱）
 - 〃 中野泰三郎（㈱NAKANO）
 - 監 事 五十畑昌之（東北自興㈱）

- ・支援アドバイザー（団体名で記載）
 - 国立大学法人福島大学 うつくしまふくしま未来支援センター
 - 公立大学法人福島県立医科大学
 - ふくしま新産業創造推進協議会
 - 福島県知財総合支援窓口

2. 会議関係

会の運営・活動に関する検討や会員企業の医産連携に向けた取り組み報告等について役員会および研

究会を開催

- ・6月10日 第1回役員会
- ・6月15日 書面審議
- ・8月4日 第2回役員会
- ・10月8日 第1回研究会
- ・11月25日 第2回研究会

3. 講演会

医産連携に向けた講演・意見交換等を実施した。

- ・10月8日
 - テーマ 新型コロナウイルス感染症対策用製品の病院ニーズ
 - 講 師 福島県立医科大学 医療研究推進センター 教授 小早川雅男 氏
- ・11月25日
 - テーマ 販売業者から見た医産連携
 - 講 師 サンセイ医機㈱ 代表取締役社長 権瓶 健市 氏

4. 出展関係

研究会および会員企業の活動をPRするため各種展示会に出展した。

- ・メディカルクリエーションふくしま2020（WEB）
 - 開催日 10月16日・17日
 - 会 場 特設サイト内
 - 内 容 研究会として参加会員企業に対し、出展料の補助を行った。
 - 【出展企業 5社】
 - アサヒ電子㈱、㈱永沢工機、
 - ㈱NAKANO、タカラ印刷㈱、
 - 有福島熔材工業所

5. 広報関係

研究会および会員企業をPRするため、研究会のHPを作成するなど広報活動を実施した。

- ・U R L 福島商工会議所のホームページ内に開設
 - <http://www.fukushima-cci.or.jp/?p=15415>
- ・作成目的 研究会の活動並びに会員企業の情報をweb上でPRするため

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

- ・周 知 メディカルクリエーションふくしま
2020（web）等において周知を行った。

6. 情報提供

会員企業に対して医産連携に向けた情報提供活動を随時実施した。

3 優良会員事業所表彰制度 による会員企業の顕彰

令和2年度は新たな優良会員事業所表彰制度について検討を行った。

II G 人材育成事業の 推進

1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

1. 製造企業の技術力向上に関するセミナーの実施
2. 生産性向上支援訓練セミナーの実施
3. パソコン教室
4. WEBセミナーの配信
5. 人材確保支援事業の実施

2 各種検定試験による商工技能の向上

1. 簿記検定試験
2. リテールマーケティング（販売士）検定試験
3. 珠算能力検定試験
4. PC検定試験
5. 福祉住環境コーディネーター検定試験
6. ビジネス実務法務検定試験
7. カラーコーディネーター検定試験
8. 環境社会検定試験（ECO検定）
9. ビジネスマネジャー検定試験

1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

1. 製造企業の技術力向上に関するセミナーの実施

(1) 2020人材育成成熟「県北技塾」

- ・開催日 令和2年10月6日(火)～
10月29日(木)
- ・開催場所 コラッセふくしま
- ・開催日数 8回(8日間)
- ・受講者数 153名(令和元年実績:160名/8回)
- ・講座内容 次の通り

「鉄鋼材料学」～基礎と応用の境界を学ぶ～

日本大学名誉教授 藤原 雅美 氏

「腐食・防食の基礎」

福島県ハイテクプラザ技術開発部 工業材料科長
杉内 重夫 氏

「破壊の力学」

福島県ハイテクプラザ技術開発部 工業材料科
主任研究員 工藤 弘行 氏

「切削加工の基礎」

福島県ハイテクプラザ技術開発部 プロジェクト研究科
主任研究員 小野 裕道 氏

「塗装技術の基礎」

福島県ハイテクプラザ技術開発部 工業材料科
主任研究員 矢内 誠人 氏

「不良原因の解析手法」

福島県ハイテクプラザ技術開発部 工業材料科
研究員 高木 智博 氏

「生産管理の基礎と応用」

国立大学法人福島大学教育研究院 教授
(共生システム理工学類担当) 樋口 良之 氏

「品質管理」～「なぜ」で考える5Sの取り組み方～

亀井社会保険労務士事務所 ものづくり支援アドバイザー
亀井 浩之 氏

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

2. 生産性向上支援訓練セミナーの実施

今後の企業経営の上で、地域の中小企業等が持続的に成長するためには、労働者一人一人の生産性向上が重要であると考えられることから、中小企業等の人材育成、従業員の労働生産性向上を支援することを目的に生産性向上支援訓練セミナーを開催した。

(1) 「チャンスをつかむインターネットビジネス」

生活様式や経済活動が変容する今こそ取り組み、インターネットを活用した販促手法を実践することを呼び掛けた。

- ・講師 イースパイア(株)
代表取締役 横田 秀珠 氏
- ・開催日 令和2年12月1日(火)、2日(水)
- ・開催場所 コラッセふくしま
- ・受講者数 20名(12/1) 20名(12/2)



3. パソコン教室 (福島商工会議所生産性向上IT研修事業)

1. 委託先 (株)ミライフ
(令和3年3月現在、全国103商工会議所115教室で受託運営)
2. 開講場所 チェンバおおまち
3. 授業内容
 - ・インストラクターが常駐して指導
 - ・受講料は1回(50分)1,000円の固定制。各自の都合によって何時間受講しても可
4. 在籍者数 257人
5. のべ受講者数 2,888人

4. WEBセミナーの配信

新型コロナ対策・一般経営・研修等、600本以上のセミナーを無料でネット配信した。

- ・配信期間 令和2年6月10日(水)～
令和3年3月31日(水)
- ・視聴回数 1,768回
- ・視聴セミナー数 591本
- ・視聴者数 686名



5. 人材確保支援事業の実施

福島市内の企業を対象に、女性活躍や若者の人材育成、多様な働き手確保の支援事業として、下記のセミナーを開催した。また、人材確保支援事業推進コーディネーターを配置し、福島市が推奨している「福島市働く女性応援企業認証」および「福島市障がい者雇用推進企業認証」の登録について推進を行った。

(1) 企業向け多様な働き手確保セミナー

- ・開催日：令和2年11月5日(木)
- ・場所：福島商工会議所 会議室
- ・講師：社会保険労務士 丹治 正夫 氏
- ・事例発表：(株)こんの 代表取締役 紺野 道昭 氏
トニーチ(株) 代表取締役社長 岸 秀樹 氏
- ・参加者数：14名

(2) 若手社員セミナー（入社3年以内の若手社員対象）

- ・開催日：令和2年11月11日（水）
- ・場所：福島商工会議所 会議室
- ・講師：採用と教育研究所 所長

半田 真仁 氏

- ・参加者数：13名

(3) 企業向け女性活躍セミナー

- ・開催日：令和2年11月18日（水）
- ・場所：福島商工会議所 会議室
- ・講師：（一財）女性労働協会 菅原 幸子 氏
- ・参加者数：13名

2 各種検定試験による商工技能の向上

1. 簿記検定試験（主催：日本商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）			今年度 合 計	昨年度 合 計	対比増減
		1 級	2 級	3 級			
第155回	中止	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	228 (93)	▲228 (▲ 93)
第156回	令和2年11月15日(日)	26 (4)	148 (16)	279 (116)	453 (136)	469 (146)	▲ 16 (▲ 10)
第157回	令和3年2月28日(日)	18 (2)	127 (7)	259 (170)	404 (179)	503 (180)	▲ 99 (▲ 1)
合 計		44 (6)	275 (23)	538 (286)	857 (315)	1,200 (419)	▲343 (▲104)

受験者数の推移

年 度	1 級	2 級	3 級	合 計	対前年比
令和2年度	44	275	538	857	▲343
令和元年度	16	573	611	1,200	▲182
平成30年度	35	626	721	1,382	32

【各級の程度・能力】

- 1 級** 公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門で、1 級に合格すると税理士試験の受験資格が得られる。大学で専門に学ぶ程度の商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算を習得し、財務諸表規則や企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる。
- 2 級** 株式会社の経営管理に役立つ。企業の財務担当者として必要な高校（商業高校）程度の商業簿記、工業簿記を習得している。財務諸表を読む力が身につく、自社や取引先の経営内容を数字から把握できる。
- 3 級** 企業に働く者の必須の基礎知識が身につく、商店や中小企業の経理事務に役立つ。経理関連書類を読むことができ、青色申告などの書類作成もある程度できる。経理・財務担当以外でも必要な知識として評価する企業が多い。

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

2. リテールマーケティング（販売士）検定試験（主催：日本商工会議所）

回 次	施行年月日	級	受験者数（合格者数）	前年度受験者数（合格者数）
第86回	中 止	2 級	－（－）	2（ 8）
		3 級	－（－）	33（ 20）
第87回	令和 3 年 2 月17日（水）	1 級	1（ 1）	5（ 0）
		2 級	121（ 79）	85（ 45）
		3 級	163（117）	164（ 77）
合 計			285（197）	313（150）

受験者数の推移

年 度	1 級	2 級	3 級	合 計	対前年比
令和2年度	1	121	163	285	▲28
令和元年度	5	111	197	313	7
平成30年度	3	115	188	306	－

3. 珠算能力検定試験（主催：日本商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）						今年度 合 計
		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	
第219回	中 止	－ （－）	－ （－）	－ （－）	－ （－）	－ （－）	－ （－）	－ （－）
第220回	令和2年10月25日（日）	22 （8）	32 （11）	53 （24）	5 （4）	0 （0）	4 （3）	116 （50）
第221回	令和3年2月21日（日）	21 （9）	34 （19）	42 （27）	7 （6）	6 （6）	8 （7）	118 （74）
合 計		43 （17）	66 （30）	95 （51）	12 （10）	6 （6）	12 （10）	234 （124）

受験者数の推移

年 度	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合 計	対前年比
令和2年度	43	66	95	12	6	8	234	▲105
令和元年度	72	88	130	21	15	17	339	▲35
平成30年度	49	119	144	20	22	20	374	－

【各級の程度・能力】

	【みとり算(10題)】	【かけ算(20題)】	【わり算(20題)】
1 級	10口 100字	実法合わせて11けた	法商合わせて10けた
2 級	10口 80字	実法合わせて9けた	法商合わせて8けた
3 級	10口 60字	実法合わせて7けた	法商合わせて6けた
4 級	10口 50字	実法合わせて7けた	法商合わせて6けた
5 級	10口 40字	実法合わせて6けた	法商合わせて5けた
6 級	10口 30字	実法合わせて5けた	法商合わせて4けた

4. PC検定試験（主催：日本商工会議所） ※ネット試験認定校により随時実施

級		施行回数	受験者数 (合格者数)	今年度合計
文書作成	2 級	15	13 (6)	42 (32)
	3 級	21	24 (21)	
	ベーシック	5	5 (5)	
データ活用	2 級	15	15 (11)	48 (39)
	3 級	30	29 (24)	
	ベーシック	5	4 (4)	
プレゼン 資料作成	2 級	5	4 (4)	7 (7)
	3 級	2	3 (3)	
合 計		98	97 (78)	97 (78)

受験者数の推移：過去3年

年度	文書作成			データ活用			プレゼン資料作成		合計	対前年比
	2 級	3 級	ベーシック	2 級	3 級	ベーシック	2 級	3 級		
令和2年度	13	24	5	15	29	4	4	3	97	▲ 9
令和元年度	5	15	33	11	19	16	3	4	106	60
平成30年度	10	7	0	13	9	1	5	1	46	▲13

【各級の程度・能力】

文書作成	2 級	与えられた情報を整理・分析し、参考となる文書を選択・利用して、状況に応じた適切なビジネス文書、資料等を作成することができる。
	3 級	指示に従い、ビジネス文書の雛形、既存文書を用いて、正確かつ迅速にビジネス文書を作成することができる。
	ベーシック	ワープロソフトの基本的なスキルを有し、企業実務に対応することができる。
データ活用	2 級	表計算ソフトを用い、当該業務に関する最適なデータベースを作成するとともに、適切な方法で分析し、表やグラフを駆使し業務報告・レポート等ができる。
	3 級	表計算ソフトを用い、指示に従い正確かつ迅速に業務データベースを作成し、集計、分類、並べ替え、計算、グラフ作成等ができる。
	ベーシック	表計算ソフトの基本的な操作スキルを有し、企業実務に対応することができる。
プレゼン 資料作成	2 級	与えられた情報を整理・分析し、図解技術やレイアウト技術、カラー表現技術等を用いて、適切で分かりやすいプレゼン資料を作成することができる。
	3 級	指示に従い、プレゼン資料のひな型や既存の資料を用いて、正確かつ迅速にプレゼン資料を作成することができる。

5. 福祉住環境コーディネーター検定試験（主催：東京商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）			今年度合計
		1 級	2 級	3 級	
第44回	令和2年7月12日（日）	中 止			
第45回	令和2年11月22日（日）	0（0）	36（21）	10（6）	46（17）
合 計		0（0）	36（21）	10（6）	46（17）

受験者数の推移

年 度	1 級	2 級	3 級	合 計	対前年比
令和2年度	0	36	10	46	▲54
令和元年度	2	78	20	100	▲4
平成30年度	0	66	38	104	▲3

【各級の程度・能力】

- 1 級** 3 級・2 級で得た知識をもとに、新築や住宅改修の具体的なプランニングができる。さらに、安全で快適なまちづくりへの参画など、幅広い活動ができる。
- 2 級** 3 級レベルの知識に加え、介護、医療、福祉、住環境等の専門的な知識を身につけ、住環境の現場にて具体的な解決策を提案できる。
- 3 級** 福祉と住環境の関連分野の基礎的な知識を有している。

6. ビジネス実務法務検定試験（主催：東京商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）			今年度合計
		1 級	2 級	3 級	
第47回	令和2年6月21日（日）	中 止			
第48回	令和2年12月6日（日）	0（0）	31（4）	37（19）	68（23）
合 計		0（0）	31（4）	37（19）	68（23）

受験者数の推移

年 度	1 級	2 級	3 級	合 計	対前年比
令和2年度	0	31	37	68	14
令和元年度	0	15	39	54	▲10
平成30年度	0	30	34	64	13

【各級の程度・能力】

- 1 級** 業務上必要な法律実務知識をビジネス全般にわたって持っており、その知識に基づいて多面的な観点から高度な判断・対応ができる。
- 2 級** 企業活動の実務経験があり、弁護士などの外部専門家への相談といった一定の対応ができるなど、質的・量的に法律実務知識を有している。
- 3 級** ビジネスパーソンとしての業務上理解しておくべき基礎的法律知識を有し、問題点の発見ができる。

7. カラーコーディネーター検定試験（主催：東京商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）		今年度合計
		アドバンスクラス	スタンダードクラス	
第48回	令和2年6月7日（日）	中 止		—
第49回	令和2年11月29日（日）	6（2）	12（7）	18（9）
合 計		6（2）	12（7）	18（9）

受験者数の推移

年 度	アドバンスクラス	スタンダードクラス	合 計	対前年比
令和2年度	6	12	18	—

※令和2年度より級が廃止されアドバンスクラスとスタンダードクラスに変更

年 度	1 級	2 級	3 級	合 計	対前年比
令和元年度	2	14	18	34	3
平成30年度	6	9	16	31	▲10

【各級の程度・能力】

アドバンスクラス スタンダードクラスの知識に加え、ビジネスにおける色彩の活用事例など幅広い知識を有している。

スタンダードクラス 日常から見た色彩に関する基礎的な知識について理解している。

8. 環境社会検定試験（ECO検定）（主催：東京商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）	今年度合計
第28回	令和2年7月12日（日）	中 止	
第29回	令和2年12月13日（日）	46（35）	52（38）
合 計		46（35）	94（63）

年 度	合 計	対前年比
令和2年度	46	▲48
令和元年度	94	0
平成30年度	94	28

「エコピープル」

商工会議所ではeco検定合格者を「エコピープル」と呼んでいる。幅広い環境問題に対する基本的な知識を有し、そこから生まれる問題意識を日常の行動に移そうとしている方々、あるいは既にそうした活動を行っているeco検定合格者に対して、商工会議所として敬意を込めた名称。

【取得の意義】

企業にお勤めの方	企業の社会的責任対応や今後の環境ビジネスの展開に向けて、知識を活用できるようになる。また、取得社員が増えることで、企業のイメージアップにもつながり、ISO取得後の継続学習の一環として、社員の意識改革や自己啓発にも役立てられる。
学生の方	環境保全に取り組んでいる企業・団体などへの就職活動や進学時のアピール材料になる。知識の幅を広げ、国際的な視野でこれからの社会の姿を考えられるようになる。
一般の方	日常生活の中で、環境に配慮した生活知識を身につけることができる。また、環境への知識をもとに、地域再生や地域振興のために活動していただくことを期待できる。

9. ビジネスマネジャー検定試験（主催：東京商工会議所）

回 次	施行年月日	受験者数（合格者数）
第11回	令和2年6月27日（土）	中 止
第12回	令和2年11月8日（日）	19（5）
合 計		19（5）

受験者数の推移

年 度	合 計	対前年比
令和2年度	19	3
令和元年度	16	▲32
平成30年度	48	16

【取得の意義】

経営者と社員の結節点であるマネジャーのミッションは、「チームとして成果を出すこと」。「人と組織のマネジメント」「業務のマネジメント」「リスクのマネジメント」を系統立てて学習する機会を提供し、マネジャーとしての活躍が期待されるビジネスパーソンの養成を目的に始まった検定試験。

Ⅱ H 雇用対策事業の 推進

1 求人・求職間のミスマッチ解消 に関すること

1. 会員企業人事担当者と高等学校就職担当教諭との意見交換会の開催

2 雇用創出事業の推進

1. 福島市若者自立支援仕事体験事業の実施
(職場体験講習事業)

3 健康経営に関すること

1. 健康経営セミナーの実施

1 求人・求職間のミスマッチ 解消に関すること

1. 会員企業人事担当者と高等学校就職担当教諭との意見交換会の開催

高校と企業の連携強化と相互理解により、新規高卒者雇用環境の改善および学生の就職支援を図ることを目的として、会員企業の人事担当者と高等学校の就職担当者との意見交換会を開催した。

また、意見交換会開催前に高等学校就職担当の先生を対象とした企業説明会を実施し、NOK(株)、福島ヤクルト販売(株)の2社から企業概要等の説明を受けた。



【企業説明会】

- ・開催日 令和2年12月10日(木)
- ・開催場所 コラッセふくしま4階 多目的ホール
NOK(株)、福島ヤクルト販売(株)
- ・出席者数 高等学校 11校12名

【意見交換会】

- ・開催日 令和2年12月10日(木)
- ・開催場所 コラッセふくしま4階 多目的ホール
- ・出席者数 会員企業 10社10名
高等学校 8校9名
雇用育成委員会 8名
中小企業振興委員会 2名
福島公共職業安定所 1名
福島県商工労働部雇用労政課 1名
福島市商工観光部産業雇用政策課 1名

・意見交換内容

- ①高等学校就職担当教諭からの現状ならびに要望発表
- ②会員企業人事担当者からの現状ならびに要望発表
- ③意見交換

2 雇用創出事業の推進

1. 福島市若者自立支援仕事体験事業の実施（職場体験講習事業）

コミュニケーション能力や対人関係に不安を抱えている若者（ニートや引きこもり等）がユースプレイス支援団体等の支援を受け、就労意欲の向上が見られる方を対象に、就職へのチャンス拡大を目指して希望する職場において実際の仕事を体験し、自立促進を図ることを目的として実施した。

- ・事業所訪問件数 126社
- ・登録事業所数 34社
- ・職場体験講習受講者数 6名



3 健康経営に関すること

1. 健康経営セミナーの実施

本県における心疾患・脳血管疾患などの生活習慣病の死亡率が上昇している傾向と、少子高齢化等による労働人口の減少が予想される中、従業員の健康の維持・増進と併せ、事業所の生産性向上を高めていくことが企業の継続的発展に今後重要な要素になると考え、健康をキーワードとしたテーマを設けて健康経営セミナーを実施した。

日 程：令和2年9月30日（水）

場 所：ウエディングエルティ

内 容：

第1部 「新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の課題」

講師 公立大学法人福島県立医科大学

感染制御学講座・附属病院感染制御部

准教授・副部長 仲村 究 氏



▲新型コロナウイルスについて解説する仲村准教授

第2部 「健康経営優良法人認定制度」申請についてのポイント解説

講師 アクサ生命保険株式会社

健康経営推進部長

健康経営エキスパートアドバイザー

日下 英樹 氏

説 明：「福島市の新型コロナウイルス感染症への取り組みについて」

福島市保健所健康推進課成人保健係

副主任保健師

岡本なつみ 氏

Ⅱ I 各種調査・ 情報提供

1 登録・申請・検査業務の実施

1. 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
2. 容器包装リサイクル業務の実施
3. 貿易関係証明書の発行
4. 加工食品の放射性物質測定事業の実施

2 地域経済に関する各種調査の実施

1. LOBO（早期景気観測）調査
2. 中小企業景況調査
3. 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査

1 登録・申請・検査業務の実施

1. 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施

(1) 受託先

独立行政法人環境再生保全機構

(2) 受託業務内容

- ① 浜通り地区（いわき、相馬、原町）を除く県内に事業所を有する汚染負荷量賦課金納付義務者に対する、申請書、添付書類および納付書の送付
- ② 納付義務者に対する制度の啓蒙及び指導
- ③ 申告書類の受理等の業務

(3) 取扱数

汚染負荷量賦課金取扱事業所数（88件）

2. 容器包装リサイクル業務の実施

(1) 受託先

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

(2) 受託業務内容

- ① ガラス瓶、PETボトル、紙製容器、プラスチック製容器の製造・販売を行う事業所を「特定事業者」として位置づけ、リサイクルにかかる経費の一部に充てるための委託料支払業務の補助
- ② 委託料の申請には「紙申請」および「オンライン申請」があり「紙申請」を行う事業所のオンライン申請の代行業務
- ③ 容器包装リサイクル制度の説明会の実施

(3) 取扱数

- ① 紙申請 10社
- ② オンライン申請 22社

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

3. 貿易関係証明書の発行

商工会議所が発給する貿易関係証明書は、真正・公正な証明として海外でも認知されている。会員事業所の円滑な海外取引のために発給業務および相談に対応した。

- 証明内容 原産地証明、サイン証明 他
- 発給件数 879件

発給件数

年 度	合 計	対前年比
令和2年度	879	▲ 312
令和元年度	1,191	263
平成30年度	928	▲ 48

4. 加工食品の放射性物質測定事業の実施

東京電力福島第1原発事故による風評被害の払拭に向け、事業者の信頼性を確保するため、加工食品を対象とした放射性物質測定装置によるスクリーニング検査事業を実施した。

- 実施期間
令和2年4月1日～令和3年3月31日
- 対 象
県内製造し出荷・販売する加工食品
- 検査機器
TBベクレルモニター
(ゲルマニウム半導体検出器)
- 検査実績
0社0検体

2 地域経済に関する各種調査の実施

1. LOBO（早期景気観測）調査

(QUICK SURVEY OF LOCAL BUSINESS OUTLOOK)

LOBO調査は、商工会議所のネットワークを活用して、各地域の「肌で感じる足元の景気感」を全国ベースで毎月調査・集計するもの。その結果を景気対策等に関する意見活動等に資することを目的に実施した。

- 調査内容
売上・採算・仕入単価・従業員の状況および業界として当面する問題など
- 調査対象
管内3事業所 ※組合含む
- 調査回数
毎月1回（計12回）

2. 中小企業景況調査

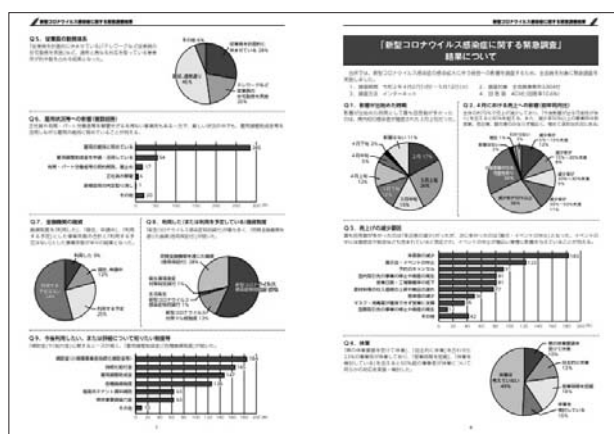
管内中小企業の景況ならびに経済動向に関する情報の収集および分析を行い、全国・東北地域と比較し、管内業況を把握することで中小企業関係機関の施策および指導、ならびに一般企業者の経営の参考にすることを目的として実施した。

- 調査内容
売上高、採算、設備投資、経営上の問題点等について
- 調査対象
管内52事業所（製造業10社、建設業3社、卸売業7社、小売業19社、サービス業13社）
- 調査回数
4半期に1回実施（計4回）
- その他
当所議員事業所を中心に52社に同様の調査を行い、全104社の結果をまとめ会報誌「所報ふくしま」およびホームページで発表。

3. 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査

新型コロナウイルス感染症が会員事業所に及ぼす影響を調査し、当所の施策や行政等への要望に生かすために実施した。

- 調査内容
 - 売上への影響、休業の状況、雇用への影響、各種支援策の利用状況・効果等について
- 調査対象
 - 全会員事業所
- 調査回数
 - 4回



▲ 4回の調査結果はホームページや所報で公表した。

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所の
発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

Ⅱ J

業種別振興 事業の推進

※ 1～9については、「Ⅵ 会議 6部会」
(P30～P36)で報告

- 1 食品商業に関すること
- 2 生活関連商業に関すること
- 3 工業に関すること
- 4 建設業に関すること
- 5 金融・経営支援業に関すること
- 6 観光・飲食業に関すること
- 7 情報・通信業に関すること
- 8 不動産業に関すること
- 9 健康・社会サービス業に関する
こと

Ⅱ K 福利厚生 の充実

1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

1. 生命共済制度等の普及・拡大

- (1) 生命共済制度
- (2) 特定退職金共済制度
- (3) 個人保険（商工会議所福祉制度）

2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

1. 生活習慣病健診の実施
2. 人間ドック健診の実施

3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

4 会員事業所従業員の婚活事業の推進

1. 「～オンラインでめぐり逢いさがそう～
オンライン婚活交流会」の開催

1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

令和2年11月から生命共済制度の内容を一部変更するとともに、「エール共済」の愛称を付けて、会員事業所にとって身近な福利厚生制度を目指した。



1. 生命共済制度等の普及・拡大

(1) 生命共済制度（愛称「エール共済」）

（令和3年3月31日現在）

- ・事業所数 1,243事業所
- ・加入者数 5,722人
- ・加入口数 7,715口

◆給付金・保険金の支払状況

給付の種類		年間累計	
		件数	金額（円）
独自給付金	結婚祝金	52	560,000
	出産祝金	103	1,180,000
	事故通院給付金	45	985,000
	病气入院給付金	92	2,850,000
	家族災害死亡	0	0
	小 計	292	5,575,000
アクサ給付金	事故入院給付金	12	2,245,000
	死亡給付金	7	16,900,855
	高度障害給付金	0	0
	ガン入院一時金	17	640,000
	6大生活習慣病入院一時金	16	260,000
	ガン先進医療一時金	1	150,000
	小 計	53	20,195,855
給付合計		345	25,770,855

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

(2) 特定退職金共済制度（令和3年3月31日現在）

- ・事業所数 151事業所
- ・加入者数 1,008人
- ・加入口数 6,097口

◆退職給付金の支払状況

件数・金額 給付の種類	年間累計	
	件数	金額(円)
退職給付金	81	64,269,167
解約手当金	0	0
遺族給付金	0	0
給付合計	81	64,269,167

(3) 個人保険（商工会議所福祉制度）

（令和3年3月31日現在）

- ・事業所数 2,775事業所
- ・加入者数 3,958人

◆保険制度別の加入状況

制度No.	制度名	事業所数	加入者数
702	大型損保セット	89	99
711	医療保障プラン	42	46
721	個人年金プランS	43	44
731	ガン保険	10	11
735	ガン治療	511	653
751	終身保障プラン	72	79
801	総合	1,549	2,465
845	定期保険群集団	212	250
851	低払型定期保険	247	311
	合計	2,775	3,958

2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

1. 生活習慣病健診の実施

会員事業所の福利厚生の実・健康管理に寄与することを目的に生活習慣病健診を実施した。労働安全衛生法の診断項目やメタボリックシンドローム症候群の健診項目にも対応した内容とした。

- ・実施期間 令和2年9月14日(月)～19日(土)
(6日間)
- ・受診者数 100事業所・473名



2. 人間ドック健診の実施

会員事業所の役員・従業員およびその家族の方を対象に会員価格の特別料金で人間ドックの提供を令和2年度から新たに始めた。

- ・実施期間 令和2年4月1日(水)～
令和3年3月31日(水)
- ・受診者数 24名

3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

会員事業所において永年勤続された優良な従業員に対し、日本商工会議所会頭、福島商工会議所会頭名で表彰するとともに記念品を贈呈した。

- ・表 彰 日 令和2年11月27日（金）
- ・会 場 ウエディングエルティ
- ・受章者数 49事業所・141名



総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

 III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

 VII 事業 I
活力ある
福島の創造

 VII 事業 II
会員事業所
の発展

 VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

 VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

 X 団体加入
および連携

 XI その他の
会議等への
参加

4 会員事業所従業員の婚活事業の推進

1. 「～オンラインでめぐり逢いさがそう～オンライン婚活交流会」の開催

	開催日	参加人数	マッチング数
第1回	令和2年10月31日（土）	男性5人・女性4人	0
第2回	令和2年11月28日（土）	実施なし	
第3回	令和2年12月19日（土）	男性3人・女性3人	1
第4回	令和3年1月23日（土）	男性5人・女性4人	6（第2希望含む）
第5回	令和3年2月13日（土）	実施なし	

・内 容

ふくしま結婚・子育て応援センターとの共催のもと、センター所属の「世話やき人」の進行で、「全員トーク」「1対1トーク」などの交流をオンラインで実施した。



Ⅲ

魅力ある商工会議所 (商工会議所の活性化)

Ⅲ A

商工会議所の運営強化

1 運営強化のための会議等の充実

1. 常議員会・議員懇話会の充実
2. 議員親睦事業の開催
 - (1) 議員親善ゴルフ大会
3. 福島市新年市民交歓会の開催

2 部会・委員会の運営強化

1. 部会・委員会活動活性化に向けた意見交換

3 会員サービスの充実

1. 会議所活用辞典ダイジェスト版の発行
2. オリジナルカレンダーの作成
3. GoToEatキャンペーンふくしまプレミアム食事券事業

4 女性会・青年部の運営支援と連携強化

5 外郭団体との連携

1. 福島市商店街連合会
2. 福島市商店街連合会青年部
3. 福島青色申告会連合会
4. 福島市青色申告会
5. 福島県珠算連盟
6. 福島珠算連盟
7. 福島エネルギー懇談会
8. 東北経済連合会福島地域懇談会
9. 福島県警察官友の会連合会
10. 福島地区警察官友の会
11. 福島県クリーンふくしま運動推進協議会
12. 福島県自衛隊協力会連合会
13. 福島市自衛隊協力会
14. 福島わらじまつり実行委員会
15. 福島リサイクル推進協議会
16. ふくしま台湾友好協会
17. 福島市にサッカースタジアムをつくる会
18. 大相撲大波三兄弟福島後援会

1 運営強化のための会議等の充実

1. 常議員会・議員懇話会の充実

新型コロナウイルスによる経済停滞を乗り越えるために議員が意見を交わし、それぞれの知見や情報の共有を図るため、常議員会と議員懇話会を積極的に開催した。

- ・常議員会 計6回開催
- ・議員懇話会 計2回開催

2. 議員親睦事業の開催

(1) 議員親善ゴルフ大会

第1回 (第229回)	開催日：令和2年6月17日(水) 場 所：福島ゴルフ倶楽部民報コース 《中止》
第2回 (第230回)	開催日：令和2年8月28日(金) 場 所：ボナリ高原ゴルフクラブ 《中止》
第3回 (第231回)	開催日：令和2年10月21日(水) 場 所：東蔵王ゴルフ倶楽部 参加数：13名 表 彰：優 勝 八木澤勝夫 氏 準優勝 古川 幸治 氏
第4回 (第232回) 議員・女性会 ・青年部交流	開催日：令和2年11月21日(土) 場 所：福島ゴルフ倶楽部民報コース 参加数：22名 表 彰：優 勝 明石 英樹 氏 準優勝 加藤 利夫 氏

3. 福島市新年市民交歓会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となった。

参加予定であった地域商工業者に対して、名簿と手土産の配布を実施した。

- ・参加予定者 380名



参加予定者に配られた名簿▶

2 部会・委員会の運営強化

1. 部会・委員会活動活性化に向けた意見交換

各部会・委員会の活動内容について議員間で共通の認識を持つことで、より活動の活性化を図ることを目的に議員懇話会を開催し、各部会長・委員長よりそれぞれの活動内容について説明をした。

- ・開催日 令和3年3月5日（議員懇話会）
- ・内 容 各部会・委員会の令和2年度事業概要並びに令和3年度事業計画について（各部会長・委員長から説明）

3 会員サービスの充実

1. 商工会議所活用辞典ダイジェスト版の発行

当所のサービス内容をわかりやすく収録した『活用辞典』（平成30年11月発行）のダイジェスト版を発行した。

冊子はすべての会員に所報とともに配布したほか、新型コロナウイルス関連の相談で来所された未加入事業所にも渡すなど活用が図られた。



2. オリジナルカレンダーの作成

会員事業所へのサービス事業の一環として、当所オリジナルカレンダーを作成した。

テーマ：「未来に伝えたいふるさとの宝物

～ロケ地を訪ねて福島にエールを！」

作成部数 6,800部

配布数 会員事業所、関係機関への配布4,050部

販売数 2,500部（郵送受付、窓口受付合計）

その他 東北六県商工会議所のほか近隣の商工会議所等にも福島をPRする目的で送付

仕様 A2版カラー7ページ

3. GoToEatキャンペーンふくしまプレミアム食事券事業

発行総額 60億円

発行総冊数 48万冊

当所販売冊数 5千冊

※令和3年3月31日現在、販売冊数4,194冊

販売期間 令和2年11月2日～令和3年5月31日

利用期間 令和2年11月2日～令和3年6月30日

券面構成 1,000円券×10枚+500円券×5枚
=12,500円／1冊

利用店舗 福島県内2,891店舗／福島市内541店舗

※令和3年3月17日現在

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

4 女性会・青年部の運営支援と連携強化

1. 女性会の活動状況

地域経済の担い手たる企業の女性経営者および社会におけるリーダーの集まりとして自己研鑽にはげむとともに会員間の連携を図り、また地域に根差す企業として福島の復興と地域の発展のための事業活動に取り組んだ。

(1) 会議の開催

- ① 第40回通常総会（書面審議）

(2) 研修会・全体会の開催

講演会や女性会創立40周年記念事業など会員親睦事業等の全体会を実施した。

（年間5回開催）



▲創立40周年記念表彰受章者を囲んで記念撮影

(3) コラッセ夢ばざー（第38回バザー）

新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、中止した。

(4) 花時計の花植替えおよび維持・管理

福島に訪れた方々をきれいな花でお出迎えし、「花のまち ふくしま」を印象づけるために、平成20年4月からJR福島駅東口駅前広場に設置している「巨大な花時計」が福島駅前のシンボルとして定着するように、福島明成高校の協力で植替えを定期的に行うなどPRおよび年間の維持管理に努めた。



▲花時計植替え作業（福島駅東口駅前広場）

2. 青年部の活動状況

地域を支える青年経済人として、次代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって豊かで住みよい郷土づくりに貢献していくことを目的に『親愛なる2020 福島へようこそ』～福島よ、いざ！～を令和2年度テーマに掲げて下記の事業を実施した。

(1) 総会の開催

〔第36回通常総会〕 オンラインによる開催

- ・開催日 令和2年5月8日(金)17:00～
- ・会場 福島商工会議所
- ・出席数 7名

〔臨時総会〕

- ・開催日 令和2年11月26日(木)
- ・会場 ザ・セレクト福島
- ・出席数 42名

(2) 定例会の開催

9月から3月まで毎月の講演会や会員親睦事業等の定例会を実施した。

開催日時・場所	出席者数	内 容
2年9月17日(木) ザ・セレクトン福島	42名	9月定例会「Go the Distance」
2年10月18日(日) まちなか広場	33名	10月定例会「ふくしまユージックフェス2020」
2年11月26日(木) ザ・セレクトン福島	42名	11月定例会「アンサンブル委員会発表」
3年1月28日(木) ザ・セレクトン福島	13名 (Zoom12名)	1月定例会「オンライン新春セミナー」(Zoom ウェビナー配信)
3年3月18日(木) ザ・セレクトン福島	84名	3月定例会「令和元年度、令和2年度卒業生送別会」 (令和元年度卒業生7名、令和2年度卒業生4名)



10月定例会【ふくしまユージックフェス2020】

2020年は福島にとって新たな大きな盛り上がりを迎える年となるはずだったが、この大きな困難の中でも福島の元気を発信し、次へのステップアップへの序章となるよう、前回東京オリンピックが開催された1964年10月に合わせ、将来的には継続イベントとして実施することを目標として、福島市が生んだ偉大な作曲家である古関裕而を活用した音楽イベントを創出し、音楽の街、エール（応援）の街として全国に広めるイベントを開催した。

1. 日 時 令和2年10月18日(日)11:30～16:00
2. 会 場 福島駅東口 まちなか広場
3. 出演者 佐久本 宝

連続テレビ小説「エール」古山浩二
(古山裕一 弟役)
山猿、一般市民、早稲田大学、慶応大
学応援団、豊橋YEG

4. 内 容 スペシャルゲスト出演による演奏および素人の方々（5組程度）による参加型の音楽ALLジャンルイベントを行った。

素人の方々は古関裕而作曲の『栄冠は君に輝く』を課題曲とし、アレンジは自由として演奏、歌唱を披露していたが、参加賞を贈呈した。また同時開催として、日頃の感謝を伝えたくても勇気が出ない方に、早稲田・慶応応援団からエールを贈る告白イベントも開催した。

(3) 連続テレビ小説【エール】パブリックビューイングの開催

青年部活動として誘致を実現した標記番組の周知を図るため、放送再開時にパブリックビューイングを開催した。

1. 日 時 令和2年3月30日(月) 8:00～
令和2年9月14日(月) 8:00～
2. 会 場 福島駅東口もりんビジョン前
(3月)
福島駅西口大型マルチビジョン前
(9月)

(4) 創立35周年記念式典・記念講演

本来であれば令和元年度に開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和3年2月27日(土)に記念式典並びに記念講演をZoomとYoutubeLiveの組み合わせによるウェビナーを開催した。

【記念式典】

1. 開催時間 16:00～
2. 会 場 ザ・セレクトン福島
3. 登録者数 225名
4. 主な内容 35周年記念事業内容DVD放映
歴代会長表彰
夫婦YEG（豊橋商工会議所青年部）表彰

【記念講演】

1. 開催時間 16:50～18:10
2. 会 場 ザ・セレクトン福島

3. 演 題 「大衆に寄り添った作曲家古関裕而」
4. 講 師 日本大学商学部
准教授 刑部 芳則 氏
5. 登録者数 225名
6. その他 福島県青年部連合会第3回若手後継者等育成事業として



▲刑部芳則氏（前列中央）を囲む青年部会員

希美さんなどに出演頂き、市民の皆様に「エール」の裏話や古関メロディーを届けた。

1. 日 時 令和3年3月31日(水)13:30~16:00
2. 会 場 ふくしん夢の音楽堂
3. 出演者 井上 希美（藤丸役）、BREEZE（出演キャストの歌唱指導）、相楽 孝仁（出演キャストの方言指導）
4. 内 容 古関メロディーの音楽イベントに併せてふくしまわらじまつり「わらのわ」作成、踊り方教室などの各種ワークショップやコンテンツを準備した。

(5) 日本放送協会福島放送局より感謝状授与

連続テレビ小説「エール」の放送実現に加え、古関裕而氏に関する多彩な活動を通じて地域を盛り上げ、「エール」への関心を高めた功績を称えられ、日本放送協会福島放送局 半沢治久局長より感謝状が授与された。

1. 日 時 令和3年3月23日(火) 15:00~
2. 場 所 日本放送協会福島放送局



(6) 「エールフェス」の開催

平成28年から青年部が手掛けてきた、古関裕而氏の音楽に特化した「マーチングfromふくしま」のイベントを継続開催したことにより、2020年NHK連続テレビ小説「エール」が放送された古関裕而氏の名前は時を越えて再び日本中が知るところとなり、お茶の間に大きな「エール」を届けてくれた。

本イベントには「エール」で藤丸役を務めた井上

5 外郭団体との連携

1 福島市商店街連合会

商店街販売促進事業、従業員の研修、商店および商店街の連絡

2 福島市商店街連合会青年部

青年経営者の資質の向上と市商連事業に対する協力

3 福島青色申告会連合会

青色申告者の適正申告、記帳の指導・税制改正に関する意見活動

4 福島市青色申告会

青色申告者の適正申告、記帳の指導・税制改正に関する意見活動

5 福島県珠算連盟

珠算の普及および技能の向上に関する事業

6 福島珠算連盟

珠算の普及および技能の向上に関する事業

7 福島エネルギー懇談会

エネルギー問題の調査・研究に関する事業

8 東北経済連合会福島地域懇談会

東経連の会議への出席や県内での講演会の開催および東経連活動を円滑に行うための情報提供

9 福島県警察官友の会連合会

福島県警察官の士気の高揚を図るための支援事業

10 福島地区警察官友の会

福島警察署警察官の士気高揚を図るための支援事業

11 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会

地域内の清掃美化の促進

12 福島県自衛隊協力会連合会

自衛隊との相互理解と親睦を図り、健全な育成発展に協力

13 福島市自衛隊協力会

自衛隊との相互理解と親睦を図り、健全な育成発展に協力

14 福島わらじまつり実行委員会

わらじまつり実行と宣伝普及、企画検討
【福島わらじまつり実行委員会】
【福島夏まつり委員会】

15 福島リサイクル推進協議会

事業所の廃棄物を資源化するための効率的な分別回収事業

16 ふくしま台湾友好協会

双方の観光・経済・文化等の交流促進並びに情報交換および親善協力

17 福島市にサッカースタジアムをつくる会

福島ユナイテッドFCのJ2、J1昇格のためのサッカースタジアムの早期整備に向けた活動

18 大相撲大波三兄弟福島後援会

大相撲力士「大波三兄弟」こと「若隆景」「若元春」「若隆元」の支援・激励を行い、「郷土に誇りを持てる魅力ある地域づくりの推進」を図ることを目的に令和2年12月に設立

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造VII 事業 II
会員事業所
の発展VII 事業 III
魅力ある
商工会議所VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 記録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携XI その他の
会議等への
参加

Ⅲ B

運営基盤の強化

1 議員・職員による新規会員加入促進

2 会員事業所の巡回訪問

1 議員・職員による新規会員加入促進

運営基盤強化の取り組みの一環として、議員・職員一丸となった新規会員の加入促進に努めた。

2 会員事業所の巡回訪問

平成21年度から始めた全会員事業所の巡回訪問。全職員で会員事業所を訪問し、新型コロナウイルス対策支援に関する情報提供や相談事項への対応に努めた。

Ⅲ C

事務局機能の強化

1 職員の経営支援能力等の向上

1 職員の経営支援能力等の向上

日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会等が主催する各種研修会等に職員を積極的に派遣し資質向上を図った。

中小企業支援担当者研修（基礎研修Ⅱ）

中小企業大学校仙台校 令和2年8月17日～9月11日

経営指導員・補助員研修会（1回目）

福島商工会議所 令和2年11月2日

創業支援の進め方

中小企業大学校仙台校 令和2年11月9日～11月11日

中小企業支援担当者研修（基礎研修Ⅰ）

中小企業大学校仙台校 令和2年11月16日～12月11日

経営指導員・補助員研修会（2回目）

福島商工会議所 令和2年11月20日

日商オンラインセミナー

福島商工会議所 令和2年1月29日

Ⅲ D

情報収集力と
発信力の強化

1 情報戦略の構築

1. 情報発信の研究・強化

2. 未加入事業所と市民への情報発信の強化

(1) ももりんビジョンによる情報発信

3. メディアへの発信情報の研究・強化

(1) マスコミとの意見交換会の開催

(2) ラジオによる情報発信

4. コーポレートアイデンティティの構築

2 所報ふくしまの充実

1. 所報ふくしまによる情報発信

2. DM配送サービスによる企業情報の発信

(企業情報宅配便)

3 物産展示室における資料提供の
拡充・強化

4 ホームページによる情報発信

1 情報戦略の構築

1. 情報発信の研究・強化

市民・企業・地域への積極的な情報発信を常に意識しながら業務を推進した。

ホームページやFAX等を利用し、新型コロナウイルス対策支援情報をはじめ担当業務上における情報の迅速な発信に努めた。

令和2年度はホームページの改良やSNSを利用した情報発信について課題点を研究し、3年度の実施に向けて準備を進めた。

2. 未加入事業所と市民への情報発信
の強化

(1) ももりんビジョンによる情報発信

会員事業所のみならず、未加入事業所や市民へ商工会議所の事業を紹介することを目的とし、福島駅東口前の「ももりんビジョン」から当所オリジナルCMを放送した。

令和2年度は連続テレビ小説「エール」の放映を歓迎するメッセージを中心とする内容とした。

- ・CM時間 15秒
- ・放映本数 1本／1時間 15本／1日、
年間5,455本



▲「ももりんビジョン」で放映された当所CM

3. メディアへの発信情報の研究・強化

(1) マスコミとの意見交換会の開催

調査事項やイベント等の情報発信のために市内報道機関との懇談会を定期的に開催。

- ① 報道機関：市内の報道機関17社
(新聞・テレビ・ラジオ)
- ② 開催頻度：毎月1回開催(計12回)

回	開催年月日
第1回	2年4月22日
第2回	2年5月19日
第3回	2年6月24日
第4回	2年7月31日
第5回	2年8月26日
第6回	2年9月23日
第7回	中止
第8回	2年11月25日
第9回	2年12月23日
第10回	3年1月27日
第11回	3年2月26日
第12回	3年3月19日

(2) ラジオによる情報発信

経営支援に関する情報や当所主催のイベント情報、商工会議所のPRを福島コミュニティ放送(FM-POCO)で行った。

令和2年度からは従来の「商工会議所だより」(毎週木曜日8:30~8:35)に代わり、20秒のスポットCMを随時入れた。

コロナ禍における当所経営相談の利用を促したり、「ランチで食うポン実施中」などのメッセージを発信した。

4. コーポレートアイデンティティーの構築

市民・企業・地域の元気をつくる当所の認知度を高めることを目的に、当所の広告を福島駅東西地下自由通路に掲出している。

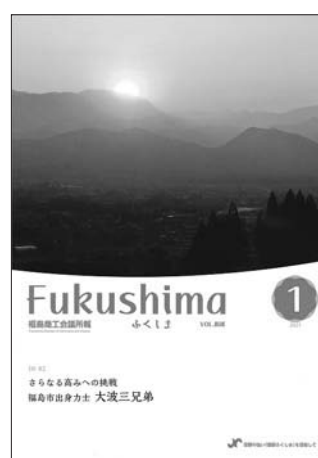
令和2年度は連続テレビ小説「エール」にちなんだ広告を展開した。

2 所報ふくしまの充実

1. 所報ふくしまによる情報発信

新型コロナウイルス感染症対策支援情報などを中心に中小企業相談所からの各種制度の案内、当所主催の事業等に関するお知らせ、会員事業所の紹介などを掲載した。

- 発行日 毎月10日
- 発行部数 4,500部
- ページ数 全16ページ



令和2年度 特集内容

4月号	緊急特集 新型コロナウイルス対策支援
5月号	コロナに負けでらん！ 福島商工会議所の新型コロナウイルス対策支援
6月号	ふくしまの食に「エール」を 飲食店支援のいま
7月号	お待たせしました 6月20日開館 古閑裕而まちなか青春館
8月号	キャッシュレスの定着に向けて
9月号	経営に役立ち、各種補助金申請にも役立つ 事業計画を策定しよう
10月号	コロナに、災害に負けない！ 事業継続力強化とテレワークに取り組もう
11月号	すべての企業が持続的に発展するために SDGsを活用しよう
12月号	動画活用で自社のファンを増やそう

1月号	さらなる高みへの挑戦 福島市出身力士 大波三兄弟
2月号	働き方改革の対応はお済みですか？ 「同一労働同一賃金」への対応に向けて
3月号	4月1日、福島駅前に開設 福島県立医科大学保健科学部

2. DM配送サービスによる企業情報の発信（企業情報宅配便）

所報「ふくしま」に会員事業所のチラシやパンフレットを同封し、販路拡大に役立てていただくことを目的としてサービスを実施した。

- ・利用数 のべ83件
- ・利用例 ①自社PR・事業内容の案内
②商品・新サービス
③各種イベント・セミナー開催案内など

3 物産展示室における資料提供の拡充・強化

新型コロナウイルス対策支援情報を中心とするチラシ・パンフレット、書籍等を整備し、情報提供の強化を図りながら来訪者にご利用いただきやすい空間を創った。

同室には平成29年度の創立100周年記念事業「小学生作文コンクール」で応募いただいた全作文を封入した“タイムカプセル”を設置している。

チラシ・パンフレット関係

- ・新型コロナウイルス感染症対策支援情報
- ・セミナー
- ・経営
- ・融資・税制・会計
- ・共済・保険・雇用
- ・新規創業・海外展開 ほか

書籍関係

- ・まちづくり
- ・統計調査
- ・企業経営調査
- ・歴史 ほか

タイムカプセル(2037年開封)

4 ホームページによる情報発信

国・県・市、関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染症に関する情報などを積極的に発信した。

迅速な情報発信を心掛けた結果、アクセス件数は令和元年度の1.8倍を記録した。

コロナ情報のほか、当所が中心となって運営した「古閑裕而まちなか青春館」に関する情報や「ランチで食うポン」のページへのアクセスが多かった。

1. アクセス総数 150,160件

2. 地域別アクセス数

- ・国内 148,505件
- ・国外 1,655件

(内訳)

- ・国内
 - 福島県 72,393件
 - 東京都 19,387件
 - 神奈川県 19,388件
 - 北海道 10,775件
 - 大阪府 7,030件
 - 宮城県 3,656件
 - 埼玉県 2,400件
 - 愛知県 2,124件
 - 千葉県 1,331件
 - 茨城県 1,209件

- ・国外（アメリカ、ドイツ等）1,655件

②～⑥については、「Ⅶ 事業」内にて記載しています。該当ページは下表の通りです。

事業項目	ページ
② 意見活動（陳情・要望活動等）	P 45～46
③ 調査研究	P 78～79
④ 広報	P 91～93
⑤ 証明等（貿易関係証明）	P 78
⑥ 技能技術の普及および検定	P 69～74

7 経営改善普及事業

1. 小規模企業振興基本法および改正小規模支援法に対応した中小企業経営発達支援事業の充実

小規模企業の持続的な発展と事業運営の支援強化を図ることを目的として施行された「小規模企業振興基本法」および「改正小規模支援法」に則り、経営指導員、専門経営指導員による経営相談の充実・強化を図った。

特に、平成30年3月16日に認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき、『小規模事業者の安定・成長・継続・創出を目指す』ことを目標として、事業所に寄り添った伴走型の支援を行い、売上が増加するように個社の経営力を高めるとともに、地域経済の活性化と小規模事業者の経営環境の改善を図った。

(1) 巡回・窓口相談事業

① 経営指導員の指導

業 種	巡 回 件 数									
	企業数	金 融	税 務	経 理	経 営	労 働	取 引	情 報	その他	計
製 造 業	148	2	0	0	145	11	0	0	42	200
建 設 業	197	3	1	0	178	2	0	0	27	211
小 売 業	254	6	3	0	239	3	0	0	67	318
卸 売 業	71	0	0	0	67	1	0	0	26	94
サ ー ビ ス 業	498	16	5	3	441	1	1	0	146	613
そ の 他	51	1	1	0	46	1	0	0	16	65
小 規 模 計	1,219	28	10	3	1,116	19	1	0	324	1,501
小 規 模 以 外	55	0	0	0	66	2	0	0	3	71
回 数 計	1,274	28	10	3	1,182	21	1	0	327	1,572
創 業	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1

業 種	窓 口 件 数									
	企業数	金 融	税 務	経 理	経 営	労 働	取 引	情 報	その他	計
製 造 業	121	17	32	1	177	16	0	1	187	431
建 設 業	134	23	62	10	118	13	0	0	198	424
小 売 業	253	39	134	27	378	15	0	2	196	791
卸 売 業	44	13	16	5	72	6	0	2	113	227
サ ー ビ ス 業	599	76	344	52	793	32	0	37	449	1,783
そ の 他	47	6	20	2	44	3	0	0	57	132
小 規 模 計	1,198	174	608	97	1,582	85	0	42	1,200	3,788
小 規 模 以 外	29	0	6	0	42	1	0	0	1	50
回 数 計	1,227	174	614	97	1,624	86	0	42	1,201	3,838
創 業	19	1	4	4	18	0	0	1	11	39

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

② 専門経営指導員の指導

業 種	巡 回 件 数		
	企業数	専門指導件数 計	
		回 数	人 数
製 造 業	51	56	56
建 設 業	49	49	49
小 売 業	62	63	63
卸 売 業	16	17	17
サービス業	115	121	121
そ の 他	12	12	12
小規模合計 小規模人数	305	317	317
小規模以外	15	17	17
回 数 計 人 数 計	320	334	334

業 種	窓口指導（通信・電話によるものを含む）		
	企業数	専門指導件数 計	
		回 数	人 数
製 造 業	71	175	173
建 設 業	55	127	127
小 売 業	119	216	215
卸 売 業	29	73	64
サービス業	274	561	553
そ の 他	24	41	38
小規模合計 小規模人数	572	1,193	1,170
小規模以外	35	53	53
回 数 計 人 数 計	607	1,246	1,223

2. 講習会等の開催による指導

(1) 専門指導員等の指導

内 容		区 分	経営革新	経営一般	金 融	税 務	労 働	取 引	その他	計
集団指導	のべ回数		0	5	1	2	0	0	0	8
	のべ人数		0	47	2	33	0	0	0	82
個別指導	のべ回数		0	2	0	20	4	0	12	38
	のべ人数		0	10	0	737	21	0	4	772

(2) 金融に関すること

① 金融の斡旋

区 分		金 額		幹旋件数・金額		貸付決定件数・金額	
				件 数	金 額	件 数	金 額
日本政策金融公庫		一般・特別		1	2,000万円	1	2,000万円
		経営改善資金		54	19,690万円	54	19,690万円
		合 計		55	21,690万円	55	21,690万円
小規模事業者 経営改善資金制度 (マルケイ資金)		融資実績		申込件数・金額		54件・19,690万円	
				幹旋件数・金額		54件・19,690万円	
				融資決定件数・金額		54件・19,690万円	
					資金の用途		運転資金
					設備資金	7 件・2,365万円	
会員向け特別融資制度 (メンバーズローン)		幹旋件数・金額				0 件・0円	

② 小規模事業者経営改善資金審査会

回 数	開催年月日	審査件数	審査金額
第 1 回	令和 2 年 4 月 10 日	5 件	1,480 万円
2	4 月 24 日	16 件	7,400 万円
3	5 月 18 日	6 件	1,650 万円
4	6 月 1 日	8 件	2,580 万円
5	6 月 22 日	5 件	2,300 万円
6	7 月 7 日	3 件	1,380 万円
7	7 月 20 日	1 件	200 万円
8	8 月 4 日	1 件	180 万円
9	8 月 28 日	2 件	650 万円
10	9 月 16 日	0 件	0 万円
11	10 月 9 日	0 件	0 万円
12	11 月 9 日	1 件	200 万円
13	11 月 30 日	0 件	0 万円
14	12 月 24 日	3 件	1,380 万円
15	令和 3 年 1 月 29 日	0 件	0 万円
16	2 月 26 日	1 件	290 万円
17	3 月 24 日	0 件	0 万円
合 計	17 回	52 件	19,690 万円

(3) 講習会の開催状況

① 集団指導

開催日	指導分類	内容／講師の職・氏名	参加人数
2 年 7 月 21 日	販路開拓セミナー	第 1 回 (1) FCPシートとは（作成演習あり） (2) バイヤーの仕事 (3) 商品のPRポイント (4) バイヤーとはどう接するか 講師 ネクストマーケティング(株) 代表取締役 水下 智則 氏 	8 名
2 年 7 月 29 日	販路開拓セミナー	第 2 回 経験者から見た商談会・展示会活用のポイント 講師 (有)福島路ビール 代表取締役 吉田 重男 氏	5 名
2 年 9 月 2 日	「事業継続力強化計画」策定に向けたワークショップ	第 1 回 講師 東京海上日動火災保険(株)福島支社 支社長代理 工藤 貴大 氏	9 名
2 年 9 月 16 日	「事業継続力強化計画」策定に向けたワークショップ	第 2 回 講師 東京海上日動火災保険(株)福島支店 業務グループ 担当課長 二田 茂 氏 講師 東京海上日動火災保険(株)福島支社 支社長代理 工藤 貴大 氏	8 名

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

開催日	指導分類	内容／講師の職・氏名	参加人数
2年10月13日	新入社員 フォローアップ 研修	(1) 入社から今日までを振り返る (2) マナーの重要性を再確認 (3) 印象付ける自己紹介 (4) 電話対応の基本を再確認 (5) 自分の特徴を知って活かす (6) 自己理解を深める (7) 達成力をアップさせる (8) なりたい自分を考える～気づきと今後の目標～ 講師 篤志館(株) 代表取締役 雨間けい子 氏 	17名
2年11月12日	金融相談会 (1日公庫)	福島商工会議所(経営指導員) 日本政策金融公庫(担当者)	3名
2年11月20日	年末調整勉強会	2020年の年末調整について (1) 改正点の確認 (2) 年末事務の流れ(源泉徴収簿、給与支払報告書) 講師 税理士法人MASTAC佐藤会計 佐藤 昌彦 氏	7名
3年1月21日	決算・確定申告 講習会	令和2年分所得税の決算・確定申告について 講師 税理士法人MASTAC佐藤会計 佐藤 昌彦 氏	26名

② 個別指導

開催日	講習会内容	講師の職・氏名	参加人数
2年4月 ～3年3月	無料法律相談 (随時)	弁護士 渡辺 健寿 氏	4名
2年4月～ 毎月第3水曜日	貿易何でも相談会	ジェトロ認定貿易アドバイザー 岩永 秀典 氏	—
2年6月24日	雇用調整助成金 個別相談会	福島県働き方改革推進支援センター 所属 社会保険労務所 丹治 正夫、甚野 信行	9名
2年6月26日	雇用調整助成金 個別相談会	福島県働き方改革推進支援センター 所属 社会保険労務所 丹治 正夫、高井 敏夫	7名
2年7月27日	雇用調整助成金 個別相談会	福島県働き方改革推進支援センター 所属 社会保険労務所 丹治 勲、高井 敏夫	3名
2年7月29日	雇用調整助成金 個別相談会	福島県働き方改革推進支援センター 所属 社会保険労務所 丹治 正夫、甚野 信行	2名
2年10月22日	ホームページ&SNS 個別相談会	合同会社プラスタ 栗原 篤史 氏	5名
2年12月22日	ホームページ&SNS 個別相談会	合同会社プラスタ 栗原 篤史 氏	5名
3年2月4日 ～3月12日	所得税税務指導 (14回)	税理士(敬称略) 安部修太郎／今井 智恵／小野 宏一／加藤 正祥 神田 広美／菅野 庄二／齋藤 敏春／玉根 一憲 二階堂良子／本田 文利	619名
3年3月16日 ～3月26日	消費税個別指導 (6回)	税理士(敬称略) 阿部 寿子／佐藤 正志／佐藤 昌彦／高橋 英樹 深瀬 善太／渡邊 高志	118名

(4) 経営安定特別相談事業

経営の不安定な中小企業に対し、健全経営を図るための相談や指導事業を実施した。

① 講習会の開催

開催日等	開催内容	参加人数
2年12月10日 コラッセふくしま	Withコロナ・Afterコロナを勝ち抜く！ 「顧客を動かし売上アップにつなげる即効集客術」 講師 OFFICE DETECT 代表 佐藤 志憲 氏	21人
3年1月12日 コラッセふくしま	コロナ禍の今こそ見つめ直したい！ 「売上アップにつながる！効果的なコトチラシのつくり方」 講師 (株)山口茂デザイン事務所 代表取締役 山口 茂 氏	23人

② 倒産防止関連事業の開催

個別相談件数 3件

(5) 専門家活用経営支援事業

① 専門家派遣

中小企業者の経営・技術力強化を図るため、経営上の課題解決への助言・診断を行う専門家を派遣した。(一般枠)

派遣回数 2件

② 集合研修

新型コロナウイルスにより経営環境が激変した中小企業者等の経営課題に対応するための研修事業を実施した。

開催日等	開催内容	参加人数
3年2月19日 セレクトン福島	オンライン会議ツール活用セミナー「テレワーク導入の基本」 講師 システムアナリスト 大谷 更生 氏	27人

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

3. 経営支援特別事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

【FAX一斉送信・ホームページによる情報提供】

新型コロナウイルス感染症の拡大により事業活動に影響を受けた事業者に対し、助成金、補助金、融資制度等、国・県・市等の支援メニューについてタイムリーに案内できるよう会員事業所に対してFAX一斉送信と迅速なホームページ掲載等による情報提供を実施した。

情報提供日 提供方法	情 報 内 容
令和2年4月10日 FAX一斉送信・郵送	【第1報】 新型コロナウイルス感染症特別貸付（日本公庫）・特別利子補給制度 新型コロナウイルス対策マルケイ資金・小規模事業者持続化補助金（一般型） 雇用調整助成金の特例措置
令和2年5月8日 FAX一斉送信	【第2報】 小規模事業者持続化給付金
令和2年5月18日 FAX一斉送信・郵送	【第3報】 持続化給付金申請サポート会場の開設 福島県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金・支援金
令和2年6月12日 FAX一斉送信	【第4報】 雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金個別相談会
令和2年6月18日 FAX一斉送信	【第5報】 福島県新型コロナウイルス感染症拡大防止給付金 雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金個別相談会
令和2年7月14日 FAX一斉送信	【第6報】 家賃支援給付金 雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金個別相談会
令和3年1月22日 FAX一斉送信	【第7報】 福島市事業者営業継続緊急支援給付金

【令和2年度補正予算 小規模事業者持続化補助金〈コロナ特別対応型〉】

公募開始：令和2年5月1日

受 付 締 切		支援事業者
第1回	令和2年5月15日	3件
第2回	令和2年6月5日	31件
第3回	令和2年8月7日	25件
第4回	令和2年10月2日	19件
第5回	令和2年12月10日	12件
合 計		90件

【新型コロナウイルス感染症対応のための経営相談体制強化事業「特別相談窓口」】

1. 日 時 8月～12月まで 第2・第4火曜日を基本とした月2回開催
(10:00～17:00) ※1日最大6件対応
2. 会 場 コラッセふくしま内 会議室
3. 内 容 補助金の事業計画策定支援・申請手続の説明、国の給付金・助成金申請支援
今後の経営相談 等
4. 相談件数 8/4:5件、8/18:3件、9/8:5件、9/23:4件、9/29:5件、10/13:5件、
10/27:4件、11/10:5件、11/24:3件、12/8:5件、12/22:3件 合計47件
5. 協 力 一般社団法人福島県中小企業診断協会

【雇用調整助成金等に関する個別相談会】

1. 日 時 第1回 6月24日、26日、第2回 7月27日、29日
(10:00～16:00) ※1日最大5件対応
2. 会 場 コラッセふくしま
3. 相談件数 16社
4. 協 力 福島県働き方改革推進支援センター

【新型コロナウイルス対策マル経資金への利子補給】

1. 内 容 国の制度対象外となっている、売上高が5～15%減少した小規模事業所（法人）への利子
補給を3年間実施（会員限定）
2. 対象件数 1件

【「持続化給付金 申請サポート事業」への協力】

（持続化給付金の電子申請が難しい事業主の申請サポート会場を商工会議所会議室に設置）

1. 設置場所 福島商工会議所 会議室（コラッセふくしま8階）
2. 設置期間 令和2年5月22日～9月30日 9:00～17:00
※5月～7月は土日祝も開場。8月以降は平日・土曜日のみ開場
3. 運営方法 完全予約制により、サポート事務局係員が申請を支援

【「令和3年度固定資産税・都市計画税の減免申告書に係る支援機関確認書」の発行】

1. 内 容 認定経営革新等支援機関である当商工会議所として、令和3年度固定資産税・都市計画税
の減免申告書に係る支援機関確認書を発行
2. 発行期間 令和2年12月1日～令和3年1月29日
3. 発行件数 29件

【「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金」申請希望者に対する事前確認の実施】

1. 内 容 一時支援金の不正受給や誤って受給してしまうことへの事前対応として、支援金の給付申
請希望者が、「事業を実施しているかどうか」、「給付対象を正しく理解しているかどうか」
等について、認定経営革新等支援機関等である当所が登録確認機関となって、申請に先立
ち形式的な確認を行った。
2. 確認期間 令和3年3月29日～3月31日 ※確認事業は令和3年5月31日まで実施
3. 確認件数 3件

総括的概要

施策体系

I 定款・
規約等

II 組 織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶 務

VI 会 議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登 録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

(2) 制度改正に伴う専門家派遣等事業

新型コロナウイルスへの対応をはじめ、働き方改革関連法などの労働法制、消費税率の引上げに伴う価格転嫁対策や消費税軽減税率制度および適格請求書等保存方式（インボイス）などの税制度、民法改正等の制度変更の円滑な対応に向けて、講習会の開催等を通じて諸制度改正に伴い対応が必要となる小規模事業者・中小企業者等の事業活動を支援しつつ、円滑に対応できるよう支援することを目的に実施した。

① 講習会の開催

開催日等	開催内容	参加人数
2年8月5日 コラッセふくしま	「緊急時に備える働き方改革・BCP入門」 講師 (一社) REVIVE JAPAN 代表理事 野口 正人 氏	25人
2年8月27日 コラッセふくしま	「新しい生活様式の中でも売上UPにつなげる店舗演出・空間の作り方」 講師 江戸小紋空間デザイン 代表 小林 暢世 氏 =写真1=	28人
2年9月17日 コラッセふくしま	「新型コロナウイルス感染症被害による緊急事態にも役立つ！ ITを活用した新しい働き方」 講師 G-word 代表 杉山 貴思 氏 =写真2=	19人
2年9月29日 コラッセふくしま	「働き方改革対策セミナー テレワーク導入に役立つオンライン会議ツールを体験しよう！」 講師 パソコン教室イエロー・ムーン 主宰 馬橋 明里 氏 =写真3=	29人
2年10月14日 コラッセふくしま	「コロナ禍の新しい生活様式に対応するためのインターネット活用セミナー」 講師 イースパイア(株) 代表取締役 横田 秀林 氏	26人
2年11月13日 コラッセふくしま	「同一労働同一賃金対応準備セミナー」 講師 孚事務所(株) 代表取締役 飯田 吉宏 氏	35人



新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのヒントを学んだセミナー

(3) 令和元年台風第19号による災害対策関連事業

【令和元年台風第19号等「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」】

内 容：被災地域の中小企業等のグループが復興事業計画を作成し、地域経済・雇用に重要な役割を果たすものとして県から認定を受けた場合に、施設・設備の復旧・整備について補助を行う制度で、福島商工会議所として、「福島商工会議所復興グループ」を形成し、被災された中小企業の支援を行う。

具体的には、グループ参加事業所における事業継続計画（BCP）策定支援をメインに共同事業を行い、併せて、個別の事業計画策定の際の支援を随時行った。

*福島商工会議所復興グループ参加事業所の状況

7事業所（令和2年11月30日現在 ※最終）

（内訳：建設1、製造1、卸1、小売1、飲食・サービス1、不動産1、その他1）

関連事業（グループ共同事業）

① BCPセミナー

日 時：令和2年8月5日

テ マ：緊急時に備える働き方改革・BCP入門

講 師：防災士 野口 正人 氏

参加者数：30事業所

② 「事業継続力強化計画」策定ワークショップ

日 時：第1回目 9月2日 第2回目 9月16日

内 容：個社の「事業継続力強化計画策定」に向け、想定される災害と発災直後からの対応手順や、事業継続や資金調達に向けた資金調達の想定等について策定シートを活用したワークショップを実施。

講 師：東京海上日動火災保険(株) 福島支社

参加者数：7社

【令和元年度補正予算 被災小規模事業者再建事業（持続化補助金台風19号、20号及び21号型）】

公募開始：令和2年4月1日

受 付 締 切		支援事業者
1次	令和2年5月15日	18件
2次	令和2年7月10日	14件
合 計		32件

【令和2年度福島県中小企業施設設備等復旧補助金】

募集期間：（1次公募）令和2年5月29日～（追加公募：令和2年7月6日～）

受 付 締 切		支援事業者
1次	令和2年6月30日	1件
追加公募	令和2年7月22日	2件
合 計		3件

(4) 相談事業

支援内容	開催日・開催場所	相 談 員	相談件数
金融相談会 (1日公庫)	令和2年11月12日 福島商工会議所	日本政策金融公庫国民生活事業職員、当所経営指導員	3事業所

(5) 嘱託専門指導員（専門指導センター）の活用

区 分	巡回指導	窓口指導	合 計
内 容	のべ回数	のべ回数	
経営一般	125	50	175
創業	0	0	0
合計	125	50	175

(6) 経営計画策定および実施等の支援

【令和元年度補正予算 小規模事業者持続化補助金〈一般型〉】

受付開始：令和2年3月13日

受 付 締 切		支援事業者
第2回	令和2年6月5日	15件
第3回	令和2年10月2日	8件
第4回	令和3年2月5日	9件
合 計		32件

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

【ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業補助金】

募集期間：令和2年9月18日～（追加公募：令和2年10月30日～）

受 付 締 切		支援事業者
通常	令和2年10月13日	4件
追加公募	令和2年11月18日	1件
合 計		5件

4. 事業承継・事業再生の支援

(1) 事業承継 個別相談会の定期開催

事業承継セミナーの開催を契機として、事業承継への取り組みをさらに促進するため、福島県事業引継ぎ支援センターと連携し個別相談会を定期的に開催した。

- ① 日 時 毎月第2週の水曜日 10時～17時 1社約45分（事前予約制）
- ② 対 象 中小企業・小規模事業者の経営者・後継者
- ③ 参加者数 3社（のべ3回）

5. 創業支援事業

(1) 産業競争力強化法に基づく創業支援事業への参画

福島市が国の認定を受けて実施する「産業競争力強化法に基づく創業支援計画」により、本計画に位置付けられる「創業支援機関」との情報交換等を行い連携を強化することで、創業支援体制の充実を図った。

- ・実施主体 福島市
- ・連携する創業支援機関（当所以外の支援機関）

(株)福島まちづくりセンター・飯坂町商工会・松川町商工会・飯野町商工会・(株)日本政策金融公庫福島支店・(株)東邦銀行・(株)福島銀行・福島信用金庫・福島県信用保証協会・福島県ベンチャー SOHOテレワーカー共働機構

6. 伴走型小規模事業者支援推進事業

各種支援機関と連携し、事業計画策定支援として、「Ⅰ 経営力向上に資する事業計画作成支援事業」、「Ⅱ 事業承継と後継者育成支援事業」、「Ⅲ 福島創業スクール事業」および「Ⅳ 飲食店割引クーポン「ランチdeクーポン」を活用したレベルアップ事業」、また、新たな需要の開拓に寄与する事業として、「Ⅰ ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業」をそれぞれ実施した。

(1) 事業計画策定支援

Ⅰ 経営力向上に資する事業計画作成支援事業

① 事業概要：

「事業計画策定セミナー」を開催し、事業計画の重要性を周知するとともに小規模事業者が自ら事業計画を作成できるよう支援することで、経営力の向上と持続的な発展を図った。

また、国・県などで公募している補助金に対応した内容を盛り込むことで、補助金の活用も促した。

② 具体的事業内容：

【事業計画策定セミナーの開催】

1. 開催時期	令和2年9月9日（水）[第1回・第2回] 令和2年12月15日（火）[第3回・第4回]
2. 会 場	コラッセふくしま
3. 時 間 帯	【第1・3回】 9：00～12：00（3時間） 【第2・4回】 13：30～16：30（3時間）
4. 内 容	・事業計画作成の重要性 ～事業を継続するための事業計画とは～ ・事業計画作成のポイント ・活用できる補助金等の紹介
5. 講 師	(株)エイチ・エーエル 三上 康一 氏（中小企業診断士）
6. 参加人数	【第1回】15社21名（うち小規模事業者 13社15名） 【第2回】15社16名（うち小規模事業者 12社13名） 【第3回】11社12名（うち小企業事業者 11社12名） 【第4回】9社10名（うち小企業事業者 7社8名）

Ⅱ 事業承継と後継者育成支援事業

① 事業概要：

事業承継を円滑に行えるよう現経営者（継がせる側）と後継者（継ぐ側）双方がこれから歩む方向性を正しく認識し共有していくために事業承継塾（勉強会）に参加して頂き、事業承継計画策定について早期着手に向けた支援を行った。

また、特に方向性が共有できている事業所については、専門家を派遣する個別相談会により具体的な事業承継計画書の作成支援を行った。

② 開催日時等

〔事業承継塾（勉強会）の開催〕

◆第1回「10年後の会社を考えよう！」

日 時：令和2年10月2日（金） 14時～16時
場 所：福島商工会議所 会議室
講 師：(株)エイチ・エーエル 杉山 建夫 氏
参加人数：11社13名

◆第2回「10年後のために改めて学ぶ！経営者に必要な知識とスキル」

日 時：令和2年10月7日（水） 14時～16時
場 所：福島商工会議所 会議室
講 師：(株)エイチ・エーエル 杉山 建夫 氏
参加人数：11社12名

◆第3回「持続するための事業承継計画策定に向けて」

日 時：令和2年10月12日（月） 14時～16時
場 所：福島商工会議所 会議室
講 師：(株)エイチ・エーエル 杉山 建夫 氏
参加人数：11社12名

〔個別相談会の開催〕

日 時：令和2年11月4日（水） 11時15分～5時15分（各1事業所75分程度）



総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

場 所：各事業所

講 師：(株)エイチ・エーエル 杉山 建夫 氏

参加人数：3社5名

Ⅲ 福島創業スクール事業

① 事業概要：

ビジネスプランを策定するメイン講座のほか、創業に必要不可欠な基礎知識を習得できるよう商工会議所の経営指導員や専門家のフォロー、創業支援等事業者（金融機関）等とも連携しながら実施した。開催期間は9～10月の年1回、創業体験者の事例等を交えて講義および演習により実施した

② 開催日時等

[創業スクールの開催]

◆第1講

日 時：令和2年9月26日（土） 13時30分～17時

場 所：コラッセふくしま402会議室

内 容：1. 創業の前に
2. 創業のビジョンとビジネスモデル
3. ビジネスプランの作成準備

講 師：柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏

参加人数：22名



◆第2講

日 時：令和2年9月30日（水） 18時～21時

場 所：福島商工会議所 会議室

内 容：マーケティングに興味なし！の、きみのためのマーケティング教室
1. 営業・販売戦略
2. マーケティング

講 師：(有)高橋幸司の事務所 取締役社長 高橋 幸司 氏

参加人数：20名

◆第3講

日 時：令和2年10月3日（土） 13時30分～19時30分

場 所：福島商工会議所 会議室

内 容：1. 地元創業者による創業体験談
2. ビジネスプランをつくってみよう！
3. 受講者交流会

講 師：1. (株)エースエージェンシー 代表取締役 松浦 裕哉 氏

2. 柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏

参加人数：21名

◆第4講

日 時：令和2年10月7日（水） 18時～20時30分

場 所：福島商工会議所 会議室

内 容：1. チラシ・DM・手描きPOPの作り方

講 師：POPセンター福島 代表 川村 洋一 氏

参加人数：20名

◆第5講

日 時：令和2年10月14日（水） 18時～21時
場 所：福島商工会議所 会議室
内 容：1. 集客のためのIT活用（ITを活用した集客セミナー）
講 師：(株)イースパイア 代表取締役 横田 秀珠 氏
参加人数：20名

◆第6講

日 時：令和2年10月17日（土） 13時30分～17時
場 所：福島商工会議所 会議室
内 容：1. 会計の基礎知識
2. 税務・法務・労務
3. 創業に必要なお金をどう集めるか？
4. 資金調達と公的支援制度の活用
講 師：1. ～3. 柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏
4. (株)日本政策金融公庫福島支店国民生活事業 融資課長 村上 真樹 氏
参加人数：21名

◆第7講

日 時：令和2年10月21日（水） 18時～20時30分
場 所：福島商工会議所 会議室
内 容：1. 店舗デザインの仕方（空間・色彩）
～新しい生活スタイルに対応する店づくり～
講 師：みずのやていこブランディングデザイン 代表 水野谷梯子 氏
参加人数：17名

◆第8講

日 時：令和2年10月24日（土） 13時30分～17時
場 所：福島商工会議所 会議室
内 容：1. ビジネスプラン作成
2. ビジネスプランのプレゼンテーション
講 師：柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏
参加人数：16名

◆フォローアップ事業

福島創業スクール終了後、受講者のスムーズな創業の後押しや創業後の安定を図るため、作成した事業計画書の修正等について、メイン講師を務めた柳沼氏により個別にフォローアップを実施した。

日 時：令和3年1月29日（金）、1月30日（土）
場 所：福島商工会議所 会議室
講 師：柳沼マネジメント・コンサルタント事務所 代表 柳沼 芳裕 氏
参加人数：1月29日 4名 1月30日 1名

IV 飲食店割引クーポン「ランチdeクーポン」を活用した参加店レベルアップ事業

① 事業概要：

期間限定で実施している割引クーポン事業を活用し、参加店の売上（利用）状況や利用者アンケートによる利用実態を把握して売上をさらに増加したい店舗、売上が伸び悩んでいる店舗を抽出し、事業計画の必要性を認識していただき、事業計画の策定を支援して店舗のレベルアップを図った。

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

② 開催日時：

第1回目 令和2年9月16日（水）、9月17日（木）、9月18日（金）、10月7日（水）

第2回目 令和2年12月14日（月）、12月15日（火）、令和3年1月21日（木）、1月22日（金）

③ 開催会場：対象事業所店舗

④ 参加人数：9社

(2) 新たな需要の開拓に寄与する事業

I ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業

① 事業概要：

福島市は出荷量が全国第2位となる桃をはじめ、さくらんぼ、梨やリンゴなどの果実を多く産出する「くだもの大国」と言われている。これらの果実を利用し、福島市を代表するスイーツを育てることを目指している。

本年度は、当事業3年目として過年度に参加したスイーツ店を継続支援（希望者）するとともに、新規のスイーツ店舗の方々も新たに集め、当所が独自で行うスイーツ試食会にブラッシュアップ希望の商品を試食用として出品いただき、スイーツ好きな参加者からアンケート調査を実施した。その後、アンケートの結果、分析を踏まえてフードコーディネーターと連携し、パッケージを含めたスイーツのブラッシュアップを図り、新規スイーツの商品化や売上の向上を目指した。

② 開催日時：

【A】スイーツ試食会（当所独自事業）

令和2年12月8日（火）



【B】専門家によるブラッシュアップ等の支援（指導日）

1回目 令和2年9月18日（金）、10月7日（水）、10月8日（木）、10月9日（金）

2回目 令和2年10月9日（金）、11月12日（木）、11月13日（金）、
令和3年1月21日（木）、1月22日（金）



③ 開催会場：

【A】当所入居ビル・館内レストラン（きいちご）

【B】対象事業所店舗

④ 参加人数：10社

▲専門家とオンライン相談する事業者(左)と経営指導員

8 受託事業

No.	事業名	ページ
1	公害健康被害補償業務の徴収業務に関する業務	P 77
2	容器包装リサイクル事業	P 77
3	福島市若者自立支援仕事体験事業	P 76
4	中小企業景況調査に関する業務	P 78
5	生産性向上支援訓練事業	P 68
6	放射線セシウム測定事業	P 78
7	福島県飲食店応援前払利用券事業	P 57・62
8	制度改正に伴う専門家派遣事業	P 102
9	新型コロナウイルスに関する特別相談窓口事業	P 101
10	ふくしま市民生活エールクーポン支援事業	P 62

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

VIII 登 録

1 法定台帳

1. 作成年月日 令和2年4月1日付で調査し、4月7日までに台帳の補充登録
2. 登録業者数 1,772名
3. 負担金 2,000円

IX 事務所等

1. 地 番 福島市三河南町1番20号「コラッセふくしま」8階と9階の一部
2. 構 造 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
3. 面 積 等

面 積		内 容
919.57㎡	870.05㎡（8階）	事務室、会議室、物産展示室、会頭室、専務理事室、資料室、貸事務所、その他
	49.52㎡（9階）	テナント

4. 事務所レイアウト（8階）

貸事務所	AC室	階段	エレベーター	リフレッシュルーム	W・C	W・C	エレベーター	エレベーター	階段	AC室	資料室	小会議室	印刷室	更衣室
												応接室		専務室
		県商工会議所連合会 会議室		会議室		物産展示室		会議所事務室					会頭室	

1 日本商工会議所（地位：常議員）

※会議出席状況は下記の通り。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンライン会議またはオンライン会議を併用したハイブリッド会議が開催され、オンラインで参加した。

開催月	常議員会	議員総会	会員総会	総合政策委員会	各種委員会	専務理事会議
4月						
5月	5月21日	5月21日				
6月	6月18日					
7月	7月17日	7月17日				
8月						
9月	9月17日	9月17日	9月17日		9月17日	
10月	10月15日				10月15日	
11月	11月19日	11月19日			11月19日	
12月	12月17日	12月17日	12月17日	12月2日	12月16日	
1月	1月21日	1月21日			1月21日	
2月						
3月						
計	8回	6回	2回	1回	5回	0回

※日商まちづくり・農林水産資源活用専門委員会

7月27日・2月17日

※日商三村会頭と東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所との懇談会

1月29日

2 東北六県商工会議所連合会（地位：副会長）

※会議出席状況は下記の通り。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンライン会議またはオンライン会議を併用したハイブリッド会議が開催され、オンラインで参加した。

開催月	総会・理事会	県連会長会議	東北・北海道 商工会議所連絡会議	幹事会
4月				
5月				
6月				6月8日
7月	7月13日			7月9日
8月				
9月				9月30日
10月				
11月				
12月				12月17日
1月				
2月				
3月				3月3日
計	1回	0回	0回	5回

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VII 登録

IX 事務所等

X 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

③ 福島県商工会議所連合会（地位：会長）

1. 会 議

会議開催状況は下記の通り

開催月	総会・監査会	会頭会議	政策委員会	幹 事 会	事務局長会議	中小企業 相談所長会議
4 月						
5 月				書面審議		
6 月						
7 月	書面審議					7 月14日
8 月				8 月20日		
9 月						
10月					10月29日	
11月				11月16日		11月19日
12月						
1 月						
2 月						
3 月				3 月 2 日		3 月18日
計	1 回	0 回	0 回	4 回	1 回	3 回

2. 要望活動

- ① 令和3年度福島県議会予算編成に対する要望（令和2年9月4日）
- ② 東北六県商工会議所連合会中央要望（令和2年10月15日）
- ③ 令和3年度政府予算対策要望（令和2年11月21日）
- ④ 福島県知事に対する要望（令和3年1月20日）
- ⑤ 東北六県商工会議所連合会復興要望（令和3年1月29日）
- ⑥ 東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会復興要望（令和3年1月29日）

3. 所管省庁・関係団体等との懇談

- ① 東北経済連合会第53回東北地方経済懇談会（令和2年10月6日）
- ② 日商三村会頭と東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会との懇談会（令和3年1月29日オンライン）

4. 職員研修会

- ① 共済業務担当者研修会（令和2年9月8日オンライン）

XI その他の会議等への参加

1. 参加会議等

令和2年		
4月6日	ALPS処理水に関する「関係者からの意見を伺う場」	総括的概要
4月9日	福島商業高等学校入学式	
4月15日	中学生ドリームアップ事業推進委員会	
4月16日	県北地域サポート委員会	施策体系
4月16日	福島駅東口市街地再開発準備組合事務局会議	
4月16日	福島県立図書館長来所	
4月22日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会	I 定款・規約等
4月23日	福島駅東口市街地再開発準備組合通常総会	
4月24日	(株)インフォメーション・ネットワーク福島監査会	
4月24日	福島県若年技能者人材育成支援等事業第1回連携会議	II 組織
5月14日	令和2年度福島市ロケッツアーリズム推進会議総会	
5月20日	(株)インフォメーション・ネットワーク福島取締役会	
5月21日	福島駅東口市街地再開発準備組合事務局会議	III 議員選挙 役員・議員 の選任
5月22日	福島青色申告会連合会監事会	
5月22日	福島市青色申告会監事会	
5月22日	福島県商工会議所青年部連合会第36回通常総会	IV 事務局
5月25日	福島県信用保証協会理事会	
5月28日	(株)福島まちづくりセンター取締役会	
5月28日	福島市行政改革推進委員会	V 庶務
6月4日	福島駅東口市街地再開発準備組合事務局協力者会議	
6月5日	福島駅東口市街地再開発準備組合臨時総会	
6月11日	(一社)東北経済連合会定時総会	VI 会議
6月11日	(株)中合雇用対策本部会議	
6月12日	(公財)福島県産業振興センター理事会	
6月18日	(株)インフォメーション・ネットワーク福島定時株主総会・取締役会	VII 事業 I 活力ある 福島の創造
6月18日	第1回ふくしま環境基本計画推進協議会	
6月19日	福島空港ビル(株)定時株主総会	
6月22日	福島県原子力被災者事業再開等支援補助金審査会	VII 事業 II 会員事業所 の発展
6月23日	福島駅前元気プロジェクト事務局会議	
6月23日	(一社)福島市観光コンベンション協会理事会	
6月25日	福島市職場の健康づくり推進委員会	VII 事業 III 魅力ある 商工会議所
6月26日	福島地方労働審議会	
6月29日	福島市立地企業懇話会総会	
6月30日	(株)AC福島ユナイテッド取締役会	VII 事業 経営改善 普及事業他
7月6日	福島市民憲章推進協議会委員会	
7月9日	福島市安心で安全なまちづくり推進協議会	
7月9日	令和2年度行政評価外部ヒアリング（第1回）	VIII 登録
7月10日	福島県経済団体連絡協議会担当者会議	
7月10日	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会	
7月13日	福島県最低賃金審議会	IX 事務所等
7月13日	あづまの郷ウォーク大会令和2年度第1回実行委員会	

総括的概要

施策体系

I 定款・規約等

II 組織

III 議員選挙
役員・議員
の選任

IV 事務局

V 庶務

VI 会議

VII 事業 I
活力ある
福島の創造

VII 事業 II
会員事業所
の発展

VII 事業 III
魅力ある
商工会議所

VII 事業
経営改善
普及事業他

VIII 登録

IX 団体加入
および連携

XI その他の
会議等への
参加

7月13日	旧広瀬座事業実行委員会
7月13日	わらじまつり座組調整会議
7月14日	イノベーション・コースト構想推進会議来所
7月16日	県北地域サポート委員会
7月16日	県帰還促進・事業再開交付金選定委員会
7月27日	福島地方最賃審議会本審
7月27日	第3回福島地方最低賃金審議会
7月27日	ふくしま環境フェスタ検討会
7月28日	福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議
7月28日	ふくしま新ステージ有識者懇談会
7月28日	まちなか回遊事業実行委員会
7月30日	磐梯吾妻安達太良観光推進協議会総会
7月30日	福島地方最賃第2回専門部会
7月30日	東京2020オリパラ競技大会福島市推進協議会総会
7月30日	わらじまつり第4回大わらじ座組
8月2日	東北中央自動車道伊達桑折IC～桑折JCT間開通式
8月3日	福島地方最賃第3回専門部会
8月4日	福島地方最賃第4回専門部会
8月5日	福島地方最賃第5回専門部会
8月6日	福島地方最賃第4回本審
8月6日	福島市中小企業振興会議
8月6日	福島県自衛隊退職者雇用協議会定時総会
8月6日	第23回あづま荒川クロスカントリー大会実行委員会
8月21日	小規模エリア福島工業団地のSDGs推進宣言セレモニー
8月21日	福島絆会総会
8月24日	福島地方最賃第5回本審
8月25日	第1回福島市高齢者生涯活躍プロジェクト協議会
8月25日	福島市入札監視等委員会
8月27日	福島市男女共同参画審議会
8月27日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
8月27日	(株)福島まちづくりセンター取締役会
8月28日	福島市子どものえがお条例会議
8月30日	第21回原子力災害からの福島復興再生協議会
8月31日	福島県中小企業振興審議会
8月31日	福島市受動喫煙防止対策推進委員会
9月4日	(株)中合雇用対策本部会議
9月14日	福島県事業再開補助金審査会
9月15日	福島相双復興官民合同チーム活動報告会
9月17日	福島政経懇話会第277回例会
9月18日	福島駅東口市街地再開発準備組合第2回臨時総会
9月24日	(一社)福島県銀行協会理事会
9月28日	内外情勢調査会福島支部9月懇談会
9月29日	(株)AC福島ユナイテッド取締役会
10月4日	2020ふくしま環境フェスタ
10月5日	第1回福島市地域情報化推進委員会
10月5日	福島県魅力ある職場づくり推進協議会に係る作業部会
10月7日	福島市技能功労者選考委員会
10月8日	福島市住宅マスタープラン策定委員会

10月8日	健都ふくしま創造市民会議	
10月8日	「健都ふくしま創造市民会議」パネルディスカッション	
10月15日	福島県男女共同参画審議会	
10月16日	最低賃金審議会第2回専門部会	
10月16日	あづまの郷ウォーク大会第2回実行委員会	
10月20日	第9回ふくしま新ステージ有識者懇談会	
10月22日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議	
10月22日	創業等支援補助金審査会	
10月22日	第2回福島市高齢者活躍プロジェクト協議会	
10月22日	内外情勢調査会福島支部懇談会	
10月29日	福島市中小企業振興会議	総括的概要
11月5日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議	
11月5日	福島市保健所運営協議会	施策体系
11月5日	福島県地域訓練協議会	
11月9日	古関裕而氏の野球殿堂入りを実現する会総会	I 定款・規約等
11月11日	まちなか回遊事業実行委員会	
11月12日	福島市行財政改革推進委員会	
11月17日	ふくしま産業賞専門委員会	II 組織
11月19日	県北地域サポート委員会	
11月19日	東北税理士会福島県支部連合会五者連絡協議会	III 議員選挙 役員・議員 の選任
11月25日	福島知財活用支援事業 事業創出検討会議	
11月25日	内外情勢調査会福島支部懇談会	IV 事務局
11月26日	福島県総合計画審議会	
11月26日	福島市行財政改革委員会	V 庶務
11月27日	小企業者税務援助推進協議会	
11月30日	花見山観光振興協議会総会	VI 会議
11月30日	(一社)福島県商工会館理事会	
12月3日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議	VII 事業 I 活力ある 福島の創造
12月4日	福島県火災共済協同組合理事会	
12月25日	(株)AC福島ユナイテッド取締役会	VII 事業 II 会員事業所 の発展
令和3年		
1月18日	福島県学術教育振興財団幹事会	VII 事業 III 魅力ある 商工会議所
1月20日	(一社)福島県銀行協会例会	
1月21日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議	VII 事業 経営改善 普及事業他
1月21日	県北地域サポート委員会	
1月25日	福島駅東口市街地再開発準備組合臨時総会	
1月25日	第3回ふくしま環境基本計画推進協議会	VIII 登録
1月26日	令和2年度第1回街なか創業者支援検討会	
1月27日	内外情勢調査会福島支部懇談会	IX 事務所等
1月28日	福島県民の警察官表彰選考委員会	
1月28日	総務省行政懇談会	X 団体加入 および連携
2月3日	首都圏エネルギー懇談会第32回運営懇談会	
2月4日	福島駅東口市街地再開発事務局会議	XI その他の 会議等への 参加
2月7日	ふくしまジュニアチャレンジ表彰式	
2月8日	福島市若者自立支援仕事体験事業事務局会議	
2月8日	福島県事業再開・帰還促進事業交付金交付先選定委員会	
2月8日	第7回福島新エネ社会構想実現会議	
2月9日	福島市行政改革推進委員会	

2月9日	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
2月21日	原子力災害からの福島復興再生協議会
2月22日	(一社)東北経済連合会政策会議
2月24日	まちなか回遊事業実行委員会
2月25日	福島県地域訓練協議会
2月26日	福島市働く女性応援企業認証式
2月26日	福島市子どものえがお条例検討委員会
3月1日	福島県スポーツ振興基金助成審査委員会
3月1日	福島県立福島商業高等学校卒業証書授与式
3月1日	伊達地域雇用対策本部会議
3月3日	ミュージックフロムジャパン46周年音楽祭・福島
3月3日	わらじまつり福響座組
3月4日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
3月9日	福島相双復興官民合同チーム活動報告会
3月10日	実湧満彩ふくしま路ウォーキング運営委員会
3月10日	(公財)福島県産業振興センター理事会
3月12日	トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会
3月17日	東北中央自動車道の利活用促進による地域活性化協議会
3月18日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
3月19日	(公財)福島民友愛の事業団理事会
3月22日	山車まつり検討会議
3月22日	福島県高等学校就職問題検討会議
3月25日	福島駅前元気プロジェクト委員会
3月25日	福島県信用保証協会理事会
3月25日	(一社)福島市観光コンベンション理事会
3月25日	県内中小企業の振興に向けた懇談会
3月26日	再生可能エネルギー導入促進のための支援事業費補助金審査委員会
3月26日	福島県沖地震グループ補助金説明会
3月26日	福島駅東口市街地再開発準備組合第4回臨時総会
3月30日	福島県警察官友の会連合会 県警本部警視正への感謝状贈呈式
3月31日	福島地区警察官友の会 福島警察署退職警察官職員感謝状贈呈式

2. 各種視察・表敬訪問受入関係

日 時	内 容
令和3年3月29日	大相撲大波三兄弟 来所 大相撲で活躍する福島市出身の若隆景、若元春、若隆元の三兄弟と渡邊博美会頭はじめ役職員が懇談した。 